

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 酒井哲郎   | 所 属 |   | システム生理学   |
|                                       |                     |  | 職 名 |   | 教授  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.30                | 1) 神経生理学の講義・実習においては、神経科学の基礎の理解から始め、さらに最新の話題までの「広く深い」知識の習得を目指す。そのため、power pointの内容に随時改良を加えていく。さらに、昨年度に続き、非常勤講師2人による特論の講義によって、カリキュラムを充実したものとす。また、本年度からは、小テストや課題を設定して学生の持続的学習を促していく。2) 医学外国語では国際的に定評のあるGuytonの生理学教科書を教材として用い、輪読により医学英語になじむと共に生理学の知識の習得を目指す。さらにこれを通して英文の教科書を使って医学を学ぶ習慣を養う3) 医学概論Aの講義においては、基礎医学のearly exposureとしての位置づけを重視し、われわれの研究室での最新の研究を紹介し、基礎医学への興味を掘り起こし、学生の研究へのmotivationを向上させていくことを目指す。4) 大学院生への講義においても、われわれの研究室での研究の紹介を軸に院生の医学への知的好奇心を刺激して各自の研究への情熱を喚起する。 |     | 0.30  | 1) 神経生理学の講義・実習においては、power pointの増補をおこない、神経科学の基礎から最新の話題にいたる内容の授業をおこなった。非常勤講師2人の講義により、カリキュラムを充実したものとす。さらに、学生からの質問を随時受け付け、学生の理解を深めるとともに、教官・学生間のcommunicationを深めた。2) 医学外国語では国際的に定評のあるGuytonの生理学教科書を輪読し、「医学の英語」を学生に経験させることが出来た。3) 医学概論Aの講義では、われわれの研究室での最新の研究を紹介し、基礎医学への興味を掘り起こしをおこなった。4) 大学院生への講義においても、われわれの研究室での実験的心房細動の研究の紹介して、院生へ基礎医学と臨床医学とのかかわりを伝えた。 |
| 研究                                    | 0.40                | 自分のライフワークである膜電位の光学的イメージングの技法を軸に研究を展開し、これまでに継続してきた、実験的心房細動の光学的解析の研究を進める。なお、この実験系を用いた不整脈研究をおこなっているのは、世界的にもわれわれのみである。研究成果は論文にまとめて発表するほか、国内外の学会にて研究成果の発表をおこなう。特に本年度は汎米生理学会において発表をおこない、南北アメリカの研究者と討論を深めることを予定している。研究費については、本年度は科学研究費補助金の獲得に成功しており、これの有効な活用をおこなう。さらに民間外部資金への応募を積極的におこなう。   |     | 0.40  | 膜電位の光学的イメージングの研究を展開し、これまでに継続してきた、われわれが独自に開発してきた実験的心房細動の光学的解析の研究を進めてきた。研究成果の発表を日本生理学会大会や西日本生理学会においておこなった。特に今年度は、cMOSカメラを用いて活動電位の伝播を直接的に可視化する技術を開発することに成功し、今後の研究の新しい軸を作ることが出来た。科学研究費補助金を活用し、前記のcMOSカメラを用いた測定システムの作成を開始した。   |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 日本生理学会評議員をはじめ、日本生物物理学会・日本神経科学学会・米国Society for Neuroscience・米国生理学会会員として学会の発展に貢献していく。また本年度は西日本生理学会の当番校であるため、学会開催の準備をすすめ、学会の成功をめざす。   |     | 0.05  | 日本生理学会評議員をはじめ、日本生物物理学会・日本神経科学学会・米国Society for Neuroscience・米国生理学会会員として学会活動をおこなった。本年度はさらに米国生理学会、米国心臓学会に参加して新しい研究交流の機会を広げた。さらに西日本生理学会の当番校として、学会を成功裏に開催することができた。   |
| 管理運営                                  | 0.20                | システム生理学講座の管理者として、教室員のチームワークや教室費の無駄の無い有効活用などを重視して教室の管理・運営をおこなう。   |     | 0.20  | システム生理学講座の管理者として、教室員のチームワークや教室費の無駄の無い有効活用などを重視した教室の管理・運営をおこなうことができた。  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 指導教官として年2回学生との懇談会を開催し、担当学生の相談に応じる。さらに、今年度は2年次の担当で、本格的な専門科目のスタートにとまどう学生に対して随時e-mailや面談により丁寧な相談をおこない、彼らの医学へのmotivationを高め、drop outを防ぐ。   |     | 0.05  | 指導教官として学生との懇談会を2回開催して、担当学生とのcommunicationを深めた。さらに、随時e-mailや面談により丁寧な相談をおこない、学習のアドバイスをおこなった。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 細川 浩  | 所 属 |   | システム生理  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 准教授   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.35                | Neuroscienceの最近の研究成果を授業に反映し講義ノートを改編する。<br>学生評価アンケートに基づき情報演習をより理解しやすい内容に変更する。                          |     | 0.35  | Neuroscienceの最近の研究成果を反映した睡眠覚醒の講義ノートを改編した。<br>情報科学演習に統計処理初歩やデータ処理の要素を追加した。                                 |
| 研究                                    | 0.45                | 研究成果をまとめ、学会誌への投稿準備および学会発表を行う。<br>豊橋技術科学大学知識情報工学科との共同研究を進める。<br>東京医科歯科大学難地疾患研究所との共同研究を進める。             |     | 0.45  | 研究成果をまとめて第91回日本生理学会および聴覚研究会で発表した。<br>豊橋技術科学大学知識情報工学科と共同実験を9、12月に行った。<br>東京医科歯科大学情報部と実験解析プログラムの改良について議論した。 |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 学会誌の査読委員として学会活動に貢献する。<br>沖縄県体育協会行事の運営に競技審判員として貢献する。   |     | 0.05  | 沖縄県山岳競技予選会において競技審判員として貢献した。<br>長崎国体山岳競技に参加し、沖縄県監督として貢献した。<br>西日本生理学会および聴覚研究会の開催に役員として貢献した。                |
| 管理運営                                  | 0.00                |   |     | 0.05  | 大学入試センター試験運営に主任監督者として貢献した。<br>国際認証 神経科学検討会に参加しメンバーとして貢献した。  |
| 進路指導                                  | 0.15                | 指導教員として学生の勉学、生活面の相談に応じアドバイスする。  |     | 0.10  | M2の指導員として4月、10月に班会を開いて学生の近況を把握し、勉学、生活面の指導を行った。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 梁 運飛  | 所 属 |   | 医学部  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.40                | 学部担当科目(生理学の実習)を担当し、学生の実習を丁寧に指導する。去年の実習に現れた問題により、実習書を直し、実習講義及び実習の指導方法を改善して、学生の実習の質を一層高めることを目指す。  |     | 0.40  | 去年の実習に現れた問題により、実習用テキストを改定し、今年度の学部学生の電気生理学実習は去年度よりかなり順調になった。実習に関する教育目標を達成した。  |
| 研究                                    | 0.50                | 1、動物実験モデルにおける高血糖症に対するEM-Xの効果に関する英語研究論文を直して国際雑誌に再投稿する。2、沖縄にある亜健康(未病)研究所と連携し糖尿病などの生活習慣病に関する共同研究を行う。3、鹿児島大理学部との痛覚に関する共同研究を続けて行う。                                       |     | 0.50  | ①研究成果「Menthol Induces Surgical Anesthesia and Rapid Movement in Fishes」を[The Open Neuroscience Journal]で発表した。②研究成果「Effects of dao-yin qigong in the management of type-II diabetes」を[The Eighth World Medical Qigong Conference of the WASMQ]で発表した。③研究成果「Anti-tumor effects of algae and its extract - fucoidan」を[World Natural Medicine Forum 2014]で発表した。④研究成果「The health studies on fucoidan extracted from mozuku」を[The Fifth Lifestyle and Health International Forum for the Federation of WHLPA]で発表した。 |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 続けてボランティアで日曜日の沖縄県民のための「中国語会話」の活動を取り組んで地域社会に貢献をする。   |     | 0.05  | ボランティアで世話人として毎月の第一の日曜日の午後に那覇市新都心で「中国語会話」の活動を行った。県民の参加者からの好評を得た。  |
| 管理運営                                  | 0.05                | 大学センター試験及び二次試験の監督関連業務等に積極的に参加する。  |     | 0.05  | 大学センター試験と本学の二次試験の監督業務に参加し、任務を成し遂げた。  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

|                                       |                     |   |     |   |  |     |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|-----|----|
| 名 前                                   | 村山 貞之               |   | 所 属 | 医学研究科・放射線診断治療学  |  | 職 名 | 教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |    |
| 教育                                    | 0.15                | 卒前教育:毎週のポリクリ、クリニック時の教育、M4に対する放射線医学の講義 卒後教育:毎週の放射線科の症例検討会 逐次の専門修練医の教育  |     | 0.15  | 十分に目標を達成した。  |     |    |
| 研究                                    | 0.15                | 肺癌、感染症、呼吸機能に関する画像診断の研究を進める。特に、320列CTを用いた多施設研究(共同研究で資金獲得済み)、肺結節の良悪性の鑑別、cine MRによる肺高血圧症の診断(文科省科研費獲得済み)に力を入れる。PETの新しい核種を用いた臨床研究を進める。 |     | 0.15  | 十分に目標を達成した。加えて、320列CTを用いた低線量胸部CT画像の多施設研究において、リーダーシップを発揮した。 |     |    |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 重粒子線治療施設導入の検討委員としての活動を行う。県内、県外施設に必要な放射線科医の派遣を行う。  |     | 0.05  | 十分に目標を達成した。  |     |    |
| 管理運営                                  | 0.55                | 放射線科長、放射線部長、医療福祉支援センター長としての管理業務を指揮する。   |     | 0.55  | 十分に目標を達成した。  |     |    |
| 進路指導                                  | 0.05                | M4-M6学生に対してポリクリ時、クリニック時に進路指導を行う。担当指導教官として指導を行う。   |     | 0.05  | ポリクリ学生に対して昼食会を行い、進路指導を行っている。充分、目標を達成した。                    |     |    |
| 診療                                    | 0.05                | 読影済みの画像診断レポートのチェックを行う。  |     | 0.05  | 十分に目標を達成した。加えて、PET-CTの読影を積極的に行った。                          |     |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。                             |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。                              |     |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |   |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|---|---|--|
| 名 前                                   | 戸板 孝文               |   | 所 属   | 放射線診断治療学講座  |  |
| 職 名                                   | 准教授                 |   |   |   |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |  |
| 教育                                    | 0.25                | 系統講義等を通じて悪性腫瘍の集学的治療における放射線治療の役割と重要性を有機的に理解させる。臨床実習においては、IMRT, IGBT, 定位放射線治療等高精度放射線治療の治療計画立案に参加させ、放射線治療の魅力を体感させる教育を行なう。これらを通じて臨床の現場で激しく不足する放射線腫瘍医を志す学生、研修医を育成する。九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プランのコーディネータとして県内のがん教育特に放射線腫瘍学の活性化を進めるとともに、特に九州大学との教育連携を進める。大学院生の教育指導を行い研究論文作成を指導する。 | 0.25  | 系統講義を4コマ(治療学、放射線医学)行った。臨床実習にて、IGBT計画・実施、高精度放射線治療計画・実施、EBMIに基づく治療方針立案検討の教育を毎週行った。倫理討論講義の講師を担当しがん臨床研究をテーマに学生に討論を行わせた。九州がんプロフェッショナル養成基盤推進プランの本学担当のコーディネータとして、セミナー/講習会開催し(4件)、e-learningクラウドへの参加推進を進めた。九州大学との連携プログラムは今年度は実施できなかった。九州がんプロ全体研修会(福岡)に参加した。学会等で教育講演を行った(国内5件、国際1件)。JGOG教育セミナー(合宿形式)にアドバイザーとして参加した。大学院生1名の研究指導を行った。OSCE認定者講習会に参加し認定を受けた。 |  |
| 研究                                    | 0.20                | 国際英文誌への論文投稿(1編)、文部科学省科学研究費の獲得、厚生労働省研究班への班員としての継続参加による配分研究費獲得。沖縄県「医療基盤活用型クラスター形成支援事業」研究費の獲得。多施設共同試験への継続参加(JCOG)、子宮頸癌に対する強度変調放射線療法JCOG多施設臨床試験の立ち上げ(研究代表者)、治療パラメータに関するプロトコル立案。子宮頸癌に対する画像誘導小線源治療の臨床試験(院内)への臨床例の集積。  | 0.20  | 国際英文誌に学術論文が掲載された(共著者4本)。米国の専門教科書1つ(Controversies in the Management of Gynecological Cancers)に執筆文が掲載された。厚生労働省研究班(4班)に分担研究者として参加した。文部科学省科学研究費(基盤C)を獲得した。沖縄県医療基盤活用型クラスター形成支援事業の委託を受けた(プロジェクトリーダー)。JGOG1074、JCOG1101の研究事務局を務めた。JCOG放射線治療グループと婦人科腫瘍グループの共同試験(JCOG-PC1402)の準備を継続した(研究代表者)。  |  |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 専門学会(日本婦人科腫瘍学会、日本癌治療学会等)にて各種ガイドライン作成作業、子宮頸癌放射線治療の全国実態調査の継続。放射線治療研究会の開催により県内での放射線治療の啓蒙、県立看護大学での講義担当、放射線治療専門医制度委員会委員として問題作成・試験面接等を担当。沖縄県重粒子線協議会委員として作業をすすめる。他施設からの放射線治療部門見学の積極的受け入れ。  | 0.10  | 日本婦人科腫瘍学会の代議員をつとめ、渉外委員、専門医試験委員を担当した。日本放射線腫瘍学会の代議員をつとめ放射線治療専門医制度委員会委員(問題作成・試験面接)、ガイドライン委員会委員(放射線治療計画GL2016年度版の作成開始)を担当した。JGOG理事として放射線治療委員会委員長を務めた。JROSG理事として婦人科腫瘍委員会委員長を務めた。JCOG放射線治療委員会委員を務めた。西日本がんプロ合同市民公開シンポジウム、琉球大学市民公開講座にて、一般市民向けの講演を行った。県立看護大学での講義を担当した。他施設からの放射線治療部門見学の受け入れ(2件)を実施した。   |  |
| 管理運営                                  | 0.30                | 放射線部放射線治療部門チーフとして現場の安全管理とマネージメント、院内癌登録室長、院内がんセンター各種委員会委員、九州がんプロフェッショナルプログラムのコーディネータ、臨床研究支援センター副センター長、病院再整備準備室副室長  | 0.30  | 放射線部放射線治療部門チーフとして現場の安全管理とマネージメントをを実施した。院内がん登録室長、院内がんセンター各種委員会委員、九州がんプロフェッショナルプログラムのコーディネータ、臨床研究支援センター副センター長、病院再整備準備室副室長として、活動を行った。  |  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 3年次指導教官として進路指導  | 0.05  | 3年次指導教官として進路指導をおこなった  |  |
| 診療                                    | 0.10                | 放射線治療外来(週1日)を引き続き担当。放射線治療計画の最終チェック、腔内照射。  | 0.10  | 放射線治療外来(週1日)を引き続き担当。放射線治療計画の最終チェック、腔内照射、治療現場の安全管理とマネージメントを主に行った。  |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。   | 1.00  |   |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |  |

(別紙1) 本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 石内勝吾   | 所 属 |  | 脳神経外科   | 職 名   |  | 教授 |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|--|---|---|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     |  | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26 年度末自己点検結果  |  |    |
| 教育                                    | 0.20                | 学部教育 神経医学系講義のコーディネーター及び講義、大学院1年生4名の神経科学の研究指導、専攻医には専門医取得に向けた指導、専門医取得予定者には高度化手術の手術戦略、放射線生物学、神経病理などの高度専門教育によるサブスペシャリティー確立のための指導をおこなう。 |     |  | 0.20  | 博士課程の大学院生2名の学位論文の投稿指導(1名リバイス中、1名投稿準備中)。専攻医の学術研究会での発表指導。専門医のサブスペシャリティー指導によるタイトル獲得1名,専門誌論文受理1件、投稿2件の指導。   |  |    |
| 研究                                    | 0.20                | 27年度 特別経費(病院プロジェクト分)課題名「脳と心ノブレイン・ヘルス・ケア」概算請求の推進をする。科学研究費基盤Sに挑戦する。  |     |  | 0.20  | 大型外部資金 厚生科研3千3百万円(半年分)を新規獲得し26年10月より事業開始した。概算請求27年度 文部科学省特別経費(病院プロジェクト分)課題「脳と心ノブレイン・ヘルス・ケア」3千五百万円を獲得した。科学研究費基盤B 2千万円申請した。その他日本医療研究開発機構研究費2件(1億5千万円および3千6百万円)申請した。 |  |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 国民の健康と福祉増進のための啓蒙活動を行う。その一環として社会法人脳神経外科学会の支援する市民公開講座を開催し脳卒中、がんの最新研究成果を社会に発信することで長寿社会の実現と健康長寿脳獲得方法を発信する。                             |     |  | 0.10  | 脳卒中・脳腫瘍・健康長寿に関する市民公開講座を県立博物館で開催した。  |  |    |
| 管理運営                                  | 0.10                | 副医学部長として学部横断的研究推進の推進を強力に進める。副病院長として附属病院の管理運営の改革を推進する。  |     |  | 0.10  | 附属病院の収益率向上のために後発品の導入率を60%に高める努力を事務部及び薬剤部と協働で行い実行し、全国最下位のレベルから上位1/3に入り病院評価DPCの向上に寄与した。   |  |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 研究室を学部学生に開放し日常的な悩み、進路相談、健康管理など学部学生の生活指導、進路相談をオフィスアワーをもって行う。M2 10名の指導教員としての役割を務める。  |     |  | 0.10  | 学部学生の生活指導、進路相談を行った。奨学金の手配や日常的な健康管理指導をした。  |  |    |
| 診療                                    | 0.30                | 稼動した術中MRIを起動にのせる。高難易度手術の実践。画像誘導手術をする事で診療の安全性と質を高める。  |     |  | 0.30  | 術中MRI診断システム(iMRI)を軌道に乗せ高難度手術100例のiMRIを施行し最後の砦としての機能を果たした。   |  |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウエイト比が1.00となるよう、記載してください。<br>・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。                              |     |  | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。   |  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |                     |  |     |  |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---------------------|--|-----|--|----|
| 名 前                                   |                     | 片桐 千秋   | 所 属 |                     | 医学研究科 脳神経外科学講座   | 職 名 |  | 助教 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |  |    |
| 教育                                    | 0.10                | 大学院生の実験技術指導   |     | 0.15                | 基礎実験の技術指導および研究の方向性について助言を随時行った。大学院生の技術指導および研究助言により第2著者として論文を発表した。  |     |  |    |
| 研究                                    | 0.85                | 高圧酸素療法併用放射線治療によるマウス腫瘍への効果を分子細胞生物学的に解析。NMDA拮抗薬メマンチンの代謝への影響を解析。脳腫瘍cDNAライブラリーの作製と解析。TRPM7変異マウスの脂質代謝異常の詳細を生化学的に検討。Fray遺伝子のヒトホモログOSR1とSPAKの低酸素応答への関与を検討。                 |     | 0.70                | 高気圧酸素療法併用放射線治療によるマウス腫瘍への効果を既存の抗がん剤と組み合わせで解析した。NMDA拮抗薬メマンチン投与マウスの夜間活動量の計測開始し、行動解析の準備を行った。脳腫瘍cDNAライブラリーは80%程ライブラリー化し、MGMTプロモーター解析を順に行っている。TRPM7変異マウスを用いた解析で脂質代謝におけるTRPM7の基質候補を見いだした。 |     |  |    |
| 社会貢献                                  | 0.04                | 自身の研究で得られた成果を学会等で報告する。  |     | 0.10                | TRPM7変異マウスの研究において論文を発表。また、国際放射線神経生物学会、極限環境生物学会、国際ホスファターゼ研究会、日本分子細胞生物学会、日本生理学会に参加しこれまでの研究成果を報告し、さらに新たな知見を得て自身の研究や学生等への教育に貢献している。  |     |  |    |
| 管理運営                                  | 0.00                |   |     | 0.03                | 臨床研究棟の研究室の整備計画を策定した。   |     |  |    |
| 進路指導                                  | 0.01                | 基礎研究への興味ある学生に対しよりよい提案を行う。   |     | 0.02                | 大学院への進学を希望する学生にラボの紹介や技術紹介を行った。学会等における情報交換により得られた人材募集を学生に紹介し、研究職等の就職活動への助言を行った。   |     |  |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |     |  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     |                     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。  |     |  |    |

## 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 長嶺 英樹   | 所 属 |  | 医学部脳神経外科                             | 職 名   |                                      | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|--|--------------------------------------|---|--------------------------------------|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)                  | 平成26年度 年度末自己点検結果  |                                      |    |
| 教育                                    | 0.20                | 各担当学生毎に症例の検討、基礎知識の学習、指導に努める。また外来実習時は、問診、身体所見から鑑別疾患の列挙、必要となる検査項目の設定など、臨床に即した系統的判断の指導を行う。   |     |  | 0.20                                 | 各学生毎に症例の検討、基礎知識の学習、指導に努めた。また外来時は新患者に対する問診、身体所見から鑑別疾患、検査内容の選定、検査結果の評価に関して指導を行った。         |                                      |    |
| 研究                                    | 0.30                | HTLV1キャリアと脳腫瘍との相関解析に於いて、適宜関連学会での報告を行い。又、神経膠腫の当科に於ける予後解析は症例を蓄積し継続中であり、論文作成に努める。  |     |  | 0.30                                 | HTLV1キャリアと脳腫瘍との関連解析に於いて学会への参加など新知見の取得に努め、また、新規神経膠腫患者の予後解析を継続中である。                       |                                      |    |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 地域連携パスの意見交換会に出席し、当院での脳卒中連携パスの実施、推奨に当たっている。また、脳腫瘍病理学会、神経内視鏡学会への参加から最新知見を得て、臨床に還元し社会貢献へ繋げる。   |     |  | 0.05                                 | 地域連携パスの意見交換会出席し、当院での脳卒中連携パスの実施、推奨に当たっている。関連学会への積極的参加を継続中である。                            |                                      |    |
| 管理運営                                  | 0.05                | 各学内委員会への参加。入試関連業務、CBT、OSCE判定医員など進級試験に関する業務にも積極的に参加している。   |     |  | 0.05                                 | 各学内委員会への参加。入試関連業務、CBT、OSCE判定委員など進級試験に関する業務にも積極的に参加している。                                 |                                      |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 脳神経外科業務を主体として、実習学生の医師業務に対する疑問、質問への対応、全人的な患者対応の手法などを指導している。また研修医説明会にも積極的に参加し、進路指導に努める。   |     |  | 0.10                                 | 脳神経外科業務を主体として、実習学生の医師業務に対する疑問、質問への対応、全人的な患者対応の手法などを指導している。また研修医説明会にも積極的に参加し、進路指導を行っている。 |                                      |    |
| 診療                                    | 0.30                | 患者全てに対して真摯に謙虚な姿勢で接し、最新最善の知見を基盤とした診療内容の実践、実現に全力を尽くす。   |     |  | 0.30                                 | 最新の知見、エビデンスを下にした最善の診療を患者毎に行っており、接遇にも最大限の配慮を持った対応を実現している。                                |                                      |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     |  | 1.00                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>         |                                      |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 |   | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |    |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前                                   | 西村 正彦               |  | 所 属 | 脳神経外科   |  |
| 職 名                                   |                     |  | 職 名 | 助教  |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.20                | 学部生を対象に神経解剖学「神経科学トピックス」を講義する。授業のテーマごとに学生への発問を行い、授業内容を理解しているか確認する。また、発問を複数の学生へ行うことで、授業への参加度を高めるよう促していく。授業ごとのミニテストを実施し、授業の理解度、授業方法・内容について点検を行う。また、臨床実習生を対象にした授業は、ニューロリハビリテーションの実践、使用する機器について演習を交えた講義を行う。fMRI検査見学実習を通して、fMRIの基礎知識・臨床診断、治療への応用について講義・演習を行う。  |     | 0.15  | 学部生を対象に神経解剖学「神経科学トピックス」を講義する。授業のテーマごとに学生への発問を行い、授業内容を理解しているか確認する。また、発問を複数の学生へ行うことで、授業への参加度を高めるよう促していく。授業ごとのミニテストを実施し、授業の理解度、授業方法・内容について点検を行う。また、臨床実習生を対象にした授業は、ニューロリハビリテーションの実践、使用する機器について演習を交えた講義を行う。fMRI検査見学実習を通して、fMRIの基礎知識・臨床診断、治療への応用について講義・演習を行った。   |
| 研究                                    | 0.35                | 平成27年度科研費申請に向け、ヒト海馬歯状回の記憶・学習機能に関する脳機能マッピング研究を査読付国際誌にて論文発表を行い、課題を解決できる実験計画を立案する。また、平成26年度ブレインサイエンス振興財団、三井住友海上福祉財団研究助成基金へ研究助成申請を行う。第16回世界作業療法士連盟大会にて「Change of functional connectivity in motor areas and improvement of function of lower extremity by neurorehabilitation using robot-suit」を発表する予定である。また、同テーマは査読付き国際誌への論文発表を予定している。経頭蓋直接電流刺激(tDCS)による上肢運動機能の改善と脳機能回復の関係に関する研究を平行して行っており、この研究についても査読付き国際誌への論文発表を予定している。 |     | 0.35  | 平成27年度は、第16回世界作業療法士連盟大会にて「Change of functional connectivity in motor areas and improvement of function of lower extremity by neurorehabilitation using robot-suit」を発表した。また、同テーマの査読付き国際誌への論文発表を準備している。平成27年度科研費へは「ロボットスーツHALを用いた転倒予防トレーニングの開発と有効性に関する研究」を計画し、基盤(G)へ応募した。また、平成26年度三井住友海上福祉財団研究助成基金、日本作業療法士協会研究助成Iへ応募した。経頭蓋直接電流刺激(tDCS)による上肢運動機能の改善と脳機能回復の関係に関する研究を平行して行っており、論文「慢性期中枢神経障害患者への経頭蓋直電流電気刺激による治療介入が筋力と脳活動に及ぼす効果 ―シングルケースによる検討―」を沖縄県作業療法研究に投稿した。 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 本年度は浦添市障害者介護給付費等審査委員として、月1回の頻度で浦添市障害者介護給付費等審査会に参画する。また、沖縄リハビリテーション福祉学院の非常勤講師として、理学療法学科・作業療法学科2年生を対象に脳神経外科学分野の授業(90分×10回)、作業療法学科1年生を対象に運動学の授業(90分×30回)を実施する。  |     | 0.10  | 平成26年度は浦添市障害者介護給付費等審査委員として、月1回の頻度で浦添市障害者介護給付費等審査会に出席した。また、沖縄リハビリテーション福祉学院の非常勤講師として、理学療法学科・作業療法学科2年生を対象に脳神経外科学分野の授業(90分×10回)、作業療法学科1年生を対象に運動学の授業(90分×30回)を実施した。沖縄県医師会脳神経分科会の事務局担当として脳神経分科会の運営補助を行った。沖縄県作業療法士会の新人作業療法士を対象にした研修会の講師を担当した。   |
| 管理運営                                  | 0.10                | 本年度は、脳神経外科の副医局長として、当医局の構成員の親睦及び学術交流に務める。また、リハビリテーション連絡委員会を担当し、附属病院の診療環境の向上に貢献する。   |     | 0.10  | 平成26年度は、脳神経外科副医局長として、当医局の構成員の親睦及び学術交流に務めた。また、本年度は脳神経外科講座開講30周年にあたり、開講30周年記念誌の編集を担当し、記念式典の開催準備に参画した。  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 進路選択肢のひとつとしての脳外科医の業務・大学院脳神経外科分野の研究内容の紹介、情報提供を行う。   |     | 0.05  | ポリクリ実習生に対して、進路選択肢のひとつとしての脳外科医の業務ならびに大学院脳神経外科分野の研究内容の紹介、情報提供を行った。   |
| 診療                                    | 0.20                | 脳腫瘍、脳血管障害等の中枢神経障害によって運動機能障害を引き起こされた患者を対象に、運動機能回復促進を目的に経頭蓋直接電流刺激、ロボットスーツHALを用いた機能回復訓練を実施する。また、病棟看護師と連携し、患者の運動・認知機能回復、日常生活障害への支援を実施する。また、術前検査としての運動機能、言語機能、記憶機能に関わる脳機能の計測を機能的MRIにて実施し、安全な手術療法が実施できるよう患者の脳機能マッピングを行う。また、術中神経機能モニタリングを担当し、安全な手術療法の実施に貢献する。   |     | 0.25  | 脳腫瘍、脳血管障害等の中枢神経障害によって運動機能障害を引き起こされた患者を対象に、運動機能回復促進を目的に経頭蓋直接電流刺激(tDCS)、ロボットスーツHALでの訓練を実施し、患者の運動機能の改善を促し、早期の社会復帰に貢献した。病棟看護師と連携し、運動機能障害・日常生活障害を持つ患者の統一的なアプローチが実践できた。術前検査としての運動機能、言語機能、記憶機能に関わる脳機能計測として機能的MRIを駆使し、患者の脳機能マッピングを実施した。結果、安全な手術療法の実施に貢献できた。また、術中神経機能モニタリングを担当し、安全な手術療法の実施に貢献した。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) |                     |  |     |                     |   |
|------------------------------------|---------------------|--|-----|---------------------|---|
| 名 前                                |                     | 外間 洋平  | 所 属 |                     | 脳神経外科   |
|                                    |                     |  | 職 名 |                     | 助教  |
| 領域                                 | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                 | 0.25                | 症例プレゼンテーション指導, M3講義(神経系の解剖と機能, 神経系の検査). マイクロ顕微鏡縫合実習  |     | 0.25                | 症例プレゼンテーション指導, M3講義(神経系の解剖と機能, 神経系の検査)を行った  |
| 研究                                 | 0.25                | DTI based tractographyの研究. 手術, 放射線治療を要した悪性脳腫瘍例において, その前後で神経線維束を描出し, その定量値(FA値等)と高次機能検査結果との関連を評価, 解析する  |     | 0.25                | DTI based tractographyの研究. 臨床データを取得し, 解析継続. 聴神経鞘腫における3D simulationの有用性の研究. 臨床データを取得, 解析継続 |
| 社会貢献                               | 0.05                | 研究成果の学会発表, 論文作成をもって社会貢献とする   |     | 0.05                | 聴神経腫瘍における3D simulationの有用性について学会発表を行った  |
| 管理運営                               | 0.05                | 各種病院会議への出席   |     | 0.05                | 各種病院会議に参加した   |
| 進路指導                               | 0.05                | 学生の希望科聴取, 助言   |     | 0.05                | 学生の希望科聴取, 助言を行った  |
| 診療                                 | 0.35                | 診療, 手術手技レベルのステップアップ. 脳神経外科専門医レベル以上の知識, 技術の獲得を目標とし勉強する  |     | 0.35                | 診療業務を継続した. 脳神経外科学会, 解剖実習に参加し知識を得た   |
| 計                                  | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。</li> <li>・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00                | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。  |

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |   |  |     |      |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|---|--|-----|------|
| 名 前                                   |                     | 城間 綾乃   |  | 所 属   | 医学研究科脳神経外科講座   | 職 名 | 特命助教 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |      |
| 教育                                    | 0.30                | 脳外科実習における神経心理学的アセスメントの実施、所見作成に対する指導   |  | 0.30  | 左記の内容は概ね達成することが可能であった。脳神経外科における心理学実習生に対して神経心理学検査実施、所見作成に対する指導を行った                                      |     |      |
| 研究                                    | 0.50                | 小脳損傷患者の神経心理学的評価と小脳半球圧迫が海馬機能に及ぼす影響と悪性脳腫瘍患者の放射線療法中の認知機能の変化について、症例の蓄積、解析を行う。   |  | 0.50  | 小脳損傷患者の神経心理学的評価と小脳半球圧迫が海馬機能に及ぼす影響に関しては、結果を論文にまとめ投稿準備を行っている。悪性脳腫瘍患者の放射線療法中の認知機能の変化については、症例の蓄積、解析を進行中である |     |      |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 研究成果の学会発表, 論文作成をもって社会貢献とする  |  | 0.10  | 左記の内容に関してはまだ達成されておらず、現在専門誌に投稿準備を行っている  |     |      |
| 管理運営                                  | 0.05                | 各種会議への出席  |  | 0.00  | 左記の内容に関しては、今年は会議等の出席はなかった  |     |      |
| 進路指導                                  | 0.10                | 実習学生に対する助言  |  | 0.10  | 脳神経外科における心理学実習生に対して、脳神経外科での研究内容、取組み等について適宜実習時間に紹介を行った  |     |      |
|                                       | 0.00                |   |  | 0.00  |  |     |      |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |  | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>                        |     |      |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |      |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |     |                                      |  |                                      |    |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|-----|--------------------------------------|--|--------------------------------------|----|--|
| 名 前                                   |                     | 太田孝男  |  | 所 属 | 育成医学講座                               |  | 職 名                                  | 教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)                  | 平成26年度 年度末自己点検結果   |                                      |    |  |
| 教育                                    | 0.30                | 系統講義の自主的な出席率を向上させる。症例に基づき、疾患病態を考える力を育成する。臨床実習ではクリニカルクラークシップを実践し、教科書と実際の患者の違いを認識させ、自分自身で問題を解決する能力を養成する。学生との直接面談の時間を増やす。  |  |     | 0.30                                 | 系統講義の年度目標は達成できた。ポリクリ学生とは金曜日午前中を面談にあて、症例検討を行った。   |                                      |    |  |
| 研究                                    | 0.20                | 小児期の生活習慣病と心疾患発症危険因子の関連解析を周産期の栄養面から検討する。また、わが国の小児期の家族性高コレステロール血症(FH)の実態とFH患児の動脈硬化進展状況の調査研究を行う。研究成果は国際誌に発表する。   |  |     | 0.20                                 | 脂質異常症に関する論文10編を英文誌に発表した。調査研究は全国レベルになり「原発性脂質異常症調査研究班」主導で行うことになったため平成26年度はその書式、調査方式の検討を行った。FHの全国調査は27年度から開始することが決定している。その調査に日本動脈硬化学会理事として参加する。 |                                      |    |  |
| 社会<br>貢献                              | 0.20                | 沖縄県周産期医療協議会委員として周産期医療体制の充実を図る。日本小児科学会代議員として、沖縄県小児科医のレベルアップを図る。日本動脈硬化学会理事として小児期からの生活習慣病予防啓蒙運動を行う。  |  |     | 0.20                                 | 小児科ホームページに脂質異常症についての項目をもうけ、沖縄県内のみならず、全国からアクセス可能にした。ほぼ年度目標は達成できた。   |                                      |    |  |
| 管理<br>運営                              | 0.10                | 育成医学講座教授、附属病院小児科長として担当部門の教育・研究・診療の充実を図る。附属病院機能画像診断センター管理運営委員長としてセンターの運営改善を行う。   |  |     | 0.10                                 | 年度目標は達成できた。  |                                      |    |  |
| 進路<br>指導                              | 0.00                |   |  |     | 0.00                                 |  |                                      |    |  |
| 診療                                    | 0.20                | 附属病院小児科での専門外来・病棟の充実を図る。   |  |     | 0.20                                 | 年度目標は達成できた。  |                                      |    |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |  |     | 1.00                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |                                      |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 |  | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 知念安紹  | 所 属 |   | 育成医学講座  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 准教授   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.15                | M3学生の講義(遺伝先天代謝異常)、テスト問題作成、OSCE医療面接講義および試験監督、病棟におけるポリクリ学生の指導、研修医の指導、医員の発表・論文の指導、遺伝カウンセリング研修の医師指導   |     | 0.15  | M3・M4学生の講義(遺伝先天代謝異常・小児症候学)、テスト問題作成、OSCE医療面接試験監督、倫理討論会での学生指導、病棟におけるポリクリ学生、研修医の指導を実施した。ポリクリ学生には症例呈示で鑑別疾患など列挙させて討論を行っている。遺伝カウンセリング研修の医師の指導を実施している。                                     |
| 研究                                    | 0.20                | ムコ多糖症におけるイソフラボン治療の効果、有機酸代謝異常・脂肪酸代謝異常症の疾患予防について、環境省の子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)  |     | 0.20  | Morquio病の骨髄移植で9年経過の成果をムコ多糖症研究会で発表した。環境省の子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)を担当し、調査地区である宮古島で講演を行った。プロピオン酸血症における急性期管理を先天代謝異常学会にて報告した。線維芽細胞を用いたプロピオン酸血症の実験の調整中である。遺伝看護学会にて遺伝カウンセリングのシンポジウムを発表した。 |
| 社会貢献                                  | 0.05                | Down症候群の親の会に対するサポート活動、骨形成不全症の親の会に対するサポート活動、ムコ多糖症の親の会に対するサポート活動、   |     | 0.02  | ダウン症の親の会の相談などサポート活動、ムコ多糖症の親の会に対するサポート活動   |
| 管理運営                                  | 0.05                | 医療機器安全専門委員会、NSTのサポート  |     | 0.05  | 医療機器安全専門委員会の参加、NSTの6階西病棟(小児科)の会議の運営   |
| 進路指導                                  | 0.10                | ポリクリ学生・研修医の進路相談、大学3年生の指導教官としての役割  |     | 0.08  | ポリクリ学生・研修医の進路相談、M3指導教官として懇親会と事務手続きの連絡や学業・生活相談を行った。  |
| 診療                                    | 0.45                | 先天異常・先天代謝異常の外来および入院患者の診療、遺伝カウンセリングを実施している。  |     | 0.50  | 先天異常・先天代謝異常の外来および入院患者の診療、遺伝カウンセリングを実施している。  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  |   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 金城 紀子   | 所 属 | 育成医学講座(小児科)   | 職 名   | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.30                | 学部担当科目(免疫、小児膠原病)を担当し、系統講義、ポリクリ学生に対してベッドサイドティーチング等を行う。初期研修・後期研修医への研修指導を行う。   |     | 0.30  | 系統講義およびポリクリ実習等について学生指導を行い、小児科学一般と小児リウマチ膠原病についての講義・指導を行った。                       |    |
| 研究                                    | 0.30                | 小児膠原病に関する臨床研究を行い、積極的に学会発表を行い、論文採択をめざし研究論文を作成する。また、治験への参加し最新の治療に関しての評価を行う。難治性小児リウマチ性疾患の多施設共同研究に参加する。   |     | 0.20  | 難治性の小児膠原病について、その診断および新しい治療について、他大学と共同研究し、その結果について研究会・学会発表・論文投稿を積極的に行った。         |    |
| 社会貢献                                  | 0.20                | 小児膠原病に関する診断・治療に関して、リウマチ専門医として一般小児科医へ啓蒙のため、諸研究会で講演を行う。また、各保健所において、地域の患者さんと家族に対して、疾患に対する基礎知識や療養の相談を受けるための教育講演を行う。   |     | 0.30  | 他病院の小児科後期研修医数名に対して、定期的に専門外来(小児リウマチ膠原病外来)の見学実習(週に1回)を行い、小児リウマチ膠原病の知識の普及に努めた。     |    |
| 管理運営                                  | 0.10                | 小児科外来医長として、外来での診療が円滑にすすむように、安全確保、事故予防、さらに諸問題の解決にあたる。また、院外委託検査委員会等の会議に参加する。  |     | 0.10  | 感染対策委員として、定期的な感染対策委員会への出席と小児科外来および病棟における感染予防に対する啓蒙を行っている。                       |    |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |    |
| 臨床                                    | 0.10                | 市中小児科での一般診療を通して、情報の収集と診療技術の向上をめざす   |     | 0.10  | 市中病院での診療を行う事によって、大学では診療できない疾患の情報を得る事ができた。また、他病院の小児科医師との情報交換を行う事ができた。            |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul> |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |   |   |     |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|---|---|-----|----|
| 名 前                                   |                     | 鈴木 幹男   |  | 所 属   | 耳鼻咽喉科・頭頸部外科   | 職 名 | 教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |    |
| 教育                                    | 0.34                | 臨床講義(医学生)、大学院講義(大学院生)、耳鼻咽喉科外来・病棟・手術室にて臨床に関連する教育を行う。   |  | 0.40  | 臨床講義(医学生)、大学院講義(大学院生)、耳鼻咽喉科外来・病棟・手術室にて臨床に関連する教育を行った                             |     |    |
| 研究                                    | 0.40                | 基盤研究費を用いた研究を行う。国際誌への投稿、大学院生との共同研究、論文指導などを行う。  |  | 0.35  | 基盤研究費を用いて、研究を行い、国際誌への投稿をおこなった(5本の英文が受理)。大学院生の論文指導などを行った。教室の科研費は6本となった。          |     |    |
| 社会貢献                                  | 0.20                | 日本耳鼻咽喉科学会評議員、その他各種学会評議員として学会運営に関与する。また耳鼻咽喉科沖縄県地方部会長として沖縄県の耳鼻咽喉科に関連する医療を推進する。  |  | 0.10  | 日本耳鼻咽喉科学会評議員、その他各種学会評議員として学会運営に関与する。また耳鼻咽喉科沖縄県地方部会長として沖縄県の耳鼻咽喉科に関連する医療を推進した。    |     |    |
| 管理運営                                  | 0.05                | 副医学部長として管理に関与する。  |  | 0.10  | 副医学部長として管理に寄与した。  |     |    |
| 進路指導                                  | 0.01                | 5年次の指導教官として学生との連絡を密にして勉学へ打ち込めるよ   |  | 0.05  | 5年次の指導教官として学生との連絡を密にして勉学へ打ち込めるように案内し、ポリクリでの脱落者はなかった。                            |     |    |
|                                       | 0.00                |   |  | 0.00  |   |     |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |  | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul> |     |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |     |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |   |  |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|---|--|--|
| 名 前                                   | 我那覇章                |   | 所 属   | 耳鼻咽喉科  |  |
| 職 名                                   | 講師                  |   |   |  |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |  |
| 教育                                    | 0.10                | 学生講義、ポリクリ実習を通し、学生教育を行う。   | 0.10  | 講義、ポリクリ実習を通じた学生教育を行い得た。  |  |
| 研究                                    | 0.35                | 科研費(課題番号 25462649)の研究成果を学会誌への投稿する。今後、現在進行中の研究の継続を行う。  | 0.30  | 筆頭著者として①Identification of two novel mutations in the NOG gene associated with congenital stapes ankylosis and symphalangism. J Hum Genet. 2014 Nov 13.の論文を投稿した。共著者として②内耳炎を合併した中耳放線菌症の治療経験を日本耳鼻咽喉科感染症学会に投稿(受理され掲載待ち)および③Prediction of concurrent chemoradiotherapy outcome in advanced oropharyngeal cancer. Int J Oncol. 2014 Sep;45(3):1017-26.の論文が掲載された。共同研究者として、④Mutation spectrum and genotype-phenotype correlation of hearing loss patients caused by SLC26A4 mutations in the Japanese: a large cohort study. J Hum Genet. 2014 May;59(5):262-8. ⑤Deafness Gene Study Consortium. Frequency of mitochondrial mutations in non-syndromic hearing loss as well as possibly responsible variants found by whole mitochondrial genome screening. J Hum Genet. 2014 Feb;59(2):100-6.の論文が掲載された。 |  |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 市民公開講座や患者団体等における講演やマスコミを通じた耳鼻咽喉科疾患の啓蒙活動を行う。   | 0.10  | ①市民公開講座「耳の日」講演会(2014/3/9)を開催、講演を行った。<br>②難聴市民公開講座「難聴の診断と治療」(2014/9/28)において講演した。<br>③夏期短期研修会(2014/8/6)において学校教師を対象に難聴について講義を行い教育現場への啓蒙を行った。<br>④第4回沖縄県民の健康公開講座(2014/10/26)にて講演を行った   |  |
| 管理運営                                  | 0.05                | 関連する委員会への参加を行う。   | 0.05  | 次期情報管理システム委員会等関連する委員会への参加を行った。   |  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 実習生に対して学習、進路指導を行う。  | 0.10  | 実習指導、ポリクリ総括を通じた総合的な耳鼻科教育と進路指導を行い得た。  |  |
| 診療                                    | 0.40                | 診療科として年間100例以上の耳科手術を行う。   | 0.35  | 耳鼻科として年間150件以上の耳科手術を行い得た。  |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |  |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 喜友名 朝則  | 所 属 | 医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科   | 職 名   | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.07                | 学生講義に過去の国家試験問題を取り入れながら学生の学習意欲をかきたて、さらに実習では問診や問題解決の方法などより実践的な教育を行う。  |     | 0.05  | 学生の講義に関しては臨床の事例を交えながら動画を併用し行い、輪状実習生に関しては問診の取り方、診断のアプローチの仕方を中心に臨床に即した講義を行い、なるべく興味を持てるよう努力した。 |    |
| 研究                                    | 0.35                | 音声と脳機能に関する研究を引続き行う。また、音声の分析に関する機器を用いて、音声に関する研究を進めていく。これまで行ったデータをもとに学会発表、論文投稿を行う。  |     | 0.30  | 音声と脳機能に関する研究が計画通り行えた。国内学会へ報告し、論文へも投稿した。   |    |
| 社会貢献                                  | 0.03                | 耳の日、鼻の日講演会などの地域貢献事業に積極的に助力を行う。  |     | 0.03  | 耳の日、鼻の日講演会、市民公開講座などの地域貢献事業に助力した。  |    |
| 管理運営                                  | 0.13                | 病棟医長として病棟が無駄なく円滑に回転するよう勤める。手術の日程を無駄なく効率よく行うことができるよう努める。   |     | 0.10  | 病棟医長として病棟が無駄なく円滑に回転するよう勤めた。手術の日程を無駄なく効率よく行うことができるよう努めた。                                     |    |
| 進路指導                                  | 0.02                | 当院への就職希望の学生に対して積極的に相談に応じる。  |     | 0.01  | 当院への就職希望の学生に対して積極的に相談に応じる機会が少なかった。  |    |
| 診療                                    | 0.40                | 音声障害、嚥下障害、唾液腺疾患、頭頸部癌の保存的治療、手術治療にとりくむ。   |     | 0.51  | 計画通り音声障害、嚥下障害、唾液腺疾患、頭頸部癌の保存的治療、手術治療にとりくんだ。  |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。</li> <li>・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。</li> </ul>             |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |     |  |   |                               |     |  |    |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|-----|--|---|-------------------------------|-----|--|----|--|
| 名 前                                   |                     | 山下 懐  |  | 所 属 |  | 医学部 耳鼻咽喉・頭頸部外科  |                               | 職 名 |  | 助教 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果              |     |  |    |  |
| 教育                                    | 0.10                | 臨床実習生の要望などを積極的に聴取し、指導にあたる。  |  |     |  | 0.10  | ・・・指導はできた                     |     |  |    |  |
| 研究                                    | 0.30                | 症例報告や統計、基礎研究など学会での報告、論文発表を行う。   |  |     |  | 0.30  | ・・・頭頸部癌学会および鼻科学会にて発表を行った。     |     |  |    |  |
| 社会<br>貢献                              | 0.04                | 耳の日、鼻の日講演会などへの参加につとめ、沖縄県民の耳鼻咽喉科領域疾患への関心を高める。  |  |     |  | 0.04  | ・・・耳の日講演会に参加。                 |     |  |    |  |
| 管理<br>運営                              | 0.03                | 入試関連業務などへの参加。   |  |     |  | 0.03  | ・・・OSCEに参加した。センター試験監督予定。      |     |  |    |  |
| 進路<br>指導                              | 0.03                | 臨床実習生などの進路相談があれば対応する。   |  |     |  | 0.03  | ・・・臨床実習生の指導、相談をおこなった          |     |  |    |  |
| 診療                                    | 0.50                | 外来、手術など診療活動。  |  |     |  | 0.50  | ・・・外来、手術など診療活動を行った            |     |  |    |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |  |     |  | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |     |  |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |                               |     |  |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |             |   |    |   |   |    |
|---------------------------------------|-------------|---|----|---|---|----|
| 名前                                    |             | 近藤 毅  | 所属 | 医学研究科・精神病態医学講座  | 職名  | 教授 |
| 領域                                    | 業務ウエイト比(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |    | 業務ウエイト比(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.20        | 1. 医学部学生に対し、精神医学系および救急医療の系統講義を行うとともに、臨床実習における総括を行う。<br>2. 医学研究科学生に対し、精神病態医学および心身医学に関連する講義・演習・実習を行うとともに、指導教員として研究指導にあたる。                                 |    | 0.20  | 1. 医学部学生に対し、精神医学系2コマ・救急医療1コマの系統講義、倫理総合討論・医学概論・TBL各1コマを担当し、臨床実習では総括を行った。<br>2. 医学研究科学生に対し、講義・演習・実習を行い、指導教員として6名の研究指導を行い、2名が学位を取得した(うち1名は早期修了)。また、社会医学概論のコーディネーターを担当した。 |    |
| 研究                                    | 0.25        | 1. 基盤研究Cを獲得した精神薬理学的研究を計画に基づき施行し、関連した講演・学会発表を行うとともに、原著・総説等で論文発表する。<br>2. 臨床精神医学の一般領域における研究に関連した講演・学会発表を行うとともに、原著・総説等で論文発表する。                             |    | 0.25  | 1. 精神薬理領域の英文原著4編の作成に関与し、同領域の邦文総説を2編公表した。また、成果を日本臨床精神神経学会にて発表した。<br>2. 臨床精神医学の一般領域の英文論文3編の作成に関与し、成果を国内学会に発表した。<br>3. 研究費を獲得した基盤研究Cを年度計画に基づき実行し、一部の成果を公表した。             |    |
| 社会貢献                                  | 0.10        | 1. 精神疾患に対する偏見の改善や認識の向上および自殺予防に向けた社会活動の実践に取り組む。  |    | 0.10  | 1. 自殺予防活動の一環として、地域住民(那覇市)、コメディカル(南部福祉保健所)や一般医(那覇市医師会)への教育・啓発活動の支援を行い、沖縄県自殺対策連絡協議会の委員を務めた。<br>2. 日本臨床精神神経薬理学会副理事長に就任した。  |    |
| 管理運営                                  | 0.25        | 1. 医学研究科精神病態医学講座教授および附属病院精神科神経科科長として教室および外来・病棟の管理運営を行う。<br>2. 副院長、安全管理対策室長として病院の運営・管理にあたるとともに、医学部および本学の諸委員会の委員としての職責を果たす。                               |    | 0.20  | 1. 医学研究科精神病態医学講座教授および附属病院精神科神経科科長として教室および外来・病棟の管理運営を行った。<br>2. 医学部の教務・学務・薬事・倫理審査委員会、全学のハラスメント防止委員会の委員を務め、附属病院では副院長、安全管理対策室長として病院の運営・管理に努めた。                           |    |
| 進路指導                                  | 0.05        | 1. 若手医師が専門医取得に向けて臨床研修機関を選択する際や、学際的な知識・技術の向上のため国内および国外留学を希望する場合に進路相談を行う。   |    | 0.05  | 1. 若手医師の精神保健指定医および専門医取得に向けて必要な教育・指導を行った。<br>2. 精神科研修委員会・地域医療推進委員会を運営・開催し、専門研修の均衡化や充実化を図った。  |    |
| 診療                                    | 0.15        | 1. 琉球大学医学部附属病院の精神科神経科にて新患外来と専門外来(児童思春期外来)を担当し、総合診療科において心身症を中心とした患者の診療を行う。<br>2. 琉球大学医学部附属病院の精神科神経科の入院患者を対象とした総回診およびケース・カンファランスを行い、初期・後期臨床研修医の診療力の向上を図る。 |    | 0.20  | 1. 琉球大学医学部附属病院の精神科神経科にて新患外来と専門外来(児童思春期外来)を担当し、総合診療科では心身症を中心とした患者の診療を行った。<br>2. 琉球大学医学部附属病院の精神科神経科の入院患者を対象とした総回診およびケース・カンファランスを行い、臨床研修指導を行った。                          |    |
| 計                                     | 1.00        | ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。   |    | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |             |   |    | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 三原一雄  | 所 属 |   | 精神病態医学講座  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 准教授   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.25                | 1)学生・研修医が精神科的視点を持った診療を理解できるようにする<br>2)教育連絡主任会議に参画し、TBLなどの新たな教育方法を習得する<br>3)OSCEの医療面接に責任者として参画する<br>4)研究内容を教材として用い、教育に反映させる                  |     | 0.25  | 1)学生・初期研修医に予診を担当させ、精神科診療を理解できるように努めた<br>2)TBLの講義を1コマ受け持ち、大学院生への講義を行った<br>3)OSCE医療面接の副責任者担当者として、積極的に参画した<br>4)学生・初期研修医が精神科に興味を持つように、研究内容を紹介した                |
| 研究                                    | 0.15                | 1)全国学会での報告発表に貢献する<br>2)全国学会のシンポジストとして学術活動に貢献する<br>3)海外の学術誌へ論文の投稿を行う<br>4)学会賞あるいは研究費の獲得を目指す  |     | 0.20  | 1)研究グループのリーダーとして全国学会3題の研究発表に関わった<br>2)全国学会のシンポジストは担当しなかった。<br>3)論文4編を国外の英文雑誌に投稿し、すべて受理された<br>4)学会賞・研究助成金は獲得できなかった   |
| 社会<br>貢献                              | 0.10                | 1)児童扶養手当法に関する審査業務の認定医として参画する  |     | 0.10  | 1)児童扶養手当法に関する認定医として、毎月2回の認定を行った   |
| 管理<br>運営                              | 0.10                | 1)救急部運営委員会・材料部委員会・医療品安全管理専門委員会・キャンサーボード運営委員などの院内委員会に携わる<br>2)卒後臨床研修センターのセンター員として研修医のメンタルヘルスサポートを行う<br>3)安全衛生委員会のカウンセラーとして職員の安全と健康の維持・増進に努める |     | 0.10  | 1)医療材料検討委員会、救急部運営委員会、医薬品安全管理専門委員会、キャンサーボード運営委員に携わった。<br>2)卒後臨床研修センター員として、研修医のメンタルヘルスサポートに積極的に関わった。<br>3)カウンセラーとして安全衛生委員会に携わった。                              |
| 進路<br>指導                              | 0.05                | 1)学生および研修医が率直に意見を述べることのできる機会を増やす<br>2)学生および研修医から積極的に意見を聴取する<br>3)学生および研修医の学習法および進路指導に関して、適切な助言を与える  |     | 0.05  | 医局説明会・後期研修説明会を開催することで<br>1)学生および研修医の進路指導に適切な助言を与えた<br>2)学生および研修医から積極的に意見を聴取した。<br>3)教育および進路指導に関して、適切な助言を与えた。  |
| 診療                                    | 0.35                | 1)弁証法的行動療法などの新たな診療技術および治療技法の獲得に努める<br>2)精神保健指定医として隔離・拘束等による患者の行動制限の最小化に努める<br>3)患者サービスの向上に寄与する  |     | 0.30  | 1)難治性統合失調症を対象としたクロザピンが使用可能にするためシステム構築に努めた。<br>2)精神保健指定医として休日・夜間でも病棟からのコールに応じ、入院患者の行動制限の最小化に努めた<br>3)経過が安定している症例には転院を促し、一人一人の患者さんの診療時間を十分に確保し、患者サービスの向上に寄与した |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。                                       |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 島袋 盛洋   | 所 属 |   | 医学部  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.20                | 臨床研修医および医学部学生への精神医学の講義および臨床現場における研修・実習の場面で実地指導を行う   |     | 0.2   | 年間を通じて臨床研修医および医学部学生への精神医学の講義および臨床現場における研修・実習の場面で実地指導を行った。                              |
| 研究                                    | 0.10                | 児童精神医学領域において、症例報告および観察研究を行い、成果を学会等にて発表する  |     | 0.1   | 平成26年12月の思春期懇話会で症例報告2例を行った。  |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 地域住民および地域の精神科関連の専門職に対して 精神疾患患者に対する知識について啓発的介入を行う  |     | 0.1   | 平成26年1月13日に那覇市 自殺予防対策事業活動で児童精神科領域の講義を行った。  |
| 管理運営                                  | 0.10                | 所属病棟において病棟医長として病棟の治療および安全管理を行う  |     | 0.1   | 病棟医長として勤務した。   |
| 進路指導                                  | 0.05                | 必要に応じて研修医および若手医師の進路指導および助言を行う   |     | 0.05  | 副医局長として 若手医師のキャリアプランについて助言を行った。  |
| 診療                                    | 0.45                | 琉球大学医学部附属病院における精神科外来および病棟において、一般患者における診療に従事するとともに、児童思春期専門外来を担当し、県内における児童思春期の専門的治療を行う。   |     | 0.45  | 琉球大学医学部附属病院における精神科外来および病棟において、一般患者における診療に従事するとともに、児童思春期専門外来を担当し、県内における児童思春期の専門的治療を行った。 |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 仲本 讓  | 所 属 | 医学研究科・精神病態医学講座  | 職 名   | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.30                | 医学部学生に対して、精神医学の系統講義を行う。また、臨床実習においては予診の取り方や、ロールプレイを用いたうつ病患者さんへの問診法について講義・実習を行う。  |     | 0.25  | ・・・3年次を対象に「コンサルテーション・リエゾン精神医学」の系統講義を行った。また、5, 6年次を対象に「ロールプレイを用いたうつ病患者さんへの問診法」について講義を行った。ポリクリ学生に対しては本診察や病棟実習を通して精神症状の評価・治療についての指導を行った。 |    |
| 研究                                    | 0.15                | 一般医に対するうつ病の認識・希死念慮への対応について啓発講演を行い、その効果について比較研究を行う。その研究結果を学会および論文にて発表する。   |     | 0.15  | ・・・一般医に対するうつ病の認識・希死念慮への対応について論文を作成中である。第38回日本自殺予防学会で症例報告、および第67回九州精神神経学会で研究発表を行った。  |    |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 自殺予防活動の一環として、啓発活動やメール相談事業への協力を行う。   |     | 0.05  | ・・・県で実施した自殺予防相談メール事業のアドバイザーとして、返信メール内容の監修を行った。  |    |
| 管理運営                                  | 0.15                | 琉球大学付属病院の副外来医長として外来業務運営に関するサポートを担う。病棟ではグループ長として安全管理や研修医・学生への指導を行う。  |     | 0.15  | ・・・副外来医長として外来での逆紹介推進について強化を行った。グループ長として学生・研修医の指導を行い、グループ内患者のリスクマネジメントを行った。  |    |
| 進路指導                                  | 0.05                | 初期研修医や後期研修医に対して、将来の進路の参考になるよう助言・相談を行う。  |     | 0.05  | ・・・初期研修医・後期研修医むけに「認知行動療法」「摂食障害」に関する講義を行った。往診でせん妄患者さんへの対応・薬物療法について指導を行った。将来どの科に進んでも役に立つ知識・面接技術について指導を行った。                              |    |
| 診療                                    | 0.30                | 外来での診察および病棟で主治医として診療に携わる。   |     | 0.35  | 外来での診察および病棟で主治医として診療に関わった。また、緩和ケアチームの一員として回診やミーティングに参加した。   |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>   |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)     |                     |  |     |   |   |
|--|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                    |                     | 甲田 宗良  | 所 属 |   | 医学研究科 精神病態医学講座  |
|  |                     |  | 職 名 |   | 助教  |
| 領域                                     | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                     | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修医, 医学部学生に対する心理カウンセリング, 心理検査等の講義, 教育を担当する。</li> <li>・教育学研究科臨床心理学専攻の実習生に対する心理カウンセリング等の指導を行う。</li> </ul>                            |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修医, 医学部学生に対する心理カウンセリング, 心理検査等の講義, 教育を担当した。</li> <li>・教育学研究科臨床心理学専攻の実習生に対する心理カウンセリング等の指導を行った。</li> </ul>  |
| 研究                                     | 0.40                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成26年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(研究活動スタート支援)への応募を予定している。</li> <li>・平成26年度中に英文誌に2本投稿, うち1本は受理を目指す。</li> <li>・平成26年度中に学会発表を4回行う。</li> </ul> |     | 0.40  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度科学研究費助成事業(科学研究費補助金)(若手B)に応募した。</li> <li>・平成26年度中に第2著者, 第3著者の英文誌それぞれ1本が受理, 第1著者, 第2著者の英文誌それぞれ1本を投稿予定であり, 順調に経過している。</li> <li>・平成26年度中に学会発表を5回行った。</li> </ul> |
| 社会貢献                                   | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般市民および医療・心理専門職に対する心理カウンセリングおよび精神疾患に関する啓発活動を行う。</li> <li>・企業, 行政機関を対象にメンタルヘルス研修を10件行う。</li> </ul>                                  |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県民の健康公開講座にて, 一般市民を対象に心理カウンセリングおよび精神疾患に関する啓発活動を行った。</li> <li>・平成26年度は, 平成27年1月28日(水)時点において, 8件のメンタルヘルス研修を行った。今後, 平成27年3月31日(火)までにさらに2件を担当する予定である。</li> </ul>     |
| 管理運営                                   | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属診療科において, 外来および病棟の管理運営の補助を行う。</li> </ul>  |     | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属診療科において, 外来および病棟の管理運営の補助を行った。</li> <li>・リスクマネージャー連絡会議, 感染対策実務者会議に出席した。</li> </ul>   |
| 進路指導                                   | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜, 研修医, 医学部学生および心理実習生に対する進路指導・助言を行う。</li> </ul>   |     | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・適宜, 研修医, 医学部学生および心理実習生に対する進路指導・助言を行った。</li> </ul>   |
| 診療                                     | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科外来および病棟において, 診療補助(心理カウンセリング, 心理検査, 心理教育や家族教室, 集団精神療法の運営)を行う。</li> <li>・平成26年度は延べ500名に対して支援を行うことを目指す。</li> </ul>                 |     | 0.30  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科外来および病棟において, 診療補助(心理カウンセリング, 心理検査, 心理教育, 集団精神療法の運営)を行った。</li> <li>・平成26年度は, 平成27年1月28日(水)時点において, 延べ265名に対して支援を行っている。</li> </ul>                                |
| 計                                      | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。</li> <li>・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>     |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。</li> </ul>  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |     |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|-----|
| 名 前                                   |                     | 要 旨   | 所 属 | 医学研究科・先進ゲノム検査医学講座   | 職 名   | 准教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |
| 教育                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリクリ学生への教育・指導を行う。</li> <li>・基礎配属学生への実験・研究指導を行う。</li> <li>・遺伝医学における最新の動向を講義・指導に取り入れる。</li> <li>・研究業績を取り入れた講義を行う。・その他医学英語等の講義を行う。</li> </ul>        |     | 0.25  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ポリクリ学生の指導を行った。・基礎配属学生への実験・研究指導を行った。</li> <li>・次世代シーケンサの進展、個人ゲノム、遺伝子解析における偶発的所見、CRISPR/Cas9ゲノム編集など最新の知見を取り入れた講義を行った。</li> <li>・遺伝子解析など研究内容を取り入れた講義を行った。・医学英語を担当した。</li> </ul>  |     |
| 研究                                    | 0.35                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究成果を学会で発表する。・競争的資金の獲得を目指す。</li> <li>・共同研究(学内、学外の大、研究施設など)を行う。</li> <li>・研究成果を研究誌へ投稿する。・学術誌の運営に貢献する。</li> <li>・学会へ提言、助言等を行い、学会運営へ貢献する。</li> </ul> |     | 0.35  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人類遺伝学会(国内、海外)、日本分子生物学会、日本先天異常学会等で成果発表、シンポジウム講演、座長等を行った。・文科科研、厚労科研、その他外部資金を獲得した。・国立遺伝学研究所、長崎大、東大、横浜市立大、沖縄総合科学研究所等と共同研究を行った。・JHG, AJMG, Cell Signals等の雑誌へ論文を発表した。・AJHG, AJMG, JHG, IAM, Pediatrics International等の投稿論文の審査を行った。・先天異常学会、人類遺伝学会等の評議員会へ参加した。</li> </ul> |     |
| 社会貢献                                  | 0.15                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学外の学術委員会等へ参画する。</li> <li>・学術誌の編集委員を務める。</li> <li>・地域貢献へ向け、実験講習会や講義などの教育を行う。</li> </ul>  |     | 0.15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄高等工業専門学校の遺伝子組換え安全委員会へ参画し、申請審査等を行った。・IAM, IJGGの副編集長、編集委員として編集を行った。・学外で開催されたDNA体験講座、講習会での講義、実習指導を行った(熊本大学)。</li> <li>・学外施設で言語発達障害学の講義を行った。</li> </ul>   |     |
| 管理運営                                  | 0.20                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査部の安定した管理運営を行う。</li> <li>・学内委員会などに参加、貢献する。</li> </ul>  |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内ハラスメント担当相談窓口を担当した。・ヒトゲノム・遺伝子研究倫理委員会委員長を担当した。・病院内委員会に参画した。</li> <li>・H26年度大学センター試験の監督を行った。</li> <li>・M5総合試験試験監督を行った。</li> </ul>  |     |
| 進路指導                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生(指導学生等)に対し、勉学や生活などに関する話す会合を開く。</li> <li>・学生の将来的進路(診療科など)に関して助言を行う。</li> </ul>   |     | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導学生と勉学や生活などに関して話し合う会合を開いた。</li> <li>・6年次学生、5年次学生より進路について相談を受け、助言を行った。</li> </ul>   |     |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>                       |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>   |     |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |     |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 潮平 知佳   | 所 属 | 再生医学講座  | 職 名   | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.10                | 医学科教育連絡主任をつとめる。再生医学講座新教授の方針のもと業務を遂行する。  |     | 0.20  | 医学科4年時の基礎講座での教育実習を行った。大学院および医学科学生向けの授業の手伝いをした。講座長が併任する産官学関連事業において培養士養成教育を手伝った。                |    |
| 研究                                    | 0.50                | 再生医学講座新教授の方針のもと研究に従事。講座開設に向けて、再生医療に関する基本技術の習得。また最新技術や、最新機器に関する技術を得るため、学内外の研究会に参加し、技術を習得する。            |     | 0.50  | ・再生医療に関する研究活動を行い英語論文を発表した。・再生医療に関する最新技術の習得をした。・講座長が開催する研究会の運営および再生医療に関する研究会または学会への参加を積極的に行った。 |    |
| 社会貢献                                  | 0.20                | 再生医学新講座の方針のもと社会貢献。学内外の研究会および研修会への参加。学会誌への論文投稿。  |     | 0.10  | 再生医療に関する学内外の研究会および研修会への参加、学会誌への論文投稿を行った。また、講座が関わる産官学関連事業推進を積極的に関わり社会貢献した。                     |    |
| 管理運営                                  | 0.20                | 再生医学新講座に関する管理運営業務を遂行する。医学科運営会議教育連絡主任をつとめる。入試関連業務。部局内の劇毒物薬品関連業務。                                       |     | 0.20  | 講座が関わる産官学関連事業での管理運営に関する業務を行った。医学科運営会議教育連絡主任をつとめる。入試関連業務。部局内の劇毒物薬品関連業務。                        |    |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |    |
|                                       | 0.00                |   |     | 0.00  |   |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   | 高山千利                |  | 所 属 | 医学研究科・分子解剖学講座   |   |
| 職 名                                   | 教授                  |  |     |   |   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学研究科博士課程・修士課程の新カリキュラムを作成し、講義・実習を行い、医学研究科大学院生の研究に協力する。</li> <li>・医学部医学科1年次、2年次の学生に対して、組織学、神経解剖学、発生学の講義・実習を行い、基礎医学力の向上に努める。</li> <li>・医学部4年次学生に基礎研究を指導し、研究者マインドの涵養に努める。</li> <li>・離島実習、地域医療セミナー、学生PBL、地域医療実習、患者付き添い実習、体験学習を企画し、引率を行い、学生が沖縄県における地域医療の実体と体得出来るよう努める。</li> <li>総合試験、CBT、OSCEなどの実施を統括する。</li> </ul>                           |     | 0.30  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・分子解剖学講座としての、大学院、学部における教育活動は予定通り行った。</li> <li>・基礎研究は希望者が無く、学部教育において研究の醍醐味を伝える用法を検討することが来年以降の課題となった。</li> <li>・医学教育企画室長としての教育に関する活動も予定どおり行った。</li> <li>・教務委員長としての教育に関する活動も予定通り行った。</li> </ul>   |
| 研究                                    | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院博士課程の学生の研究指導を行い、2名の大学院生の論文を完成する。</li> <li>・学位論文以外に1報以上論文を受理させる。</li> <li>・学内・学外の共同研究を進め、期間内に共著論文の作成に協力する。</li> <li>・基盤研究(C)以外の科研費医学の研究費(財団を含む)の獲得を1件以上行う。</li> </ul>  |     | 0.30  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院生2名に博士を授与することが出来た。</li> <li>・研究室としての論文3報、日本語総説1報、共同研究論文5報を出版または掲載予定となった。</li> <li>・基盤研究(C)を獲得出来た。</li> <li>・沖縄県知的クラスター形成事業の獲得(琉球大学代表)を続けている。</li> <li>・その他、共同研究において1件大型予算を獲得した。</li> </ul> |
| 社会貢献                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人 沖縄県医科学財団の役員として、理事会、評議会などに参加し、財団の管理運営を行うとともに、沖縄県の医学水準の向上に寄与する。</li> <li>・沖縄県地域医療協議会委員として沖縄県の地域医療に貢献する。</li> </ul>  |     | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団の理事に就任し、運営を行った。</li> <li>・沖縄県の地域医療協議会委員として地域医療の充実に寄与している。</li> </ul>  |
| 管理運営                                  | 0.35                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハラスメント関連の委員・規約策定メンバーとして琉球大学からあらゆるハラスメント行為が追放されるよう努力する。</li> <li>・医学部附属動物実験施設長(兼全学動物実験委員長)として組織の管理・運営・改組、予算要求を行い、琉球大学における動物実験を用いた研究が発展し、多くの業績が出せるよう努める。</li> <li>・医学教育企画室長、教務委員長、国際認証WG委員長などとして、率先してカリキュラムの改革、学生への介入を行い、学力の向上、医師となるための技術の向上、国家試験合格率の維持、大学院充足率の向上に努める。</li> <li>・医学部・医学研究科教授会メンバー、様々な委員として、医学部・医学研究科の管理運営に参加する。</li> </ul> |     | 0.35  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の学内・学部内委員会に関与し、琉球大学の管理・運営に当たっている。</li> <li>・ハラスメントの規約改訂、動物実験に関する様々なとりきめ、などを行っている。</li> <li>・学部教育に関する様々な改革、規程改正に関与している。</li> </ul>   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>  |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |  |    |  |   |   |    |  |     |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|--|----|--|---|---|----|--|-----|--|
| 名前                                    |                     | 岡部 明仁  |  | 所属 |  | 医学研究科・分子解剖学講座   |   | 職名 |  | 准教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |  |    |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |  |     |  |
| 教育                                    | 0.50                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部第1学年次生に対して組織学の講義及び実習を行う(合計8コマ)。また、他の教員の講義・実習にも補助教員として参加し、学生への指導を行う(合計18コマ)。</li> <li>・医学部第2学年次生に対して神経解剖学の講義・実習を行う(合計13コマ)。</li> <li>・医学部第2学年次生に対して医学外国語の講義を行う(計15コマ)。</li> <li>・医学部第2学年次生に対して発生学の講義を行う(1コマ)。</li> <li>・上記の担当した講義・実習について、定期試験及び再試験問題を複製し、試験監督を分担で行う。</li> <li>・医学部第4学年次生に対し、基礎研究の指導を行う。</li> <li>・全学対象に「キャリアデザインとジェンダー」の講義を清水先生と分担して1コマ担当する。</li> <li>・大学院生に対して研究方法論の講義を行う。</li> <li>・沖縄リハビリテーション福祉学院の夜間部にて非常勤講師として解剖学の講義を10コマ担当する(計60コマのうち)。</li> <li>・歯科衛生士学校の学生に対し、本学にて一般解剖の実習見学を行う。</li> <li>・沖縄リハビリテーション学院、琉球リハビリテーション学院の第2学年次生に対して、本学にて神経解剖学・脳実習の実習見学を行う。</li> </ul> |  |    |  | 0.45  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部第1学年次生に対して組織学の講義及び実習を行う(合計8コマ)。また、他の教員の講義・実習にも補助教員として参加し、学生への指導を行った(合計18コマ)。</li> <li>・医学部第2学年次生に対して神経解剖学の講義・実習を行った(合計13コマ)。</li> <li>・医学部第2学年次生に対して医学外国語の講義を行った(計15コマ)。</li> <li>・医学部第2学年次生に対して発生学の講義を行った(1コマ)。</li> <li>・上記の担当した講義・実習について、定期試験及び再試験問題を複製し、試験監督を分担で行った。</li> <li>・本年度は医学部第4学年次生の基礎研究希望者がいなかった。</li> <li>・全学対象に「キャリアデザインとジェンダー」の講義を清水先生と分担して1コマ担当した。</li> <li>・大学院生に対して研究方法論概論の講義を2コマ行った。</li> <li>・沖縄リハビリテーション福祉学院の夜間部にて非常勤講師として解剖学の講義を10コマ担当した(計60コマのうち)。</li> <li>・歯科衛生士学校の学生に対し、本学にて一般解剖の実習見学を行った。</li> <li>・沖縄リハビリテーション学院、琉球リハビリテーション学院の第2学年次生に対して、本学にて神経解剖学・脳実習の実習見学を行った。</li> </ul> |    |  |     |  |
| 研究                                    | 0.40                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本神経科学学会大会(横浜)にて筆頭著者として発表する。</li> <li>・共著者として日本神経化学会(奈良)にて発表する。</li> <li>・本年度は論文受理数2本を目指す。</li> <li>・大学院博士課程の学生の研究指導を行う。</li> <li>・科学研究費補助金の獲得を目指す。</li> </ul>   |  |    |  | 0.45  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26年4月に複数筆頭著者の一人として、Journal of Physiologyに、H27年1月には筆頭著者兼責任著者としてBrain Researchに、その他の共著論文を加えて合計3編の論文が国際誌に受理された。</li> <li>・上記の研究に関する成果を日本神経化学会にて共著者として発表した。</li> <li>・上記の研究成果について日本解剖学会・日本生理学会合同大会にてシンポジウムをオーガナイズし、シンポジストとして発表した。</li> <li>・大学院修士及び博士課程学生の研究指導を行った。</li> <li>・科学研究費補助金の申請を行った。</li> </ul>  |    |  |     |  |
| 社会貢献                                  | 0.01                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本解剖学会及び日本生理学会評議員として両学会の発展に貢献する。</li> </ul>  |  |    |  | 0.03  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本解剖学会及び日本生理学会評議員として合同大会でシンポジウムの共同オーガナイザーとなり、さらにシンポジストとして発表をした。</li> <li>・生理学会女性の会グループディナーにおいて「女性研究者の夫は、今、何を考えるか」というテーマで講演を行った。</li> </ul>  |    |  |     |  |
| 管理運営                                  | 0.01                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・極低温センター運営委員会2号委員(至H27年3月31日)。</li> </ul>   |  |    |  | 0.03  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・極低温センター運営委員会に出席した。</li> <li>・医学部長・附属病院長選挙管理委員に選出された。</li> <li>・大学入試センター試験試験監督(主任監督)</li> <li>・H27年度前期入学試験面接員</li> <li>・国際認証新カリキュラム編成委員のうち、人体の構造と機能、分子細胞生物学、神経科学の検討会メンバーとなった。</li> <li>・CPC事業 仕様策定委員に任命された。</li> </ul>   |    |  |     |  |
| 進路指導                                  | 0.08                | H26年度 指導教員:指導教員として新1年生が大学生活にスムーズに移行できるよう、平均して2~3週に一度のペースで面談をしていきたい。  |  |    |  | 0.03  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26年度 1年次指導教員:SNSの発達により教官が積極的に関与する必要がないほど学生の大学生活への順応が早かった。また、後期に組織学の講義・実習が週2回のペースで行われたので、その時間を利用して学生の把握に努めた。加えて、既定の半期につき1回の班会を行った。</li> </ul>   |    |  |     |  |
| その他                                   | 0.00                |  |  |    |  | 0.01  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵庫医科大学大学院にて「神経回路発達におけるGABAの役割」というタイトルで特別講義を行った。</li> </ul>  |    |  |     |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>  |  |    |  | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>   |    |  |     |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |  |    |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |  |     |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)           |                     |   |     |   |   |
|--|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前  |                     | 大倉 信彦   | 所 属 |   | 大学院医学研究科分子解剖学講座   |
|  |                     |   | 職 名 |   | 助教  |
| 領域   | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育   | 0.50                | <p>昨年に引き続き、学部担当科目(生命科学, 組織学, 発生学, 基礎研究)の講義ならびに実習を分担する。組織学各論開始時のTBLを更に改良する。教材の改良に努める。教育連絡主任として、医学部教育の改善に貢献する。</p>  |     | 0.50  | <p>学部担当科目について、パワーポイントを使用した講義教材をさらに改良し、講義・実習を実施した。教材はオンライン学習システムにアップロードし、学生の自習の便を図った。組織学実習において、TBLを継続実施し、効果を上げるための内容改善を試みた。教育連絡主任として、医学部教育の改善に貢献した。</p>                |
| 研究   | 0.40                | <p>二型精子の研究を継続して行う。カワニナを材料として、異型精子特異的タンパク質の解析を開始する。人体解剖学分野との共同研究で、ホヤ卵の受精に関する研究における形態学的解析を分担する。二型精子研究に関して、科学研究費申請に加えて、マリンバイオ共同推進機構の研究課題に応募する。学会発表を少なくとも1回は行う。</p> |     | 0.40  | <p>正型精子と異型精子を、パーコール遠心法で分離することができた。異型精子特異的な蛋白質の解析を、年度末までに筑波大学臨海実験所の稲葉研究室と共同で実施する予定である(この内容で、マリンバイオ共同推進機構の研究課題に申請中)。科学研究費の申請を行った。9月に東北大学で開催された、日本動物学会大会で、演題を2題発表した。</p> |
| 社会<br>貢献                                     | 0.10                | <p>地域のコメディカル教育(那覇看護専門学校)に協力する。解剖生理学の講義および解剖見学実習を通して、看護職の基盤教育に貢献したい。その他に、地域団体等からの要請があれば、一般市民を対象に、研究について判りやすく紹介する講義や講演などを行う。</p>                                  |     | 0.10  | <p>那覇看護専門学校看護学科で人体の構造と機能(解剖生理学)の講義を行った。実習見学は、本学の実習日程が変更になり実施できなかったが、来年度に実施する予定である。</p>  |
| 管理<br>運営                                     | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 進路<br>指導                                     | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 計  | 1.00                | <p>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br/>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br/>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>  |     | 1.00  | <p>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>  |
| <p>※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。</p> |                     |   |     | <p><input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。      <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。</p> |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |                                      |  |                                      |      |
|---------------------------------------|---------------------|--|--------------------------------------|--|--------------------------------------|------|
| 名 前                                   | 清水 千草               |  | 所 属                                  | 医学研究科・分子解剖   | 職 名                                  | 特命助教 |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)                  | 平成26年度 年度末自己点検結果   |                                      |      |
| 教育                                    | 0.40                | 医学部1年次学生に対し、組織学の講義・実習を行う。<br>医学部2年次学生に対し、神経解剖学の講義・実習を行う。<br>医学部4年次学生に対し、基礎研究の指導を行う。<br>医学研究科博士課程の学生に対して、コース共通科目、選択科目の講義・実習等を行う。<br>医学概論及び「キャリアデザインとジェンダー」の講義を行う。<br>沖縄リハビリテーション学院、琉球リハビリテーション学院に対し、神経解剖学の実習を行う。<br>那覇市立看護学校、歯科衛生士学校について、人体解剖学の実習を行う。 | 0.40                                 | *医学部1年次学生に対し、組織学の講義・実習に、医学部2年次学生に対し、神経解剖学の講義・実習をに参加し、学生への指導を行った。実習中は学生に質問をし、わからない部分をともに考えるようにした。<br>*医学部1年次学生に対し医学概論の講義を行った。<br>*共通教育科目である「キャリアデザインとジェンダー」の講義を行った。<br>*医学研究科博士課程の学生に対して、長寿健康概論などのコース共通科目、選択科目の講義・実習等を行った。<br>*沖縄リハビリテーション学院、琉球リハビリテーション学院に対し、神経解剖学の実習を行った。<br>*歯科衛生士学校について、人体解剖学の実習を行った。   |                                      |      |
| 研究                                    | 0.60                | 医学研究科博士課程の学生に対して、研究指導を行う。<br>昨年採択された科学研究補助金基盤研究(C)「胎児期における抑制性GABAシナプスの構築と呼吸リズム」(代表、437万円(間接経費含む))について研究を継続し、学会発表を1回以上行う。<br>GABAに関する論文を1本投稿する。<br>第2内科及び分子・細胞生理学講座との共同研究を推進する。   | 0.60                                 | *医学研究科博士課程大学院生に研究指導を行った。その成果を、解剖学会九州支部学術集會にて、学生が発表を行った(清水は共著者)。<br>*NeuroscienceLetterに論文が受理された(清水は共著者)。<br>*韓国獣医解剖学会での発表において、共著者となった。<br>*科学研究補助金基盤研究(C)「胎児期における抑制性GABAシナプスの構築と呼吸リズム」(代表、437万円(間接経費含む))について研究を継続した。<br>*上記科研究費に関する研究成果を日本神経化学会にて筆頭著者として発表を行った。<br>*上記科研究費に関連する研究成果についてBrain Researchに論文が受理された(共著者)。<br>*沖縄県知的・産業クラスター形成推進事業(国際共同研究事業)[生活習慣病を予防・改善する沖縄県産高機能米開発]について研究を行った。<br>*上記研究費による研究成果を日本肥満学会及び日本解剖生理合同学会にて筆頭著者として発表を行った。<br>*奈良先端科学技術大学院大学との共同研究を行い、その研究成果が日本神経化学会にて発表された(清水は共著者)。<br>*上記共同研究の成果について、Frontiers in Cellular Neuroscienceに論文が受理された(共著者)。<br>*「食シグナルの認知科学の新展開と脳を活性化させる次世代機能性食品開発へのグランドデザイン」(戦略的イノベーションプログラム)について第二内科と共同研究を行った。<br>*第二内科との共同研究の論文がEndocrinologyに受理された(清水は共著者)。<br>*分子・細胞生理学との共同研究の研究成果について、日本解剖生理学会合同学会などで発表及びBBRCに論文が受理された(いずれも清水は共著者)。<br>*昨年度に引き続き、すかいらーくフードサイエンス研究所研究助成について研究を行った。(代表:高山千利、研究分担者:清水千草、190万円)。<br>*昨年度に引き続き、人・健康・未来研究財団研究助成について研究を行った。(代表:高山千利、研究協力者:清水千草、100万円)。<br>*琉球大学理学部とμCTを用いたサンゴの形態についての共同研究を行った。<br>*琉球大学農学部と食品に含有される多糖類等の機能についての共同研究を行った。 |                                      |      |
| その他                                   | 0.00                |  | 0.00                                 | *日本神経科学会にて「ライフワークバランス実現のために」についてランチョンセミナーにて講演を行った。   |                                      |      |
| 計                                     | 1.00                | ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  | 1.00                                 | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |                                      |      |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 |  | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |      |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |     |   |  |     |    |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|-----|---|--|-----|----|--|
| 名 前                                   |                     | 陣野吉廣  |  | 所 属 | 医学研究科   |  | 職 名 | 教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |    |  |
| 教育                                    | 0.38                | 1. 生命科学の講義はいつも全力投球だが、今年も全力投球でベストを尽くす。<br>2. 医学英語を通して英語になじませると同時に医学への関心を高める。                           |  |     | 0.38  | 1. 生命科学第一回目講義で大きな拍手をもらった。<br>2. 医学概論Bでも大きな拍手をもらった。<br>3. 医学英語では特に精神疾患への興味を持ってもらった。   |     |    |  |
| 研究                                    | 0.60                | 以下を目指して実験を進行させる。<br>1. 学会に発表する。<br>2. 論文にまとめる。<br>更に、外部資金の獲得を目指して科研費以外にも申請する。                         |  |     | 0.60  | 1. 結果をまとめ学会に発表した。<br>2. あと一步結果が足らず論文までに至っていない。<br>3. 外部資金の獲得を目指して科研費を含め複数の研究助成に申請した。 |     |    |  |
| 社会貢献                                  | 0.00                |   |  |     | 0.00  |  |     |    |  |
| 管理運営                                  | 0.01                | 大学入試面接委員としての役割を果たす。   |  |     | 0.01  | 2月、3月にその役割を果たす。  |     |    |  |
| 進路指導                                  | 0.01                | 留年しないように指導する。   |  |     | 0.01  | 前・後学期懇談会その他を通して留年しないように指導した。   |     |    |  |
|                                       | 0.00                |   |  |     | 0.00  |  |     |    |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 |  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |     |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |                     |   |     |                                      |     |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---------------------|---|-----|--------------------------------------|-----|
| 名 前                                   |                     | 小田 高也  | 所 属 |                     | 大学院医学研究科・ゲノム医科学講座   | 職 名 |                                      | 准教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |                                      |     |
| 教育                                    | 0.10                | (学部)・H25年度に実施した授業評価に基づく1年次担当講義(生命科学)の改善。<br>・1年次対象シミュレーション演習(#14)参加。<br>・2年次対象医学外国語代講(6/9-8/4)。<br>・教育連絡主任としての医学科教育への貢献。   |     | 0.20                | (学部)・M1の生命科学では昨年度に引き続いてウェブクラスを利用して専門用語の解説をおこない、知識獲得の拡充をはかった。また、年次長の協力を得て講義資料の配布を徹底した。本試験および追試験終了後に希望者に対し答案を開示し、採点の解説をおこなった。特に3名の単位未取得者に関しては学習方法の見直し等を含めた履修指導をおこなった。M1のシミュレーション演習では「エスコートグループ対抗レース(総まとめ)」を担当した。講座の主任教授が担当するM2の医学外国語の6コマを代講した。M5の倫理総合討論では、昨年に引き続き『遺伝子診断』をテーマとしてA3グループを担当した。国際認証WG委員として「分子細胞生物学」および「人体の構造と機能」検討会に参加した。<br>(大学院)・医学研究科博士課程「亜熱帯医学/再生・再建医学プロジェクト合同講義」#4を担当した。E-learning受講者1名に対して口頭試問をおこなった。 |     |                                      |     |
| 研究                                    | 0.82                | ・研究課題『ヒトゲノムに存在する反復配列遺伝子が有する生理的機能の解明』を展開させるため、胎盤組織で特異的に発現するHML6-c14転写物の細胞内での機能を明らかにする。<br>・H27年度『科学研究費補助金』の申請に向けて、細胞内で2種類存在する上記遺伝子転写物の細胞質および核内におけるそれぞれの役割を検証するための予備実験を行う。 |     | 0.65                | ・左記のテーマに基づき研究を進めているが、注目している胎盤組織で特異的に発現するHML6-c14転写物の発現が胎盤由来の細胞株であるBeWoの細胞融合に伴って亢進する事を見いだした(M6自由選択学生の研究テーマとして実施)。現在、細胞融合現象とHML6-c14との因果関係を明らかにするべく実験を進めている。  |     |                                      |     |
| 管理運営                                  | 0.03                | ・H25年度に引き続きハラスメント相談室相談員として、キャンパスにおける健全な環境維持に貢献する。<br>・委員の定年による退任に伴い、後任として疫学研究倫理審査委員会に参加の予定。個人の尊厳と人権の尊重、倫理的ならびに科学的観点から学内の研究が適正に施行されるよう貢献したい。                              |     | 0.10                | ・ハラスメント相談室相談員として5回のメール会議に参加した。また、相談室会議に提出された事案の調査委員会の委員として会議(3回)および事情聴取(5回)に参加した。<br>・4回の疫学研究倫理審査委員会に2号委員として参加し、28件の申請審査をおこなった。また、11件の迅速審査を担当した。  |     |                                      |     |
| 進路指導                                  | 0.05                | ・H26年度入学の医学科生10名(男性4名、女性6名)の指導教員を担当。昨年度まで担当していたH20年度入学担当学生9名および学士編入生1名と同様、担当班員全員そろっての進級、卒業および国家試験合格を目標に指導にあたる。   |     | 0.05                | ・指導学生であるH26年入学生10名のうちの2名が基礎専門教育科目である生命科学(担当科目)で単位を取得できなかった。個別面談をおこなった上で、学習方法の見直しも含めて履修指導をおこなった。また、共通教育科目1教科の成績判定が保留となっていた学生を指導して単位を取得させた。<br>・前後期の懇談会を通して担当学生と接し、履修指導をおこなうと共に課外活動を含めた生活状況の聞き取りなどおこない、個々の学生生活状況の把握に努めた。  |     |                                      |     |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00                | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |     |                                      |     |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     |                     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。  |     | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |     |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 石田 肇   | 所 属 |   | 医学研究科人体解剖学講座   |
| 職 名                                   |                     |  |     | 教授  |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.25                | 1年次解剖学総論の授業数を増やし、内容を充実させる。2年次では解剖学実習前の説明を行うとともに、献体の所見を把握させ、実習の質を上げる。解剖学実習での学生の成績評価を厳格に行う。4年次基礎研究で実施する局所解剖学実習では、臨床系講座の参加を促し、臨床に即した実習を行う。さらに、Webclassを充実させ、授業前にスライドをアップすることにより、学生の自主学習を促す。 |     | 0.30  | 1年次については、骨学実習を課外にも設け、自学自習を促した。2年次では、今年度から前期の実習となり、週4回の実習を実施。成績評価を厳格にした結果、再々試験まで実施。4年次基礎研究に加えて、今年度から6年次クリクラに5名の参加で解剖学実習を実施、外科系の教員とともに臨床的な解剖学実習となった。Webclassについては、授業、試験結果発表、欠席届などに使用。授業のスライドは予め載せて、学生の予習復習を促した。  |
| 研究                                    | 0.30                | 基盤研究A(代表、分担)などを基に臨床系、北海道大学および長崎大学等と連携し、琉球列島の人々の遺伝学、オホーツク文化人骨の遺伝学などの形質人類学研究を進め、アメリカ形質人類学雑誌等のインパクトのある雑誌への投稿を行い、受理を目指す。医学研究科並びに法文学部などとの共同研究を進め、概算要求や大型科研費の申請を行う。                            |     | 0.30  | 研究成果として、DNA Research, Molecular Biology and Evolution, American Journal of Human Biology, American Journal of Physical Anthropology, Quaternary International, Human Molecular Genetics, Anthropological Scienceなどに共著論文が掲載された。科研申請としては、法文学部や医学研究科と共同で基盤研究A、北海道大学と基盤研究Sの申請を行った。概算要求についても現在、提出中。 |
| 社会<br>貢献                              | 0.10                | コメディカル養成機関への医学専門教育の協力。とくに、骨学実習や解剖学実習見学を実施し、系統的理解を図る。厚生労働省から沖縄戦戦没者遺骨鑑定を依頼されているので実施する。11月に沖縄で、献体実務担当者会議を開催する。  |     | 0.10  | コメディカル養成機関への医学専門教育の協力を行った。とくに、骨学実習や解剖学実習見学を実施し、系統的理解を図った。厚生労働省から沖縄戦戦没者遺骨鑑定を依頼され、実施した。11月に沖縄で、献体実務担当者会議を開催する。また、3月の篤志献体解剖連合会で発表予定。  |
| 管理<br>運営                              | 0.25                | 医学科長として、学部長の補佐をするともに、入試委員長として、業務に当たる。医学部定員増を実施するとともに、入試改革を進め、入学生の質保証を進める。県内各高等学校入試説明会並びに朝日新聞社主催の入試説明会に出席し、受験生の質の確保を図る。   |     | 0.25  | 医学科長として、学部長の補佐をするともに、入試委員長として、業務をおこなった。医学部定員増を実施し、離島北部枠など5名増をはたした。学士編入学制度の廃止を目指したが困難であった。県内各高等学校入試説明会に出席し、受験生の質の確保を図った。とくに、離島北部枠の設置に伴い、石垣、宮古、久米島、名護高校へ出向き、説明会を実施した。  |
| 進路<br>指導                              | 0.10                | 今年度は、2年次指導教員および医学科長として、積極的に学生の進路相談に応じる。とくに1,2年次については、新たなカリキュラムに対応できるように随時相談に応じる。   |     | 0.05  | 2年次指導教員および医学科長として、積極的に学生の進路相談に応じた。とくに1,2年次については、新たなカリキュラムに対応できるように随時相談に応じてきた。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 泉水 奏  | 所 属 |   | 医学部・人体解剖   |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.40                | 教育連絡主任としての業務をおこなう。解剖I、基礎配属の実習に於いて、肉眼解剖の観察事項に関し組織学、生理学的観点からの理解と臨床との関連について理解が深まるよう、指導説明を行う。   |     | 0.40  | 教育連絡主任としての業務をおこなう。解剖I、基礎配属の実習に於いて、肉眼解剖の観察事項に関し組織学、生理学的観点からの理解と臨床との関連について理解が深まるよう、指導説明を行った。   |
| 研究                                    | 0.50                | 輸卵管内と外部に放られた卵のにおける生理学的、形態的变化に関する関係の研究を進め、本年度動物学会で発表を行う。また細胞外pH 上昇による卵受精能獲得に関する論文の投稿する。JAMO共同研究及び科研の申請を行う。   |     | 0.50  | 輸卵管内と外部に放られた卵のにおける生理学的、形態的变化に関する関係の研究を進め、本年度動物学会で発表を行なった。また細胞外pH 上昇による卵受精能獲得に関する論文の投稿の準備をすすめたが、投稿に至らなかった。JAMO共同研究及び科研の申請を行ない採択された。 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 沖縄地域のコメディカル養成機関において、解剖学の講義を行い人体解剖学的知識を基盤として、コメディカル人員の養成に貢献する  |     | 0.10  | 沖縄地域のコメディカル養成機関において、解剖学の講義を行い人体解剖学的知識を基盤として、コメディカル人員の養成に貢献するした。  |
| 管理運営                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |  |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |     |   |  |     |    |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|-----|---|--|-----|----|--|
| 名 前                                   |                     | 松下 正之   |  | 所 属 | 大学院医学研究科  |  | 職 名 | 教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |    |  |
| 教育                                    | 0.20                | 学部学生<br>1)生理学Iの講義・実習により生理学への理解を深める。<br>2)国家試験レベルのミニテストを授業終了時に行い理解を深める。<br>3)世界的な医学領域の発見を紹介し、研究マインドを醸成する。<br>4)授業資料はホームページで閲覧可能とする。<br>大学院生<br>1)生理学概論や各論の講義により、研究活動に必要な知識や思考法を習得させる。<br>2)3名の大学院指導を行い、1名は今年度中に学位論文を完成させる。 |  |     | 0.20  | 生理学Iの授業・実習により基礎医学の理解を深めさせる、基礎医学に対する興味を喚起することができた。その結果として、2人の学部学生が授業終了後に、自主的に研究室でプロジェクトを持ち実験を行っている。平成26年度の目標に関しては、すべて達成している。大学院生2名の研究指導を行い、学会発表をや論文投稿を行った。  |     |    |  |
| 研究                                    | 0.20                | 1)投稿中のTRPM7論文の今年度中の受理を目指す。<br>2)グリオーマ特異的膜透過ペプチドの論文を投稿受理させる(学位論文)。<br>3)低酸素応答解析のOISTとの共同研究論文を受理させる。<br>4)医学部で獲得している2件の概算要求プロジェクトを推進する。<br>5)現在獲得している基盤B研究を推進する。<br>6)沖縄県との共同事業である先端医療基盤活用型クラスター事業を推進する。                    |  |     | 0.20  | 1)TRPM7論文がScientific Reportsに受理された。<br>2)グリオブラストーマ論文がBBRCに受理された。<br>3)先端医療基盤活用型クラスター事業の代表として大型研究費に採択された。<br>4)沖縄大学院大学との共同研究は論文執筆に入った。<br>5)医学部で獲得している2件の概算要求プロジェクトに貢献した。<br>6)科研基盤(B)研究計画を着実に推進した。 |     |    |  |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 1)沖縄県内の医療福祉関係の専門学校生に講義を行い、沖縄県の医療に貢献する。<br>2)沖縄県や沖縄総合事務局主催の会議に参加し、沖縄県の医療レベルの向上に貢献する。   |  |     | 0.05  | 平成24年度の目標は達成している。さらに、沖縄県の医療分野での多岐にわたる領域で委員などを務めている。  |     |    |  |
| 管理運営                                  | 0.50                | 1)医学部長・研究科長として医学部の管理運営を行う。<br>2)分子・細胞生理学講座教授として講座の管理運営を行う。  |  |     | 0.50  | 医学部長・医学研究科長として医学部の管理運営業務を行い、学部の改革にも取り組んでいる。さらに、医学部移転事業の推進に取り組んでいる。   |     |    |  |
| 進路                                    | 0.05                | 大学院生や学部学生の進路に関する助言や推薦を行う。   |  |     | 0.05  | 本年度卒業見込みの大学院生の進路指導を行った。  |     |    |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。   |  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |     |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 中村 真理子  | 所 属 |   | 医学研究科 分子・細胞生理学講座   |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 准教授  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト<br>比(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.40                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・M1の生理学I講義を後期 11コマと実習10日間担当する。理解度を深める講義を指し、TBL様形式も出来るだけ講義に取り入れていく。止血機構の講義では、血管内皮細胞・血小板機能等、研究内容を講義や実習に導入する。</li> <li>・M2対象の生理学II実習を前期5日間 脳波のとり方と解説を指導する。</li> <li>・シュミレーション講義(M1)・TBL(M4)へ参画する。</li> <li>・医学外国語は、[凝固線溶について]、輪読・解析し知識を吸収できる講義にする。</li> <li>・M4基礎配属では実技を通して、血小板の基礎－臨床応用の研究を指導する。</li> </ul> |     | 0.50  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生理学I講義は、基礎知識を臨床的知識へ繋げられるような講義を達成できた。</li> <li>また、止血機構の講義では、血小板機能の新しい研究結果を踏まえて講義を行えた。</li> <li>・生理学II実習は、前年と同様に 脳波のとり方と解説を指導し達成できた。</li> <li>・医学外国語は、[凝固線溶]輪読し、血液の知識を吸収できる講義を達成できた。</li> <li>・基礎配属では、実技を通して、血小板の基礎－臨床応用を指導し、達成できた。</li> </ul> |
| 研究                                    | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本生理学会(神戸)で「天然素材(蛇毒)からの抗血小板剤の開発」に関連する研究報告・発表を行う。</li> <li>・前年度に引続き、「ハプトビン組換え蛋白体の構造と抗血栓活性発現との関係性」の研究を継続し、組換えハプトビンの血小板凝集能抑制効果について追究する。現在、論文作成中である。</li> </ul>   |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「天然素材(蛇毒)からの抗血小板剤の開発」に関連する研究報告・発表については、データ数が少ないため、研究報告発表を達成できなかった。</li> <li>・「ハプトビン組換え蛋白体の構造と抗血栓活性発現との関係性」の研究継続は達成できたが、組換えハプトビンの血小板凝集能抑制効果について論文作成は現在進行中で、達成できなかった。</li> </ul>   |
| 社会貢献                                  | 0.15                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学療法士や作業療法士を目指す学生に、生理学講義・実習を通して正常な身体の機能を教授する(学外)。</li> <li>・県立看護大学大学院で、病態生理学(病態と生理学の溝)(6月)、(検査基準値と年齢別変化について)(2月)に講義およびセミナーを行う。</li> <li>・日本生理学会・日本病態生理学会(教育委員として)評議員会へ参加する。</li> </ul>  |     | 0.15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学・作業療法士を目指す学生に対する生理学講義・実習は、人体の機能について興味をもてたなどの評価を受けたことから達成できたと思う(学外)。</li> <li>・県立看護大学大学院での病態生理学講義についても、大学院生から理解しやすく、再講義のリクエストもあったことから思った以上に達成できた。</li> <li>・西日本生理学会および評議員会へ参加は達成できた。</li> </ul>   |
| 管理運営                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育連絡主任として、会議に出席し、医学科の教育向上に貢献する。</li> <li>・センター試験・入学試験およびCBT等の試験監督を率先して行なう。</li> </ul>   |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育連絡主任として医学科の教育向上に貢献するために、教育企画室への協力は可能な限り行った。講座内会議では、今後のカリキュラム編成について企画室との連携が重要であり、相互に協力することを呼びかけた。</li> <li>・センター試験・入学試験の面接および監督を行った。</li> </ul>   |
| 進路指導                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度はM1(新入生)の指導教官として指導・任務を遂行する。</li> <li>・学生からの要望があれば、オフィスアワーを設けるようにする。</li> </ul>   |     | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・M1(新入生)の指導教官として、班会議を通して、指導した。</li> <li>・学士学生および学生へのオフィスアワーを設けて、セミナー形式の講義を2回ほど行った。</li> </ul>   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>   |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |     |  |                                      |   |                                      |  |      |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|-----|--|--------------------------------------|---|--------------------------------------|--|------|--|
| 名 前                                   |                     | 圓谷 智之   |  | 所 属 |  | 医学研究科 分子・細胞生理学講座                     |   | 職 名                                  |  | 特命助教 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)                  | 平成26年度 年度末自己点検結果  |                                      |  |      |  |
| 教育                                    | 0.10                | 大学院生への実技・技術指導   |  |     |  | 0.15                                 | 実験の技術指導および研究内容について随時助言を行った。大学院生への技術指導および研究助言により第4著者として論文を発表した。学部学生への実習指導を行った。   |                                      |  |      |  |
| 研究                                    | 0.90                | 菌の発生、形成におけるTRPM7の役割とその分子的機構の解析<br>細胞膜透過性ペプチドの細胞内侵入に関わる分子の同定とその分子機構の解析   |  |     |  | 0.75                                 | TRPM7の生体内における分布領域を解明した。現在は継続して生体内における分子的機構の解析を行っている。細胞膜透過ペプチドの細胞内侵入に関わる分子を同定した。 |                                      |  |      |  |
| 社会貢献                                  | 0.00                |   |  |     |  | 0.10                                 | TRPM7の生理学的機能について日本分子生物学会年会において発表を行った。   |                                      |  |      |  |
| 管理運営                                  | 0.00                |   |  |     |  | 0.00                                 |   |                                      |  |      |  |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |  |     |  | 0.00                                 |   |                                      |  |      |  |
|                                       | 0.00                |   |  |     |  | 0.00                                 |   |                                      |  |      |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |  |     |  | 1.00                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul> |                                      |  |      |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 |   | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |      |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |     |   |   |     |    |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|-----|---|---|-----|----|--|
| 名 前                                   |                     | 筒井 正人   |  | 所 属 | 薬理学   |   | 職 名 | 教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |    |  |
| 教育                                    | 0.37                | ①医学科3年生の薬理学講義・実習、②医学科4年生の基礎研究室配属の学生指導、③薬理学大学院生の研究指導、④医学科2年生の医学外国語の講義、⑤医学科指導学生の指導、および⑥大学院生の指導を行う予定である。熱意と誠意を持って、当該教育に打ち込む。 |  |     | 0.37  | 左記の目標は十分に達成できた。   |     |    |  |
| 研究                                    | 0.37                | 世界的に権威のある雑誌に、出来るだけ多くの論文をpublishさせることを目指す。加えて、外部資金の獲得に尽力する。  |  |     | 0.37  | 論文発表と外部資金獲得に関して、客観的にある程度評価される成果を残すことが出来た。今年をさらなる飛躍の年にしたいと考えている。 |     |    |  |
| 社会貢献                                  | 0.02                | 久留米大学医学部において薬理学の講義を支援する。また、公開授業を提供し、社会貢献を果たす。   |  |     | 0.02  | 左記の目標は十分に達成できた。   |     |    |  |
| 管理運営                                  | 0.20                | 現在、①学長補佐、②副医学部長、③学務委員会(委員長)、④大学院委員会委員、⑤医学研究科・医学部予算委員会委員、⑥教務委員会委員、⑦臨床研究利益相反審査部会委員、⑧薬事審議会委員を担当している。当該役職の職責を全うする。            |  |     | 0.20  | 左記の目標は十分に達成できた。   |     |    |  |
| 進路指導                                  | 0.04                | 医学科の薬理学講義、基礎研究室配属の学生指導、薬理学大学院生の指導、医学外国語の講義、指導学生の指導、および医科学研究生の指導に際して、自身の体験を踏まえて進路指導を行う。                                    |  |     | 0.04  | 左記の目標は十分に達成できた。   |     |    |  |
|                                       | 0.00                |   |  |     | 0.00  |   |     |    |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。                     |  |     | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。                                   |     |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |     |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |     |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|-----|
| 名 前                                   |                     | 野 口 克 彦   | 所 属 | 大学院医学研究科薬理学   | 職 名  | 准教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |
| 教育                                    | 0.30                | 基礎配属された学部学生ならびに大学院修士課程学生に対し、基礎薬理学に関するセミナー形式や実験による教育を昨年度までの反省を踏まえた上で実践する。また、大学院博士課程の学生に対し、研究の指導助言を行う。3年次学部学生には担当する「薬理学」の講義を、できるだけ最新の知見を取り入れつつ、全体的なレベルアップを図ることを目標に行う。 |     | 0.30  | 3年次学部学生には、担当する「薬理学」の講義16時限を、最新の研究成果を織り交ぜつつ行った。薬理学実習では、昨年の経験を踏まえて改善しつつ実施し予定通り終了した。4年次学生には、TBLを1コマ担当した。基礎配属の学部学生に対して、医師としての心構えについて議論した。大学院修士課程の学生5名に「薬物作用学特論」の講義を行った。博士課程の学生に対しては、研究および論文作成についての指導助言と実験の一部とデータの解析を行った。 |     |
| 研究                                    | 0.60                | 現在取り組んでいる研究テーマ「循環器疾患と血管内皮細胞機能の役割」について、情報収集と実験及びデータの解析を実施し、学会発表の準備を行う。今年度は、新しい遺伝子改変マウスの作製およびその表現型の検討に関する研究を始める。また、これまでの研究成果をまとめ、欧文誌への投稿を行う。                          |     | 0.60  | 現在取り組んでいる研究テーマについて、情報収集と実験及びデータの解析を行った。新しい臓器特異的・時期特異的ノックアウトマウスの作成を実施し、その一部のマウスを理研に提供した。また、別のテーマについて、論文にまとめ、欧文誌へ投稿し、受理された。  |     |
| 社会貢献                                  | 0.04                | 沖縄産天然物生理活性物質の薬理作用に関する研究に関連して、県内企業との共同研究の可能性について検討する。  |     | 0.04  | 今期では、県内企業との共同研究は実現しなかったが、企業など外部からの関心が得られるような沖縄産天然物生理活性物質の薬理作用に関する研究テーマについて情報収集を行った。  |     |
| 管理運営                                  | 0.02                | 学内および教室内の省エネ・省資源などのエコアクションに参画し、いっそうの充実を図るよう努力する。今年度も引き続き、琉球大学AO会議のオフィス員に就任したので、構成員としての役割を果たす。   |     | 0.02  | 学内および教室内の省エネ・省資源などのエコアクションに努めた。また、琉球大学AO会議の医学部オフィス員としてAO会議に出席し、責務を果たした。  |     |
| 進路指導                                  | 0.04                | 6年次学部学生の指導教員として、年次別懇談会を実施するとともに、学生の修学、経済問題、学生生活全般などに関する諸相談に応じ、適切な指導助言を行う。また、他の学部学生、および大学院生に対しても進路や履修などについて積極的に相談に応じられるよう努める。  |     | 0.04  | 6年次学部学生の指導教員として、年次別懇談会を前期および後期に実施するとともに、学生の修学、経済問題、学生生活全般などに関する諸相談に応じ、研修医採用のための推薦文作成や適切な指導助言を行った。また、他の学生に対しても履修や卒後の進路などについて積極的に相談に応じた。   |     |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |     |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 坂梨 まゆ子   | 所 属 |   | 医学研究科  |
|                                       |                     |  | 職 名 |   | 助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.25                | 中枢作用薬の講義では、近年開発された新規の薬理作用をもつ抗うつ薬の特徴の説明を追加する。漢方薬の講義では、外科領域での使用頻度が上昇している六君子湯に関する説明を追加する。昨年度に引き続き、学内外で開催されるFDや薬に関する研修会に参加し、最新の知見を広め、講義や実習に反映する。               |     | 0.25  | 中枢作用薬の講義では、近年開発されたドパミンシステムスタビライザーの説明を追加し、さらに社会問題となった危険ドラッグ等の薬理作用に関する説明を行った。漢方薬の講義では、六君子湯の薬理作用に関する説明を新たに追加した。またFDや研修会(SGLT阻害薬、抗凝固薬、低用量ピル、喘息用吸入薬)および東洋医学会専門医による勉強会(漢方塾)等に参加し、新しいの知見の獲得に努めた。                          |
| 研究                                    | 0.55                | 新規テーマである3-MSTノックアウトマウスの表現型確認に関する研究を中心に行い、その中で新しい実験手技(リアルタイムPCR等)を修得する。トリプルNOSノックアウトマウスを用いる研究では、昨年に引き続き自然発症心筋梗塞マウスの性差に関する研究を行う。研究の成果は、日本薬理学会、日本薬学会等で報告発表する。 |     | 0.59  | 3-MSTノックアウト(KO)マウスを用いた研究に携わり、代謝(摂餌量、飲水量、尿量、便量等)確認、血液検査、IPGTT、血中Angiotensin II濃度の測定、NaHS投与による血圧変動等を行った。その際、新たな実験手技としてRT-PCRを修得した。トリプルNOS KOマウスを用いた性差研究を引き続き行った。新たに、Low NOx食誘発MetSマウスの研究に携わり、硝酸薬負荷によるMetS改善作用実験を行った。 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 漢方薬・生薬認定薬剤師として、漢方薬の使用や適応などに関する相談に応じたり、副作用情報の提供を行う。専門分野(薬理学)の知識を生かして、学外の看護学生への教育を行う。一般の方向けのお薬相談で薬の飲み方や相互作用に関する相談に応じる。                                       |     | 0.10  | 欧文学術誌の査読を行った。漢方薬・生薬認定薬剤師として、医師よりADHDおよび味覚障害治療における漢方薬使用に関する相談に応じ、情報提供を行った。浦添看護学校で、非常勤講師として薬理学の教育を行った。こども薬剤師体験会(ボランティア)のインストラクターを務めた。市民向けイベントにおいて、健康チェック(骨粗鬆症、貧血、高血圧の簡易検査および結果説明)を行った。                               |
| 管理運営                                  | 0.05                | 教育連絡主任として会議等に参加し、活動に貢献する。センター試験の試験監督業務など入試業務に協力する。エコアクションの一環として、研究室内の毒劇物管理を行う。化学物質管理責任者として試薬等の健全な管理を行う。  |     | 0.05  | H26年度の教育連絡主任を務めた。入試業務(センター試験の試験監督業務)に協力した。化学物質管理責任者として、新たにCRISシステムを用いた試薬等の健全な管理を行い、研究室内の毒劇物管理方法の見直しを行った。   |
| 進路指導                                  | 0.05                | 医学部の学士入学希望者ならびに大学院進学希望者に対応する(キャンパス案内や研究内容の紹介など)。薬剤師資格を持つ大学院生に対しては、就職先の相談に応じる。  |     | 0.01  | 薬剤師資格を持つ大学院生に対して就職の相談に応じ、就職先を紹介したが、内定にはおよばなかった。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |    |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|----|
| 名 前                                   |                     | 國吉 幸男  | 所 属 | 医学研究科(胸部心臓血管外科学講座)  | 職 名   | 教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.10                | 1)学部学生への講義(M3,4);循環器外科に関する講義。大学院生への講義;人工弁、人工心肺等の人工臓器に関する講義等。<br>2)臨床実習(M5,6)学生へのベッドサイドの教育(術前・術後管理、手術の実際、提出レポートに基づく口頭試問の実施・評価)。 |     | 0.05  | 1)、2)共に実施した。  |    |
| 研究                                    | 0.10                | 1)科学研究費による、MEP(運動誘発電位)に関する研究・実験的研究<br>2)脊髄循環に関する研究および指導<br>3)学会の理事・評議員として運営への参加<br>4)国内外学術雑誌への投稿論文の査読への参加                      |     | 0.20  | 1)科研費実験は回数は少ないが実施した。<br>2)脊髄循環に関する実験研究の指導を行い、論文として完成させ学位を取得させた。<br>3)、4)学会活動(運営、査読)に参加した。 |    |
| 社会貢献                                  | 0.20                | 1)循環器外科疾患に対する広報<br>2)沖縄県医師会への琉球大学医師会代表および理事として参画<br>3)循環器関連研究会の運営(沖縄ハート、沖縄心不全研究会、沖縄血管外科カンファランス)<br>4)離島、医療僻地地域への出張学術講演会        |     | 0.10  | 1)附属病院の主催する、沖縄県公開講座(心臓血管関連)に参加した。<br>2)参画した。3)運営を行った。<br>4)                               |    |
| 管理運営                                  | 0.40                | 附属病院長としての管理運営。<br>第二外科科長、胸部心臓血管外科大学院講座長としての管理運営  |     | 0.50  | 実施した。   |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 指導学生に対する、Early exposureとしての、医師国家試験(循環器領域)トライアル、他指導   |     | 0.05  | 実施した。   |    |
| 診療                                    | 0.10                | 附属病院第二外科、外来・入院患者に対する循環器診療;本土へ渡航する必要がない診療体系の構築<br>1)重症心不全患者に対する外科治療および治療成績の向上<br>2)患者に優しいより低侵襲な新しい治療法の導入および従来治療法の低侵襲化への改善       |     | 0.10  | 診療として実施した。植え込み型補助人工心臓3例施行。他、ステントグラフト、MICS手技等。   |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。                          |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 山城 聡   | 所 属 |   | 胸部心臓血管外科学  |
| 職 名                                   |                     |  |     | 准教授   |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.15                | 医学部3年次及び4年次の臨床講義(系統講義)に加え、5、6年次の臨床実習教育を行い、心臓外科疾患の診断及び治療の基本を理解してもらう。年度末には試験担当し、評価を行う。初期臨床研修医・後期臨床研修医に対する臨床教育を行う。特に後期臨床研修医に対する教育は、一般外科のみならず胸部外科(呼吸器外科・心臓外科)の教育を行う。また、研修医の1回以上の学会発表或いは症例報告を目標とする。 |     | 0.15  | 医学部学生臨床講義及び臨床実習において心臓外科疾患の基本を理解させられた。年度末試験においてはその理解度を確認し得た。研修医に対する臨床教育において心臓外科手術手技及び術後管理について教育することができた。また、研修医に県医師会での症例報告を行わせることができた。 |
| 研究                                    | 0.20                | 基礎研究(心筋虚血・再灌流障害)の継続。臨床研究として開心術中の心筋虚血・再灌流障害についての解明に新たに取り組む。研究成果について論文発表・学会発表を行う。また、筆頭著者論文を執筆する。   |     | 0.20  | 十分な実験研究時間を得ることができず、新たな取り組みは進行し得なかった。しかし、臨床研究としての術中心筋虚血についての構想をすすめている。  |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 臨床経験・治療成果(手術成績等)を学会発表、論文発表し、その情報を公開する。また、近隣病院での手術要請時に迅速に対応することで地域に貢献する。  |     | 0.10  | 大動脈疾患の手術成績の発表。当科で経験した希な疾患について学会や論文発表が行えた。近隣施設で緊急手術要請に対しては迅速に対応できた。又、低浸襲手術の一般市民に対する説明会を行えた。   |
| 管理運営                                  | 0.15                | 諸委員会への出席及び病院管理にての決定事項に対する当該医局での徹底の管理。病棟及びICU入退院の円滑管理。  |     | 0.15  | 諸委員会への出席及び病院管理にての決定事項に対する当該医局での徹底の管理及び病棟及びICU入退院の円滑管理ができた。   |
| 進路指導                                  | 0.05                | 医学部6年次の指導教官として進路指導を行う。   |     | 0.05  | 臨床指導をとおして、学生へ対応することができた。研修医への対応、指導ができた。懇談会等をとおして、学生へ対応することができた。  |
| 診療                                    | 0.35                | 心臓血管外科疾患の診断ならびに手術治療を行う。月・水・木の定期開心術に加え緊急手術の迅速な対応を行う。周術期管理、退院後の定期外来管理を担う。  |     | 0.35  | 手術治療並びに診断を充実できた。特に緊急手術は迅速な対応で良好な結果を得られた。又、低浸襲手術への取り組みが行えた。   |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 名 前                                   |                     | 喜瀬勇也  | 所 属 | 胸部心臓血管外科  | 職 名   | 助教 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.10                | 医学部臨床実習学生の指導を行う。主にベッドサイドを中心に、周術期の患者管理、手術中の注意点を指導する。レポートの作成、プレゼンの指導を行う。学生の国家試験対策として、循環器専門領域の知識の拡充も図る。  |     | 0.10  | 臨床実習学生に対し、心大血管症例の受け持ちを1例ずつあたえ、その疾患の理解を深められるよう、不明点の説明指導、レポート指導をおこなった。また国家試験対策として循環器領域で頻度の高い疾患に対し、臨症上の問題点等の理解が得られるよう試験問題と関連づけて講義を行った。 |    |
| 研究                                    | 0.20                | 昨年に引き続き、臨症状問題となっている、大血管手術の際の脊髄虚血に対し、犬モデルによる脊髄血流保護に関する研究をすすめる。現在、実験論文を投稿中である。                          |     | 0.20  | 犬モデルを用いた脊髄血流保持に関する研究論文がJTCVSへacceptされた。   |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 臨床業務を通して、適切な手術および患者管理を継続する。また専門性の高い心臓血管外科領域の疾病、その治療手段に関して一般の方の理解が深められるよう医療講話等を行う。                     |     | 0.10  | 八重山、北部地域を含めた県内の重症症例、緊急症例の受け入れを積極的に行った。  |    |
| 管理運営                                  | 0.10                | 医療事故を防ぐため各種委員会(医療機器安全管理委員会、輸血療法委員会等)で取り上げられた問題点を医局員へ伝え、円滑で安全な運営が出来るよう取り組む。                            |     | 0.10  | 医療機器安全管理委員会、輸血療法委員会等での活動で、院内の問題点の解決へ積極的に取り組み、また医局員への啓蒙を行った。   |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 臨床実習で接する機会の多い学生を中心に、胸部心臓血管外科の特徴、魅力を伝え、地域に貢献できる医者が育つよう早い時期より指導を行う。                                     |     | 0.10  | 臨床実習を行っている学生に対し、主に臓血管外科領域での地域医療への貢献の在り方を指導した。   |    |
| 診療                                    | 0.40                | 外来、検査、入院患者の担当(主治医)を主とし、手術患者の周術期管理全般を担う。特に緊急、高齢者、合併症を持つ患者など他院での受け入れ、治療が困難な心臓外科領域の診療を積極的に行う。            |     | 0.40  | 専門性が高く、病態が複雑な心臓血管外科領域の症例に対し、術前、手術、術後適切な管理を行った。  |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 前田達也  | 所 属 |   | 胸部心臓血管外科学講座第2外科  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.20                | 大動脈瘤疾患に対するアプローチ方法(診断、治療、フォローアップ)について医学部学生および臨床研修医に十分に周知できるように、外来見学、ベッドサイドレクチャー、手術見学などを積極的に行っていく。      |     | 0.20  | 医学部学生(臨床実習生)に対して、受け持ち患者を1例ずつあたえ、その疾患についての理解を深めるとともに、その周術期管理およびフォロー方法について学習してもらった。また、文献検索方法や疾患についてのレポート指導を行った。                    |
| 研究                                    | 0.20                | 胸部・腹部大動脈瘤に対するステントグラフト内挿術に関して、学会での報告発表を行う。<br>また、筆頭著者論文を執筆する。  |     | 0.10  | 胸部・胸腹部大動脈瘤に対するステントグラフト治療において、ハイブリッドORの有益性を検討し、学会発表を行った。  |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 沖縄県内において、大動脈瘤疾患に対するステントグラフト治療の周知および普及に努める。また、経カテーテル大動脈弁植え込み術(TAVI)の導入による新たな治療の普及に努める。                 |     | 0.20  | 地域への講演などを通して大動脈瘤疾患に対する、ステントグラフト治療の周知に努めた。また、関連病院におけるステントグラフト治療にも協力できる体制を作っている。TAVIに関してもハートチームを作成し、院内の検討会および、施設見学を行い、導入に向けて進めている。 |
| 管理運営                                  | 0.10                | 経カテーテル大動脈弁植え込み術(TAVI)の導入のためのハイブリッド手術室の導入に携わる。   |     | 0.20  | ハイブリッド手術室の導入および、その有効利用について検討および周知に携わった。  |
| 進路指導                                  | 0.20                | 臨床研修医や医学部学生に対して、胸部心臓血管外科の特徴を伝え、地域に貢献できるような医師の育成に努める。  |     | 0.10  | 専門性の高い分野であるが、興味のある学生に対して、進路相談にのり、勧誘を行った。   |
| 診療                                    | 0.20                | 大動脈瘤疾患に対する診断ならびに手術治療を行う。定期手術に加えて、緊急手術にも対応できるような態勢を整える。<br>また、退院後の定期外来管理を行う。                           |     | 0.20  | 臨床を通じて緊急でも対応できる診断、治療、フォローアップに努めた。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 垣花 学  | 所 属 |  | 大学院医学研究科・麻酔科学講座   | 職 名   |  | 教授 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|--|---|---|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |  |    |
| 教育                                    | 0.20                | 医学部での系統講義ならびにM5、M6への病院臨床実習における指導を行う。さらにTBLなどDiscussionを中心とした講義に積極的に参加する。初期研修医に対しては、初期臨床研修必須項目を実施できるように指導する。   |     |  | 0.20  | 医学部学生への系統講義とM5、M6への病院実習指導を行った。また、M4へのTBLや総合講義も担当した。初期研修医ならびに専門研修医にも臨床教育をおこなった。                            |  |    |
| 研究                                    | 0.20                | 基盤研究(B)ならびに挑戦的萌芽研究の採択に伴い、これらの課題研究を推し進める。概算要求で獲得した「ガスバイオロジー研究」を推進する。研究結果を公開するために、学会発表および筆頭著者論文を執筆する。   |     |  | 0.15  | 採択された研究に従事し、概ね計画通りに進めることができ、現在執筆中である。研究成果は、学会発表(九州麻酔学会、日本麻酔科学会総会、第3回国際硫化水素学会)で発表も行った。                     |  |    |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 北部地区病院ならびに宮古・八重山地区の巡回診療を行い、地域の医療に貢献する。また、研究活動を学会および論文として公表し、その成果を臨床に応用できる体制を整える。  |     |  | 0.05  | 沖縄県の地域医療貢献目的で、宮古病院、八重山病院に麻酔科医師を派遣し、地域医療を下支えした。医局員に、論文発表を促しその結果いくつかの臨床報告ができた。                              |  |    |
| 管理運営                                  | 0.40                | 集中治療部部長として集中治療の運営、診療に従事し、安全かつ効率的な運営を行う。さらに病院再整備準備室長として、病院再整備計画を推進する。  |     |  | 0.40  | 病院再整備室長として、再整備計画書の最終版を完成させた。麻酔科長として、安全かつ効率的に手術数を増加させた。集中治療部部長としてその運営、診療に従事した。さらに管理加算Iを取得すべく、その体制強化をおこなった。 |  |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 担当教官として班員の進路指導ならびに初期研修医への後期研修説明などに関わる。  |     |  | 0.10  |   |  |    |
| 診療                                    | 0.05                | 麻酔管理症例を安全かつ効率的に行い、手術症例の増加に努める。  |     |  | 0.10  | 麻酔管理症例を安全かつ効率的に行い、麻酔科管理下の手術症例を100件増加させた。集中治療部における集中治療を安全効率的に行った。麻酔科外来において、術前診察患者の診療にあたった。                 |  |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     |  | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>                           |  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 中村 清哉   | 所 属 | 麻酔科   | 職 名   | 講師 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.10                | 医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来、緩和ケアの実習監督を行い、指導する。   |     | 0.10  | 医学部学生の講義に際して、学生が積極的に参加できるように講義の工夫を行う。また、研修医、ローテーターに対し、実際の麻酔管理、ペインクリニック外来、緩和ケアの実習監督を行い、指導した。               |    |
| 研究                                    | 0.10                | ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行う。症例報告、原著論文を作成する。  |     | 0.10  | ペインクリニック、緩和ケア関連の臨床研究、症例検討を行い、学会等で発表を行った。症例報告、原著論文を作成した。   |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。  |     | 0.10  | 地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。                                       |    |
| 管理運営                                  | 0.10                | スタッフとして医局運営に協力する。   |     | 0.10  | スタッフとして医局運営に協力した。   |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 教官として学生の進路指導に関わる。   |     | 0.10  | 教官として学生の進路指導に関った。   |    |
| 診療                                    | 0.50                | 附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて疼痛患者の治療を行い、院内緩和ケアチームの活動運営も行う。  |     | 0.50  | 附属病院手術室に置いて、麻酔業務に専従し、手術数増加の為に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。ペインクリニック外来にて疼痛患者の治療を行い、院内緩和ケアチームの活動運営も行った。 |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>                           |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 照屋 孝二   | 所 属 |   | 大学院医学研究科   | 職 名 |  | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|-----|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |  |    |
| 教育                                    | 0.15                | M5, M6学生に集中治療室において実際の集中治療管理を見学させ、集中治療の基本を理解してもらう。年度末には試験を分担作成し、評価を行う。また、後期研修医に対する教育も行う。後期研修医と供に症例の集中治療を担当し、集中治療領域での理論、手技を理解させる。抄読会、症例検討会、勉強会の指導をする。学会発表、論文作成の指導をする。 |     | 0.15  | M5, M6学生に集中治療室において実際の集中治療管理を見学させ、集中治療の基本を理解してもらうよう講義も行った。年度末には試験を分担作成し、評価を行った。また、後期研修医に対する教育も行った。後期研修医と供に症例の集中治療を担当し、集中治療領域での理論、手技を理解させるよう、実技指導、講義を行った。抄読会、症例検討会、勉強会の指導をした。学会発表、論文作成の指導を行った。 |     |  |    |
| 研究                                    | 0.20                | 麻酔・集中治療に関する臨床研究に加えて、集中治療医学に関する症例報告、臨床研究を行い、学会発表、論文作成を行う。  |     | 0.20  | 麻酔・集中治療に関する臨床研究に加えて、集中治療医学に関する症例報告、臨床研究を行い、学会発表を行った。   |     |  |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行う。  |     | 0.10  | 地域の関連施設に週一回出向し、関連施設の医師及び看護師に対し、技術指導及び教育を行い、地域住民への医療支援及び医療技術の還元を行った。  |     |  |    |
| 管理運営                                  | 0.15                | 集中治療室において重症患者の診療を行ない、看護師・他科医師とともに円滑な病棟運営に貢献する。  |     | 0.15  | 集中治療室において重症患者の診療を行ない、看護師・他科医師とともに円滑な病棟運営に貢献した。   |     |  |    |
| 進路指導                                  | 0.05                | 学生、研修医の進路相談に関わり、麻酔・集中治療領域の情報提供を行う。  |     | 0.05  | 学生、研修医に麻酔・集中治療領域の情報を提供し、進路相談に関わった。   |     |  |    |
| 診療                                    | 0.35                | 附属病院集中治療室に置いて、業務に専従し、重症患者の治療に貢献する。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供する。   |     | 0.35  | 附属病院集中治療室に置いて、業務に専従し、重症患者の治療に貢献した。また、手術を受ける患者に対し、安全で高度な医療を提供した。  |     |  |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。   |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |     |  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 金谷 文則   | 所 属 |   | 医学研究科医科学専攻整形外科学講座   |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 教授  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.25                | 臨床講義「case presentation」では学生に主体性を持たせ発表させている。ポリクリ学生に対しては小グループ指導・実習を行っている。、後期研修医に対するマイクロサージャリーの教育・指導、県内・外病院における手術指導、教育的診察・回診   |     | 0.25  | 系統講義の他、臨床講義「case presentation」を5コマ行い学生に主体性を持たせ発表させ、アンケート結果も良好であった。ポリクリ学生に対しては小グループ指導・実習を行っている。、後期研修医に対するマイクロサージャリーの教育・指導、県内・外病院における手術指導、教育的診察・回診を行った。 |
| 研究                                    | 0.25                | 今日の臨床サポートの改訂、新潟手の外科セミナーの改訂、「先天性橈尺骨癒合症の分類」の執筆、大学院生の指導  |     | 0.25  | 左項に加えて教科書「標準整形外科」の改訂中   |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 「熱中症の予防と対応」「ロコモの対策」についての市民公開講座を予定している   |     | 0.10  | 熱中症の予防と対応」「ロコモと手足のしびれ」についての市民公開講座を行った。国試問題作成を担当した。  |
| 管理運営                                  | 0.15                | 拠点病院における研修体制の確立、県内における離島および北部地区医療の充実のための人員配置と研修体制の確立  |     | 0.15  | 拠点病院における研修体制の確立、県内における離島および北部地区医療の充実のための人員配置と研修体制の確立を行った。   |
| 進路指導                                  | 0.05                | 県内・県外施設および病院の紹介   |     | 0.05  | 県内・県外施設および病院の紹介を行った   |
| 診療                                    | 0.20                | 地域医療の充実を図る(教育的診察・回診を除く)   |     | 0.20  | 地域医療の充実を図る(教育的診察・回診を除く)   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |                               |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|-------------------------------|
| 名 前                                   |                     | 堀切 健士   | 所 属 |   | 医学部整形外科                       |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教                            |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果              |
| 教育                                    | 0.20                | 医学部ポリクリ実習生に対する整形外科領域(特に手外科領域)の講義、実技指導。  |     | 0.20  | 十分行うことができた。                   |
| 研究                                    | 0.10                | 前・後骨間神経麻痺に関する多施設共同研究への参加。その他学会での臨床研究発表。   |     | 0.10  | 数回の学会発表をこなすことができた。            |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 市民公開講座への参加。   |     | 0.10  | 新聞紙面での座談会に参加した。               |
| 管理運営                                  | 0.05                | 医療福祉センター運営への参加。   |     | 0.05  | 定期的に参加した。                     |
| 進路指導                                  | 0.05                | 医学部卒業予定者の進路相談。  |     | 0.05  | 4~5回の説明会を開催できた。               |
| 臨床                                    | 0.50                | 整形外科外来および病棟、手術業務  |     | 0.50  | 特にトラブルなく診療に従事できた。             |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |                               |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 普天間 朝上  | 所 属 |   | 大学院医学研究科整形外科学講座                                      |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果                                     |
| 教育                                    | 0.25                | 医学生に対する手の外科領域の講義、研修医および医員に対する学会発表・投稿論文執筆指導  |     | 0.20  | 医学生に対する手の外科領域の講義を行った。研修医および医員に対する学会発表・投稿論文執筆の指導を行った。 |
| 研究                                    | 0.20                | 骨間神経麻痺、末梢神経再生   |     | 0.20  | 末梢神経再生に関する論文を作成中である。国内外で研究発表を行った。                    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | スポーツ大会への帯同・医師派遣、口演  |     | 0.20  | ツールド沖縄への医師派遣を行った。スポーツ口演、学会で教育口演を行った。                 |
| 管理運営                                  | 0.10                | DPC委員会、診療報酬委員会  |     | 0.10  | DPC委員会、診療報酬委員会                                       |
| 進路指導                                  | 0.10                | 医学部卒業予定者、初期研修医に対する定期的な進路説明会の実施  |     | 0.05  | 医学部卒業予定者、初期研修医に対する進路説明会                              |
| 医療                                    | 0.25                | 整形外科外来および病棟(手術)業務   |     | 0.25  | 整形外科外来および病棟(手術)業務                                    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。                        |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|--|
| 名 前                                   |                     | 山内 貴敬   | 所 属 |   | 整形外科  |  |
| 職 名                                   |                     |   |     | 助教  |   |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |  |
| 教育                                    | 0.15                | 研修医の指導。学生臨床実習の指導。系統講義など   |     | 0.15  | 研修医の指導。学生臨床実習の指導。系統講義など   |  |
| 研究                                    | 0.25                | 当院における股関節治療の臨床評価  |     | 0.25  | 当院における股関節、骨粗鬆症治療の臨床評価   |  |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 市民公開講座の参加   |     | 0.05  | 市民公開講座の参加   |  |
| 管理運営                                  | 0.30                | 医局および病棟の業務の円滑化、リスクマネジメント  |     | 0.30  | 医局および病棟の業務の円滑化、リスクマネジメント  |  |
| 進路指導                                  | 0.10                | 学生および初期研修医の進路指導   |     | 0.10  | 学生および初期研修医の進路指導   |  |
| 診療                                    | 0.15                | 股関節・骨粗鬆症専門外来、最小侵襲手術   |     | 0.15  | 股関節・骨粗鬆症専門外来、最小侵襲手術   |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul> |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |  |

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 斎藤誠一   | 所 属 |   | 泌尿器科  |
|                                       |                     |  | 職 名 |   | 教授  |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.20                | 学生講義では構造化された、分かりやすい、できるだけ手作り(画像やミクロの写真等は自験例、メカニズムは総合的な観点から分かりやすく)の講義を行う。大学院生の研究指導は、発展が期待される目的設定を行い、研究にストーリー性や整合性が有るかを検証しつつ、実験結果に基づいた新たな展開について指導を行う。                    |     | 0.20  | 学生講義については、わかりやすい講義ができたと考えている。大学院生の指導に関しても、新たな発見がいくつか出てきており、目標設定がうまくなされた結果と思われた。   |
| 研究                                    | 0.20                | 臨床と基礎が融合した、臨床に役立つ、世界で初めての研究を展開する。英語論文を最低2件指導し、投稿する。医局員が競争的科学研究費を取得できるよう指導を行い、1件以上の科学研究費取得を目指す。沖縄泌尿器科EBM研究会での研究を促進し、論文指導も行う。  |     | 0.20  | 世界で初めての研究を目指し、成果は得られつつあるが、H26年度内の論文発表には至らなかった。大学院生が臨床業務で多大な時間をとられているため、やむを得ない面もある。須田助教がH26年に研究課題「糖鎖抗原RM2に基づく糖蛋白を指標とした新規前立腺癌診断マーカーの探索」で若手研究Bを獲得した。                 |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 市民公開講座を年度内に最低1回は開催する。  |     | 0.00  | 琉球大学医学部付属病院で企画している市民公開講座を行う予定であったが、順番が先送りとなり、H26年度は実現しなかった。   |
| 管理運営                                  | 0.30                | 病院長補佐として、病院の運営に関与するとともに、病院の問題解決のため積極的な提言を行う。OCSCのセンター長として、これまで以上にOCSCの発展並びに県内の医療従事者の技量向上に寄与する。患者サービス委員会の委員長として、これまでのアイデアの集積に基づいて問題解決を図る。材料部長として病院のインフラである医療材料部の改善に努める。 |     | 0.35  | OCSCの財政問題が突如明らかとなり、寄付金集めに助力した。財政に頼らずできる主体的活動として医療安全のシミュレーションを提案し、受け入れられた。患者サービス委員会では、最大の問題が、会計の待ち時間であることが明らかになり、関係者に改善を要求している。材料部長として、近年の滅菌要求水準を示し、関係者に改善要求をしている。 |
| 進路指導                                  | 0.05                | 学生の担当教官として、2回の会合で話し合い、進路に関して助言する。  |     | 0.05  | 担当教官としての役割を全うしたと考えている。  |
| 診療                                    | 0.20                | 臨床カンファレンス、他科との合同カンファレンスを通して、患者の適切な方向性を決定する。iPadを用いて医局員が疾患の最新情報を共有できるようにする。難易度の高い手術の指導や、若手に腹腔鏡手術の指導を行う。平成26年3月に腹腔鏡下前立腺全摘術の施設認定を受けたため、担当医とともに安全かつ安定した手術を実施する。            |     | 0.20  | ほぼ目標は達成した。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |  |     |  |                                      |   |                                      |  |     |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|--|-----|--|--------------------------------------|---|--------------------------------------|--|-----|--|
| 名 前                                   |                     | 大城 吉則  |  | 所 属 |  | 医学研究科 腎泌尿器科学講座                       |   | 職 名                                  |  | 准教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)                  | 平成26年度 年度末自己点検結果                            |                                      |  |     |  |
| 教育                                    | 0.20                | 医学部学生に対する腎移植関連の臨床講義、TBLBを行う。臨床実習医学生に対して、患者さんへの接し方、診察・処置の方法を指導し、泌尿器科画像や手術の解説を行う。さらに、腎移植領域における最新治療法に関するレクチュアを行う。講義は、構造化したわかりやすい解説を心がける。若手医師の学会発表指導を行う。 |  |     |  | 0.20                                 | 左記の教育目標はほぼ達成できた。                            |                                      |  |     |  |
| 研究                                    | 0.30                | 腎移植あるいは泌尿器科疾患に関する英語論文の作成。海外での学会発表を少なくとも1件行う。競争的科学研究費を少なくとも1件取得する。他施設共同研究に関与する。   |  |     |  | 0.30                                 | 左記の学会で筆頭および共同者として臨床研究の成果を発表した。科研費は獲得できなかった。 |                                      |  |     |  |
| 社会貢献                                  | 0.03                | (財)沖縄県保健福祉事業団「臓器推進委員会」における献腎移植普及のための委員会活動  |  |     |  | 0.03                                 | 予定された臓器推進委員活動は遂行できた。                        |                                      |  |     |  |
| 管理運営                                  | 0.05                | 手術部運営会議委員、病院材料委員会委員、病理部運営委員会委員等  |  |     |  | 0.05                                 | 予定された委員活動は遂行できた。                            |                                      |  |     |  |
| 進路指導                                  | 0.02                | 医学科3年生の指導教官として、学習および生活面の諸々のアドバイスをこなう。  |  |     |  | 0.02                                 | 左記の目標は概ね達成できた。                              |                                      |  |     |  |
| 診療                                    | 0.40                | 低侵襲性を求めた腹腔鏡手術の開発〔腹腔鏡下腎部分切除(15例)、単孔式手術(10例)、鏡視下膀胱全摘(3例)〕、そして腎移植症例を12例程度まで増やす。   |  |     |  | 0.60                                 | 腹腔鏡下手術は増加したが、腎移植は増やすことが出来なかった。              |                                      |  |     |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |  |     |  | 1.20                                 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。               |                                      |  |     |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 |   | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 大城 琢磨   | 所 属 |   | 琉球大学 医学部 泌尿器科学  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教  |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.20                | 泌尿器科的疾患に関する臨床講義および臨床実習指導<br>研修医実技指導   |     | 0.20  | 予定通り行えている   |
| 研究                                    | 0.30                | 基礎研究(排尿障害研究、動物実験)または 臨床研究(排尿障害研究)に関する海外での学会発表を最低1件、英語論文を最低1編作成、競争的科研費を獲得する。また、早期前立腺がんに対するPSA監視療法における国際共同比較研究への参加、データの蓄積を行う。   |     | 0.30  | 基礎研究継続中。平成26年5月にアメリカ泌尿器科学会発表、Life Sciencesに英語論文発表。国際共同比較研究継続中 |
| 社会貢献                                  | 0.00                | 特になし  |     | 0.00  | 特になし  |
| 管理運営                                  | 0.10                | 病院内各種委員会の活動(レジメン登録審査管理委員会、DPC委員会、保険診療委員会、外来化学療法室連絡会議、血液浄化療法部運営協議会)  |     | 0.10  | 病院内委員会活動 予定通り活動中  |
| 進路指導                                  | 0.00                | 特になし  |     | 0.00  | 特になし  |
| 臨床業務                                  | 0.40                | 臨床医 実務 (外来診療、病棟入院処置、手術)   |     | 0.40  | 臨床実務予定通り行っている(外来診療、病棟入院管理、手術) 泌尿器科<br>癌、排尿障害、骨盤臓器脱            |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。                                 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 新崎 章   | 所 属 |  | 琉球大学大学院医学研究科顎顔面口腔機能再建学講座  | 職 名  |  | 教授 |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|--|---|--|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |  |    |
| 教育                                    | 0.20                | 最新のデータや情報を用いた学部講義を行う。②ポリクリ学生へクリカークラークラップを重視した臨床実習を行う。③歯科医師臨床研修医に対してメンタルヘルスケアを行い、良質な研修を提供する。                            |     |  | 0.15  | 最新のデータや情報を用いた学部講義を行った。②ポリクリ学生へクリカークラークラップを重視した臨床実習を行った。③歯科医師臨床研修医に対してメンタルヘルスケアを行い、良質な研修を提供した。                                |  |    |
| 研究                                    | 0.30                | ①学会発表:関係10学会の発表に対する指導と自身で基調講演の発表を行う。②論文投稿:Corresponding authorとしてImpact Factorのある雑誌に論文投稿をする。                           |     |  | 0.30  | ①学会発表:関係10学会の発表に対する指導と自身で基調講演の発表を大なった。②論文投稿:Corresponding authorとしてImpact Factorのある雑誌に論文投稿した。                                |  |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | ①沖縄県口唇口蓋裂を考える会(患者家族の会)を設立する。②口唇口蓋裂患者のための市民公開講座と無料相談会を開催する。③ラオスの口唇口蓋裂患者に対する無償手術を行う国際貢献を行う。                              |     |  | 0.10  | ①沖縄県口唇口蓋裂を考える会(患者家族の会)を設立した。②口唇口蓋裂患者のための市民公開講座と無料相談会を開催した。③ラオスの口唇口蓋裂患者に対する無償手術を行う国際貢献を行った。                                   |  |    |
| 管理運営                                  | 0.10                | ①国際交流委員として本学の国際交流に貢献する。②JICAプロジェクトのプロジェクトリーダーとしてプロジェクトを運営する。③厚生委員会、入試委員会、医療安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、手術部運営委員会等の運営に積極的に協力する。 |     |  | 0.15  | ①国際交流委員として本学の国際交流に貢献した。②JICAプロジェクトのプロジェクトリーダーとしてプロジェクトを運営した。③厚生委員会、入試委員会、医療安全管理委員会、リスクマネジメント委員会、手術部運営委員会等の運営に積極的に協力した。       |  |    |
| 進路指導                                  | 0.05                | ①担当指導学生(M3)と定期的にコミュニケーションをとり、学習意欲の向上とメンタルヘルスケアを図り、進路指導を行う。臨床研修医に対して研修終了後の大学院進学を指導する。                                   |     |  | 0.05  | ①担当指導学生(M3)と定期的にコミュニケーションをとり、学習意欲の向上とメンタルヘルスケアを図り、進路指導を行った。臨床研修医に対して研修終了後の大学院進学を指導したが、進学には至らなかった。                            |  |    |
| 診療                                    | 0.25                | ①EBMに基づいた良質の先端医療を提供する。②口腔癌患者に対して標準治療に基づいた個別化治療を行う。③口腔ケアセンターを活性化し、がん患者の医科歯科連携の確立によるQOLの向上を図る。④口唇口蓋裂センターの充実を図る。          |     |  | 0.25  | ①EBMに基づいた良質の先端医療を提供した。②口腔癌患者に対して標準治療に基づいた個別化治療を行った。③口腔ケアセンターを活性化し、がん患者の医科歯科連携の確立によるQOLの向上を図る準備をした。④口唇口蓋裂センターの充実をはかり、患者が増加した。 |  |    |
| 計                                     | 1.00                |  |     |  | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   | 西原 一秀               |  | 所 属 | 顎顔面口腔機能再建学講座  |   |
| 職 名                                   | 准教授                 |  |     |   |   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>顎顔面口腔機能再建学講座医員の専門医・認定医取得に対する指導</li> <li>歯科医師臨床研修医に対する技術指導</li> <li>医学部学生の歯科・口腔外科の教育</li> </ul>                            |     | 0.25  | (概ね達成できている)<br>認定医、専門医取得のための手術、論文発表、論文作成の指導は行っているが、取得には至らなかった。<br>臨床研修医教育は、口腔外科外来および病棟で日々行い、技術は向上し、充実している。<br>医学部学生の講義ならびに外来での指導を行った。                       |
| 研究                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>国際学会誌への投稿および各専門学会の発表</li> <li>口唇口蓋裂患者の臨床研究の開始と公表</li> <li>来年度の科研費獲得</li> </ul>  |     | 0.25  | (概ね達成できている)<br>国際雑誌投稿を行ったが受理には至らなかった。発表は国際学会1演題、国内学会3演題行った。<br>口唇口蓋裂グループの研究開始を指導し、本年口蓋裂学会では4演題発表予定である。<br>科研費は2課題応募中で、本年最終課題の報告書をまとめている。                    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>口唇口蓋裂患者の国際医療援助活動へ参加(ラオス・エチオピア)</li> <li>沖縄県口唇口蓋裂患者親の会の結成</li> </ul>   |     | 0.10  | (達成できている)<br>2014年12月のラオス国で8日間、2015年2月にエチオピア国で10日間の口唇口蓋裂医療援助活動を行った。<br>2014年8月に口唇口蓋裂親の会設立講演を行い、活動を開始し、3月に第2回を予定している。  |
| 管理運営                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>病院内各委員会の参加</li> </ul>   |     | 0.10  | (達成できている)<br>救急部および歯科医師臨床研修に関する委員会への参加と共に感染対策ICTへの活動を積極的に行った。   |
| 進路指導                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>歯科医師臨床研修終了後の進路指導</li> </ul>   |     | 0.05  | (概ね達成できている)   |
| 診療                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療事故0件</li> <li>歯科口腔外科外来患者数の増加および診療報酬増加</li> <li>口唇口蓋裂センターの患者増と診療体制の充実</li> </ul>   |     | 0.25  | (達成できている)<br>昨年は外来での医療事故件数は0件であった。<br>本年度は収入増加対策として口腔ケア推進とインプラント治療を計画し、対象患者も増加している。<br>口唇口蓋裂患者増のためのパンフレット作製や往診制度を開始し、昨年度と比較して口唇口蓋裂患者の外来患者数も増加し、手術件数も増加している。 |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |                               |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|-------------------------------|
| 名 前                                   |                     | 喜名 振一郎  | 所 属 |   | 顎顔面口腔機能再建学講座                  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教                            |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果              |
| 教育                                    | 0.10                | 大学院生が共著となれるような指導実績をつくる  |     | 0.10  | 共著論文の投稿中である                   |
| 研究                                    | 0.60                | 筆頭筆者の論文を受理される   |     | 0.60  | 筆頭論文の投稿中である                   |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 市民公開講座に積極的に参加する   |     | 0.10  | 市民公開講座に積極的に参加した               |
| 管理運営                                  | 0.10                | 学内委員会への積極的な出席   |     | 0.10  | 学内委員会に出席の機会がなかった              |
| 進路指導                                  | 0.10                | 大学院受験生を増やす  |     | 0.10  | 大学院受験生の確保にいたっていない             |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |                               |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |             |   |   |  |  |
|---------------------------------------|-------------|---|---|--|--|
| 名 前                                   | 久木田 一期      |   | 所 属   | 大学院医学研究科救急医学講座   |  |
| 職 名                                   | 教授          |   |   |  |  |
| 領域                                    | 業務ウエイト比(予定) | 平成26年度 年度目標設定   | 業務ウエイト比(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |  |
| 教育                                    | 0.30        | 救急医療系講義、倫理討論、医療学総論、保健学科講義等で救急災害医療・医療倫理について教育する。臨床実習でER(北米救急外来)方式の救急現場において経験させ問題発見・解決能力、プレゼンテーション力を養う。大学院教育において救急・災害演習を行う。学外救急医を非常勤講師として呼び、幅広い救急医療の実情を学ばせる。医学部生(2年次以後)、研修医への救急車同乗実習を管理する。救急車初期臨床研修医への救急診療教育を行う。ERへ出向する各科医師への救急医療教育と専門知識の相互交流の場を作る。 | 0.25  | 救急医療系講義、倫理討論、医療学総論、保健学科講義等で救急災害医療・医療倫理について教育し、アンケートでは比較的良好な結果であった。ER(北米救急外来)方式の救急現場で問題発見・解決能力、プレゼンテーション力を養う救急臨床実習を行った。大学院教育において救急・災害演習を行った。医学部生(2年次以後)への救急車同乗実習、初期臨床研修医への救急診療教育を行い、臨時の受け入れも行った。ERへ出向する各科医師への救急医療教育と専門知識の相互交流はスタッフの中堅医師を介して活発に行っているが、今後カンファランス形式も検討したい。                                 |  |
| 研究                                    | 0.15        | 重症救急患者の集中治療に関する基礎研究および症例報告を含めた臨床研究を進める。院生の呼吸生理の研究、救急看護教育に関する研究を進める。災害医療に関し、日本における災害医療の研究および米国式災害マネジメントの研究をハワイ大と共同研究で進める。  | 0.15  | 重症救急患者の集中治療に関する基礎研究および症例報告を含めた臨床研究を指導した。院生の呼吸生理の研究、救急看護教育に関する研究を指導した。災害医療に関し、米国式災害マネジメントの教育プログラムをハワイ大と共同研究で開発し、東京で国内初のコースを開催した。  |  |
| 社会貢献                                  | 0.20        | 救急部拡充により当院の救急・災害医療の受け入れ能力を高める。アメリカ心臓協会(AHA)による心肺蘇生講習会を実施し、多くの県内医療従事者に研修の機会を与える。病院前の救急医療体制の構築(県MC協議会)を消防機関と共に担う。ハワイ大との共同研究で開発したICSS(災害管理シミュレーション)コースを地域や日本で広め、災害対応能力の教育で貢献する。海上保安庁と協力し沖縄での洋上救急業務に参加するなど航空医療搬送システム構築へ貢献する。                          | 0.20  | 救急災害医療棟が完成し、12月より救急外来を移転した。病棟部門を含めるとこれまでの約3倍の広さに拡張され、救急患者の受け入れ環境はこれまでとは格段に向上した。そのことをマスコミを通じ広く県民に公表した。アメリカ心臓協会(AHA)による心肺蘇生講習会を実施し、多くの県内医療従事者に研修の機会を与えた。病院前の救急医療体制の構築(県MC協議会)を消防機関と共に担い、救命士の処置拡大等に対応した。ハワイ大との共同研究で開発したICSS(災害管理シミュレーション)コースを地域や日本で広め、災害対応能力の教育で貢献した。海上保安庁、北部地区医師会のMESHと協力し沖縄での航空医療へ貢献した。 |  |
| 管理運営                                  | 0.03        | 医療機器安全管理責任者として、附属病院における医療機器に関する医療安全を向上させる。病院再整備委員会、救急部運営協議会、診療委員会、病院運営委員会等に参加し、病院の再整備、救急災害診療体制構築を進める。   | 0.03  | 医療機器安全管理責任者として、附属病院における医療機器に関する医療安全を向上に努めた。病院機能評価受診にあたって、サベーパーの経験者としてケアプロセス等の練習に自ら担当した。病院再整備委員会、救急部運営協議会、診療委員会、病院運営委員会等に参加し、病院の再整備、救急災害診療体制構築を進めている。   |  |
| 進路指導                                  | 0.02        | 医学部医学科1年次学生の指導教官として学生の指導に努める。臨床実習の機会等に救急医学分野の魅力について説明し、将来この分野を専門とする医師や専門としないくとも救急医療に関わる医師の育成に努める。地域枠の学生、救急部にローテーションする初期臨床研修医への指導につとめる。講座に属する大学院生(博士課程)の進路および進学指導を行う。  | 0.02  | 医学部医学科1年次学生の指導教官として学生の指導に努めている。臨床実習の機会等に救急医学分野の魅力について説明し、将来この分野を専門とする医師や専門としないくとも救急医療に関わる医師の育成に努めた。地域枠の学生、救急部にローテーションする初期臨床研修医への指導につとめた。講座に属する大学院生(博士課程)の進路および進学指導を行っている。  |  |
| 診療                                    | 0.30        | 医学部附属病院の救急部部長として救急部拡充に合わせて、救急部専従スタッフの増員、出向医の安定確保、診療体制の維持向上に努め、救急患者受け入れの充実、救急医療体制の向上に努める。病院再整備における高度救命救急センター構想の実現に向けた救急部拡張計画を遂行する。   | 0.35  | 医学部附属病院の救急部部長として救急部拡充に合わせて、救急部専従スタッフを現段階で1名、4月までにさらに2名増員する。出向医の安定確保、診療体制の維持向上に努め、救急患者受け入れの充実、救急医療体制の向上に努めるも出向に関しては難渋している。病院再整備における高度救命救急センター構想の実現に向けた救急部拡張計画を遂行し、4月病棟開設へ向け準備している。  |  |
| 計                                     | 1.00        | ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠を広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。   | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |             |   | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |  |

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 近藤 豊   | 所 属 | 救急医学講座  | 職 名  | 講師 |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成25年度 年度末自己点検結果   |    |
| 教育                                    | 0.20                | 講義や実習を中心として、医学生や研修医への救急教育を実践する。  |     | 0.15  | 医学生に積極的に救急車同乗実習をおこなった。また研修医レクチャーも定期的に実施出来た。  |    |
| 研究                                    | 0.25                | フラジェリンによるBacterial Translocationが起こるかどうかなどを確かめるために、小腸上皮細胞であるIEC6細胞を用いて、細胞間の接着因子の生化学的分析とWound healing Assayを実施している。また臨床研究は外傷データを用いて、治療と外傷の予後との関連をみている。これらの結果を論文化させて、公表する予定。 |     | 0.20  | フラジェリンによる腸上皮細胞であるIEC6細胞の細胞間の接着因子の生化学変化とWound healing Assayのデータを論文化した。現在投稿中である。外傷の論文も投稿中であり、acceptには至っていない。 |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 災害が発生すればDMAT隊員として出動し、また前年に引き続き、洋上救急の要請に対応していく。   |     | 0.15  | DMATとしての災害への派遣要請はなかったものの、DMAT訓練に参加し災害対策の技術や知識の研鑽に努めた。洋上救急対応を引き続きおこない、病院として海上保安庁長官表彰を受賞した。                  |    |
| 管理運営                                  | 0.10                | 救急部門の増築に伴い、管理、運営について以前よりもさらにactivityをあげて管理していく。  |     | 0.20  | 救急災害医療が完成し、救急体制の改善に取り組み管理運営を実施した。  |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | M4の病院実習のアドバイスからM6学生の進路指導をおこなう。   |     | 0.05  | 医学部の学生に研修先の相談にのったり、自身の研修経験を交えて指導をおこなった。  |    |
| 診療                                    | 0.25                | 救急患者に対して適切な初期治療を行い、重症患者の治療を行う  |     | 0.25  | 救急患者の増加に伴い、診療に対するウェイトも増え、適切に救急患者の治療をおこなった。   |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>        |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>                            |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |                     |  |  |     |    |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|---------------------|--|--|-----|----|--|
| 名 前                                   | 植田 真一郎              |   | 所 属                 | 臨床薬理学  |  | 職 名 | 教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   | 業務<br>ウエイト比<br>(実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果   |  |     |    |  |
| 教育                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>春および夏の臨床研究ワークショップによる臨床研究人材の継続的な養成</li> <li>医学部卒前教育における臨床研究に関する教育の充実</li> <li>臨床研究に関する院内向け研修の実施</li> <li>臨床研究人材育成に関する事業費の獲得</li> </ul>  | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>春および夏の臨床研究ワークショップによる臨床研究人材の継続的な養成を行った。</li> <li>医学部卒前教育における臨床研究に関する教育の充実を行った。TBL方式を導入した。</li> <li>臨床研究に関する院内向け研修を3回開催した。</li> <li>臨床研究人材育成に関する大型事業費(文部科学省課題解決型高度医療人材養成事業)を獲得した。</li> <li>文部科学省課題解決型高度医療人材養成事業「臨床研究マネジメント人材育成事業」を開始した。</li> </ul>                                      |  |     |    |  |
| 研究                                    | 0.35                | <ul style="list-style-type: none"> <li>医師主導型治験に結びつく臨床研究の厚生労働省科研費を取得する。</li> <li>実施中の厚生労働省科研費の研究を進め、コホート研究において6000名の患者を登録する</li> <li>新規抗凝固薬の登録研究に際して製薬会社との契約による研究助成金を獲得する。</li> <li>糖尿病薬に関して製薬会社との契約による研究助成金を獲得する。</li> <li>主任研究者を務めたランダム化比較試験の論文化</li> <li>臨床ゲノム薬理研究の論文化</li> </ul> | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>医師主導型治験に結びつく臨床研究の厚生労働省科研費を取得した。</li> <li>実施中の厚生労働省科研費の研究を進め、コホート研究において6000名の患者を登録し、報告した。</li> <li>新規抗凝固薬の登録研究に際して製薬会社との契約による研究助成金を獲得した。</li> <li>糖尿病薬に関して製薬会社との契約による研究助成金を獲得した。</li> <li>主任研究者を務めたランダム化比較試験が論文化された。</li> <li>臨床ゲノム薬理研究の論文を作成し投稿した。</li> <li>メタ解析を論文化し投稿した。</li> </ul> |  |     |    |  |
| 社会貢献                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品医療機器総合機構外部委員として薬剤の承認や添付文書改訂に貢献</li> <li>高血圧学会ガイドライン作成委員としてガイドライン作成に貢献</li> <li>臨床薬理学会の理事、学術委員長として学術集会のプログラム作成や学会の教育プログラムを実施</li> </ul>  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>医薬品医療機器総合機構外部委員として薬剤の承認や添付文書改訂に貢献した。</li> <li>高血圧学会ガイドライン作成委員としてJSH2014ガイドライン作成に貢献した。</li> <li>臨床薬理学会の理事、学術委員長として学術集会のプログラム作成や学会の教育プログラムを実施</li> <li>日本循環器学会のプログラム委員を拝命し、学会シンポジウムの企画を行った。</li> <li>臨床薬理の専門家として薬剤に関する裁判の鑑定人を務めた。</li> </ul>  |  |     |    |  |
| 管理運営                                  | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤部長代理としての薬剤部管理</li> <li>薬事委員長として新薬採用に関する委員会を運営</li> <li>治験審査委員会委員長として治験審査を管理運営</li> <li>臨床研究支援センターの管理運営</li> <li>臨床研究支援センターにおいて倫理審査委員会へ申請された全研究のプロトコルレビューと指導</li> <li>倫理委員会への迅速審査分の審査。</li> </ul>   | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>薬剤部長代理としての薬剤部管理業務を行った。</li> <li>薬事委員長として新薬採用に関する委員会を運営した。</li> <li>治験審査委員会委員長として治験審査を管理運営した。</li> <li>臨床研究支援センター長として臨床研究の支援を実施した。</li> <li>臨床研究支援センターにおいて倫理審査委員会へ申請された全研究のプロトコルレビューと指導をおこなった。</li> <li>倫理委員会への迅速審査分の審査約60件の審査を実施した。</li> </ul>  |  |     |    |  |
| 進路指導                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>担当の学生の進路についての指導</li> </ul>   | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>担当の学生の進路についての指導を実施した。</li> </ul>  |  |     |    |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>  | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>   |  |     |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |                     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。  |  |     |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |   |   |     |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|---|---|-----|----|
| 名 前                                   |                     | 苅谷 研一   |  | 所 属   | 医学研究科・医化学講座   | 職 名 | 教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |    |
| 教育                                    | 0.35                | 大学院教育(特論、コース共通講義、演習、実習等)、学部教育(生化学系統講義・実習、基礎研究)、および共通教育(医学概論)を担当する。  |  | 0.35  | 大学院講義とともに臨床系院生に患者子宮頸癌を移植したマウスでの癌幹細胞研究を指導した。学部教育は基礎系統合カリキュラム会議やFDIに参加し、講義では昨年度講義修了後に理解困難な点についてのアンケートを実施した結果を参考に改善した。医学概論は倫理的内容を削除し研究内容の紹介に専念した。        |     |    |
| 研究                                    | 0.35                | 大学院博士課程の学生や他の教員とともに研究の進展、学外との研究交流(学会や他施設との共同研究等)、論文の採択につとめ、外部資金の獲得を目指す。   |  | 0.35  | 独自のRap2 KOマウスの解析を科研費(基盤C)で沖縄科学技術大学院大学や他部局を分担者として進め、免疫異常に関する論文を完成、行動異常についてはRap2結合分子TNIKのKOについて統合失調症モデルとしてJSTに研究資金申請した。患者子宮頸癌移植マウスでは他の癌で用いる抗癌剤の著効を確認した。 |     |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 研究活動で得たシーズを民間との共同研究により社会に還元できるよう目指す。また、査読など外部機関からの依頼業務を必要に応じ遂行する。   |  | 0.10  | Rap2 KOマウス等4種類の自家作成新規KOマウス(4種中3種は世界初)について日本製薬工業協会の創薬シーズリストに提供した。また上記JST研究資金は民間への技術移転を最終目的としている。   |     |    |
| 管理運営                                  | 0.10                | 学内、学部内の各種委員会活動を行うとともに、附属図書館の運営について医学部分館長として参画する。  |  | 0.10  | 学内、学部内の各種会議・委員会の構成員の職務を遂行し、図書館分館長として全学的な学術誌・データベース削減調整、分館不良入館者等への対応に努力した。   |     |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 大学院博士課程学生の適性が活かされる進路選択、卒後学生の活動等について必要に応じ援助する。   |  | 0.10  | 卒後留学院生の他国での就労手続きへの協力、学部学生については指導教員として班員の指導用調書を整備した。   |     |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |  | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>   |     |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |     |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

## 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 海川 正人   | 所 属 |  | 医学研究科・医化学講座   | 職 名  |  | 准教授 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|--|---|--|--|-----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |  |     |
| 教育                                    | 0.30                | 大学院教育(講義、実験指導)および学部教育(系統講義、実習、基礎研究、医学英語)、大学院副指導教員、学部生指導教員としての活動に従事する。   |     |  | 0.30  | 講座大学院生の実験指導と他講座大学院生の副指導教員業務、学部学生への講義、実習指導とともに、講座の教務連絡主任としての業務を行った。基礎系統合カリキュラム会議にも参加した。 |  |     |
| 研究                                    | 0.40                | 大学院生や他の教員と協力して研究の進展、情報交換(学会や他大学・研究機関との共同研究等)、論文の採択や外部資金の獲得を目指す。   |     |  | 0.40  | 科学研究費補助金(基盤研究C)に加えて民間外部資金(武田科学振興財団)を獲得して独自の研究を進展させた(論文準備中)。                            |  |     |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 研究で得られた知見、技術を民間企業や研究者との交流を通じて社会に還元できるよう努力する。  |     |  | 0.10  | 子宮頸癌治療法に関する民間企業との共同研究に必要な実験を継続して指導した。  |  |     |
| 管理運営                                  | 0.10                | 講座内業務分担、機器運用の効率化等について総合的役割を担う。また教務連絡主任として学部教育関連の業務を遂行する。  |     |  | 0.10  | 学内導入機器運用法の習得と講座内での指導にあたった。また、入試関連業務も遂行した。  |  |     |
| 進路指導                                  | 0.10                | 大学院生の進路について共に考え、希望が実現のため助言する。また、学部学生指導教員として助言を行う。   |     |  | 0.10  | 大学院生、特に留学後帰国学生の相談にのり、また学部学生の指導教員として班会等での生活指導等を遂行した。                                    |  |     |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     |  | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>        |  |     |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |  |     |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 安里 剛  | 所 属 |   | 医学研究科・医化学講座  |
| 職 名                                   |                     |   |     | 助教  |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.35                | 大学院(講座内院生の指導)、学部学生(生化学講義、実習、各種試験問題作成、レポート評価等)の教育を分担する。  |     | 0.35  | 講座大学院生の実験指導、学部教育では講義に加え特に実習での実験指導と評価において中心的に活動した。  |
| 研究                                    | 0.40                | 大学院生、講座内外の教員と共に研究を進め、他大学との情報交換をも通して研究内容の向上を図り、論文等での研究成果の発表に務める。   |     | 0.40  | 講座で作成した複数の新規ノックアウトマウスについて沖縄科学技術大学院大学客員研究員として共同研究し、新しい行動解析手法を開発するなど、引き続き講座の研究路線転換に伴う過渡期研究を担った。行動解析についてはJSTの研究資金申請に参加した。 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 企業・学外施設との交流を通じて、研究を通して得たシーズや技術を地域に還元できるよう務める。   |     | 0.10  | 上記JSTの研究資金は民間企業への技術移転シーズについての内容である。  |
| 管理運営                                  | 0.10                | 講座内実験環境の適切な整備維持をはかるとともに、節電・節水等に注意喚起する。  |     | 0.10  | 研究室の環境・機器の適切な整備、維持と環境負荷軽減にも務めた。  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 大学院生の卒後進路につき話し合い、希望や適性を把握するよう務める。   |     | 0.05  | 博士課程大学院生と折にふれ話し合った。  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |  |     |  |                                      |  |                                      |  |    |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|--|-----|--|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--|----|--|
| 名 前                                   |                     | 野中 公子   |  | 所 属 |  | 医学研究科・医化学講座                          |  | 職 名                                  |  | 助教 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)                  | 平成26年度 年度末自己点検結果   |                                      |  |    |  |
| 教育                                    | 0.30                | 医学研究科では講座大学院生の実験指導、医学科では生化学実習等の学部生教育を他の教員とともに分担する。  |  |     |  | 0.30                                 | 教室大学院生の実験指導に必要な応じ参加し、学部学生教育では生化学実習の指導に注力した。  |                                      |  |    |  |
| 研究                                    | 0.50                | 大学院、教員、他講座のスタッフと共に研究を推進し、学会、研究会等で情報交換するとともに、論文による成果公表、外部資金の獲得に努める。  |  |     |  | 0.50                                 | 科研費(基盤C延長)により皮膚悪性腫瘍関連研究を行って通常臨床応用可能な予後因子を同定し論文を執筆した。また教室の新テーマであるノックアウトマウスの維持、解剖実験等に本学や他施設において従事した(沖縄科学技術大学院大学客員研究員)。 |                                      |  |    |  |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 将来的に地域・社会の診療向上に資する知見を目標に研究する。   |  |     |  | 0.05                                 | 研究を通して皮膚悪性腫瘍患者の診療の向上に資する知見を得るとともに、非常勤医師として地域医療へも参加している。  |                                      |  |    |  |
| 管理運営                                  | 0.05                | 試薬・機器の適切な維持管理により、効率的な研究活動と環境負荷の削減がなされるよう配慮する。   |  |     |  | 0.05                                 | 試薬・機器のほか、特に極めて多数のマウスの教室としての管理事務作業、対外連絡実務を担当し、経費節減につとめた。  |                                      |  |    |  |
| 進路指導                                  | 0.10                | 必要に応じて、大学院生あるいは学部学生の卒後について、家庭を持つ女性研究者/医師としての経験に基づく助言を行う。  |  |     |  | 0.10                                 | 女性臨床系院生や学部学生との交流を通し、家庭生活との両立や進路について、自身の経験に立脚した助言につとめた。   |                                      |  |    |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |  |     |  | 1.00                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>                                      |                                      |  |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 |  | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 名 前                                   |                     | 山本 秀幸   | 所 属 | 大学院医学研究科・生化学講座  | 職 名   | 教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.40                | 医学部医学科1年次学生の医学概論A、2年次学生の医学英語および、生化学の講義および実習を担当する。生化学の講義では、講義内容等についてのアンケートを実施する。大学院医学研究科修士課程の基礎医学概論を担当する。また博士課程の分子細胞生物学概論とプロジェクト関連科目を担当する。                           |     | 0.40  | 医学部医学科1年次学生の医学概論A、2年次学生の医学英語および、生化学の講義および実習を担当した。生化学の講義の中で、症例を提示してグループごとに発表させた。大学院医学研究科修士課程の基礎医学概論を講義しアンケートをとった。博士課程の分子細胞生物学概論とプロジェクト関連科目を担当した。                           |    |
| 研究                                    | 0.35                | 生化学会、神経化学会に出席し研究成果を発表する。会場での討論により研究者間での情報交換と研究内容の改善を目指す。大学院博士課程の学生4名および教室員の研究教育を指導し、生化学系、生理学系、薬理学系の雑誌でインパクトファクターの高い雑誌への論文の採択を目指す。科学研究費補助金に加え、様々な外部資金獲得を目指す。         |     | 0.35  | 5月の生化学会九州支部会、9月の神経化学会、10月の生化学会大会、11月の薬理学会西南部会に出席し、研究成果を発表した。生化学系、薬理学系の英文雑誌に計4編の論文が採択された。  |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 薬理学に関連する企業との共同研究を計画し、研究成果の社会への還元を目指す。   |     | 0.10  | 薬理学に関連する企業との共同研究を行い、研究成果を社会に還元した。米国から出版された生化学の教科書を共同で日本語に訳した。   |    |
| 管理運営                                  | 0.15                | 遺伝子組換え生物等使用実験安全委員会の副委員長として遺伝子組換え生物等使用実験の指導と管理を行う。学生生活委員会委員、学生支援指導専門委員会委員、医学科および医学研究科厚生委員会委員長、学位論文資格審査会委員、附属実験実習機器センター運営委員会委員、医学部及び附属病院交通対策委員会委員としてそれぞれの審議を行う。       |     | 0.15  | 遺伝子組換え生物等使用実験安全委員会の副委員長として遺伝子組換え生物等使用実験の指導と管理を行った。医学部RI実験施設長としてRI使用実験の指導と管理を行った。学生生活委員会委員、学生支援指導専門委員会委員、厚生委員会委員長、学位論文資格審査会委員、附属実験実習機器センター運営委員会委員、交通対策委員会委員としてそれぞれの審議を行った。 |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>   |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 徳 誠吉   | 所 属 |   | 医学部・医学研究科   |
|                                       |                     |  | 職 名 |   | 准教授   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.40                | 医学科2年次学生の専門教育科目である生化学の講義・実習を担当する。医学部で生化学は基礎学力の中心的役割を持つので、学生には力を入れて学ぶよう特に力説しておきたい。予備知識が足りなくても理解できるよう、なるべく分かりやすい講義を目指す。2年次医学英語(6名)を担当する。英文法を駆使して、正しい構文の理解による読解力のスキルアップを図る。大学院医学研究科修士課程の生化学特論を担当する。また博士課程の情報生物学特論と分子生化学演習、生化学実習を担当する。   |     | 0.30  | 医学部医学科2年次学生の専門教育科目である生化学の講義・実習を担当した。分かりやすい講義を心がけ、関連科目との関連性の説明に重点をおいた。実習はRT-PCRを担当しており、DNAの相補性が遺伝子の転写・翻訳・複製・修復といった生命現象の基礎的理解に役だったのではないかと考えている。2年次医学英語を担当した。学生にとっては割り当てをこなす根気の要る科目であろうが、国際人としての英語の重要性や必要性から将来的にはネットに豊富にあるヒアリングツールなども取り入れてもいいと考えている。大学院医学研究科修士課程の生化学特論を担当した。また博士課程の情報生物学特論と分子生化学演習、生化学実習を担当した。 |
| 研究                                    | 0.53                | M期染色体の凝縮過程におけるヒストンH3およびそのバリエーションのリン酸化がヌクレオソームの物理・化学的性質やエピゲノム情報と関連することを見いだしている。本年度は、さらに詳細に調べるとともに、ゲノムワイドのDNA配列情報との相関を明らかにする。研究データが蓄積しているのでジャーナルに投稿する。学会会場での討論により研究者間で情報交換し、さらに新しい展望を開く。また、大学院博士課程学生の研究教育を指導し、論文の採択を目指す。大学院生の新規獲得を目指す。 |     | 0.63  | M期染色体でリン酸化が亢進するヒストンH3はリン酸化部位の位置によって異なるヌクレオソームとしての物理的・化学的性質を示すことを見だし、分子生物学会(横浜)で発表した。また、ヘテロクロマチンとユークロマチンとしての構造上の性質の違いにも反映されていることが明らかになった。アプローチがやや古典的ではあったが、面白い知見が得られて、内容は好評であった。近く、ジャーナルに投稿予定である。  |
| 社会貢献                                  | 0.03                | 生化学やバイオ関連企業との共同研究を計画する。研究成果は社会に還元する。Tof-MSなどの外注を関連企業や第三セクターなどに増やすことで接点を多くしたい。  |     | 0.03  | エピゲノム情報に関連して、ChIP-seqなど幾つかの外注を出すことができた。共同研究の必要性は感じて、相手の有ることで成立させることはなかなか難しい。むしろ、私のように定年とかで去る人がそれまでの専門性を生かした企業等を興して大学との関係を模索するとか、それをサポートする強力なシステムの必要性とかを感じる。   |
| 管理運営                                  | 0.04                | 本年度も、医学科教育連絡主任として連絡会議に参加する。これまでの経験を生かし、TBL・PBLやシミュレーション教育を通して、学生の教育システムの改善および遂行に取り組む。CBT用問題作成やそのブラッシュアップに取り組む。   |     | 0.04  | 医学科教育連絡主任としての経験値も蓄積してきたところで定年になるが、TBL・PBLやシミュレーション教育にも参加した。CBT用問題はいいものがあったと思っている。   |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 仲嶺 三代美  | 所 属 | 医学研究科・生化学講座   | 職 名  | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |    |
| 教育                                    | 0.36                | 医学科2年次の生化学講義では生体内でのタンパク質の合成および分解について担当する。理解が深まるような内容にするための資料を準備する。生化学実習では生体に含まれるタンパク質の分離精製法などを担当する。医学科4年次の基礎配属を担当する。大学院生への実験の指導を行う。                                 |     | 0.40  | 医学科2年次の生化学実習ではタンパク質の分離精製とその特徴について、学生の理解を深めるための実習となるように工夫した。講義では分かりやすいスライドおよびプリントの作製を心がけた。4年次の基礎研究および6年次の臨床研究の配属では、最先端の研究について紹介するなど、研究の現場を体験できるように努めた。大学院生の講義も担当した。 |    |
| 研究                                    | 0.60                | 視床下部由来の培養細胞を用いて、GnRHの刺激による細胞内のシグナル伝達機構を詳細に解析することによって、ErbBファミリーの制御とERKの活性化の関係を明らかにしたい。研究成果は、日本分子生物学会にて発表することにより、研究者間での情報交換を活発に行う。また、これまでの研究が論文として採択されることをめざす。        |     | 0.52  | Gタンパク質共役受容体刺激による細胞内情報伝達機構を解析し、研究成果を生化学九州支部会、日本生化学会、日本分子生物学会にて発表した。また、これまでの成果を論文として発表できる段階になった。具体的には、投稿の最終段階である。また、共著者として加わった論文が12月に採択された。                          |    |
| 社会貢献                                  | 0.01                | 沖縄県で開催する学会、研究会へ積極的に参加することで県内のコンベンション事業の活性化に貢献する。  |     | 0.01  | 学術および試薬セミナーに積極的に参加した。  |    |
| 管理運営                                  | 0.02                | 研究室内で使用する劇物および毒物指定の試薬、免税エタノールの使用に関して保管および使用記録等の管理に携わる。センター試験などの試験監督業務に従事する。   |     | 0.02  | 毒劇物の試薬管理システムの責任者として試薬および使用者を登録し、管理を行った。免税エタノールの使用について保管と使用記録を管理した。大学入試センター試験では警備案内役を勤めた。   |    |
| 進路指導                                  | 0.01                | 大学院生および学生から進路についての相談を受けた場合に、情報を集めるなど手助けをする。   |     | 0.05  | 大学院生へ培養細胞の取り扱いおよび生化学的実験を指導し、研究環境の基盤整備を行った。   |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 吉見 直己  | 所 属 |   | 医学研究科  |
|                                       |                     |  | 職 名 |   | 教授   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.25                | 1. 病理学講義と病理総合学習を実施する。引き続き、実習はバーチャルスライドシステムの充実を諮る。2. 病理部臨床実習の継続と病理医育成を視野にシステムの充実を諮る。3. 大学院院生に関しては学会発表と論文指導を諮る。4. 引き続き、病理解剖検討会を開催と研修医CPCを実施し、医療の質を確保する。      |     | 0.30  | すべてクリア。なお、細胞病理学教授辞職に伴い、すべてに補完し、2では臨床講座としての役割も担っている。  |
| 研究                                    | 0.35                | 1. 厚労省の指定型研究の獲得とその班長としての任務を遂行する。2. ラオスでの細胞診での支援を継続するとともに、それに対する外部資金獲得を目指す。3. 外部資金の獲得を目指す、産学連携研究のために、国立高専との共同研究を目指す。  |     | 0.30  | 特に厚労省指定型研究費(吉見班)の継続が認められた。3は共同研究員として2社から連携し、高専との共同研究も開始した。ラオスに関して、国費留学生が病気療養のため、大学院休学して帰国しており、やや静観しているところであるが、現在、前年までのデータ処理をし、次年度の研究申請をしている。 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 1. 地域医療として、県立宮古病院及び八重山病院の遠隔術中病理診断を予定している。また、前者では、継続してきた臨床症例カンファレンスに病理側として参加し、医療の質の向上に対する貢献を継続する。2. 本島での種々の病院標本の病理診断に貢献する。3. 県下の医療系学校で必修である病理学講義を通じて社会貢献する。 |     | 0.05  | 全てクリア。以下の診療とも関与するが、1は遠隔病理診断契約して、開始した。関連病院として新たに徳洲会病院の迅速・剖検を開始した。また、当初計画に記載を忘れたが、第60回日本病理学会秋期特別総会を主催し、その中には市民公開講座を実施した。県のがん診療連携協議会委員としても参画した。 |
| 管理運営                                  | 0.05                | 1. 教授会を含め、各種担当委員会に可能な限り参加する。   |     | 0.05  | 可能な限り参加した。学務委員会に所属。病院管理業務ではあるが、病理部運営協議会委員長として診療管理に貢献した。  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 1. 二年代学生の指導教員として対応する。  |     | 0.05  | 班会開催を年間2回、適宜、講義受講や成績に関して学生の訪問を受けた。   |
| 診療                                    | 0.20                | 1. 病理部での病理診断を遂行する。2. 上記社会貢献に関係するが、遠隔病理支援システムを模索する。   |     | 0.25  | すべてクリア。なお、細胞病理学教授辞職に伴い、すべてに補完した。2では県立宮古病院・八重山病院と契約して、実施した。病理部でなく、病理診断科としての診療科として活動できた。   |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) |                     |   |  |     |  |                     |   |     |  |    |  |
|------------------------------------|---------------------|---|--|-----|--|---------------------|---|-----|--|----|--|
| 名 前                                |                     | 松崎 晶子   |  | 所 属 |  | 医学部                 |   | 職 名 |  | 助教 |  |
| 領域                                 | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     |  | 業務<br>ウエイト比<br>(実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |  |    |  |
| 教育                                 | 0.40                | ポリクリ／病理学の授業を通じて、学生の病理学ひいてはヒトの疾病の理解を助ける。ポリクリの病理では外科病理の実際業務を理解させ、教室の授業では実感できなかった病理診断を実際に学生にもみさせる。病理解剖においては、死因の追求のみならず、研修医への教育も個々の症例に準じて行う。また、2年時の医学英語の授業を担当し、医学論文の読み方などを手ほどきする。 |  |     |  | 0.40                | ポリクリ／病理学の授業を通じて、外科病理の実際業務を理解させ、教室の授業では実感できなかった病理診断を実際に学生にもみさせた。病理解剖においては、死因の追求のみならず、研修医への教育も個々の症例に準じて行う。また、2年時の医学英語の授業を担当し、医学論文の読み方などを手ほどきした。 |     |  |    |  |
| 研究                                 | 0.40                | 日本病理学会での外科病理症例の発表。国際細胞学会での研究発表などを予定。外科病理症例で、問題症例や希症例については消化器外科／内科との合同カンファレンスを行い検討する。  |  |     |  | 0.40                | 日本病理学会で発表を行い、学会で、他大学の病理研究者とディスカッションを行うことができた。また、CPCなどで、臨床医と問題症例などについて検討を行った。  |     |  |    |  |
| 社会貢献                               | 0.10                | 浦添総合病院、中頭病院での病理診断の援助。   |  |     |  | 0.10                | 浦添総合病院、中頭病院、中部徳洲会病院などで病理診断の援助をおこなった。  |     |  |    |  |
| 管理運営                               | 0.00                |   |  |     |  | 0.00                |   |     |  |    |  |
| 進路指導                               | 0.00                |   |  |     |  | 0.00                |   |     |  |    |  |
| 診療                                 | 0.10                | 病院病理部での診断。琉大キャンサーボードや他科とのカンファレンスや学外での勉強会へも参加、診断困難症例に対し、他科と連携して診断を行っていく。   |  |     |  | 0.10                | 病院病理部での診断。琉大キャンサーボードや他科とのカンファレンスや学外での勉強会へも参加、診断困難症例に対し、他科と連携して診断を行った。   |     |  |    |  |
| 計                                  | 1.00                |   |  |     |  | 1.00                | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |     |  |    |  |

※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。

学外公表に同意しない。

学内公表に同意しない。

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |             |   |   |   |  |
|---------------------------------------|-------------|---|---|---|--|
| 名 前                                   | 等々力英美       |   | 所 属   | 医学研究科   |  |
| 職 名                                   | 准教授         |   |   |   |  |
| 領域                                    | 業務ウエイト比(予定) | 平成26年度 年度目標設定   | 業務ウエイト比(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |  |
| 教育                                    | 0.35        | <p>医学部医学科「衛生学・公衆衛生学Ⅰ、Ⅱ」講義実習を担当する。<br/>大学院修士課程「医学研究方法特論」、「研究方法概論」講義を担当する。<br/>医学科配当科目の「医学外国語」の講義実習を担当する。<br/>M6臨床配属自由選択、配属学生の指導担当する。<br/>M4基礎研究配属学生の指導担当する。<br/>非常勤講師として琉球大学医学部保健学科「栄養疫学」、東京大学大学院医学系研究科「疫学方法論」の集中講義を担当する。</p>  | 0.35  | <p>医学部医学科「衛生学・公衆衛生学Ⅰ、Ⅱ」講義実習を担当した。<br/>大学院修士・博士課程「医学研究方法特論」、「研究方法概論」、「社会医学概論」講義を担当した。<br/>医学科配当科目の「医学外国語」の講義実習を担当した。<br/>M6臨床配属自由選択、配属学生の指導担当した。<br/>M4基礎研究配属学生の指導担当した。<br/>非常勤講師として琉球大学医学部保健学科「栄養疫学」、東京大学大学院医学系研究科「疫学方法論」の集中講義を担当した。</p>  |  |
| 研究                                    | 0.35        | <p>『ソーシャルキャピタルと地域のカ—沖縄から考える健康と長寿(仮)(日本評論社)』を編著者として執筆、出版する。<br/>科研費基盤研究(B)の研究主任者として(「社会経済的要因を背景にした伝統的沖縄食による3世代への介入研究」)を継続研究を行う。<br/>厚生労働省科研費「介護予防を推進する地域づくりを戦略的に進めるための研究」における分担研究者として研究を行う。<br/>科研費に関する関連論文を執筆する。<br/>公衆衛生、疫学の関連国際、国内学会において発表を行う。</p>                                    | 0.35  | <p>『戦後沖縄における食事・栄養と食環境の変遷』(島嶼地域の新たな展望九州大学出版会)を著者として執筆、出版した。<br/>科研費基盤研究(B)の研究主任者として(「社会経済的要因を背景にした伝統的沖縄食による3世代への介入研究」)を継続研究を行った。<br/>厚生労働省科研費「介護予防を推進した地域づくりを戦略的に進めるための研究」における分担研究者として研究を行った。<br/>日本医療研究開発機構研究費(長寿科学研究開発事業)「データに基づき地域づくりによる介護予防対策を推進するための研究」における分担研究者として研究を行った。<br/>科研費に関する関連論文を執筆した。<br/>公衆衛生、疫学の関連国内学会において発表を行った。</p>  |  |
| 社会貢献                                  | 0.20        | <p>日本疫学会、日本栄養食糧学会、日本民族衛生学会および日本栄養改善学会評議員として学会運営のための支援活動を行う。<br/>公益財団法人沖縄県医科学研究財団評議員として財団運営のための支援活動を行う。<br/>沖縄県公衆衛生学会幹事長として学会運営のための支援活動を行う。<br/>沖縄県医師会食育担当支援を継続して行う。<br/>沖縄県「健康行動実践モデル実証事業」の遂行のための支援活動を行う。<br/>公益財団法人生存科学研究所「社会・歴史・文化的視点から見たソーシャルキャピタルとウェルビーイング研究会」代表者として研究活動を推進させる。</p> | 0.20  | <p>日本疫学会、日本栄養食糧学会、日本民族衛生学会および日本栄養改善学会評議員として学会運営のための支援活動を行った。<br/>公益財団法人沖縄県医科学研究財団評議員として財団運営のための支援活動を行った。<br/>沖縄県公衆衛生学会幹事長として学会運営のための支援活動を行った。<br/>沖縄県医師会食育担当支援を継続して行った。<br/>沖縄県「健康行動実践モデル実証事業」の遂行のための支援活動を行った。<br/>公益財団法人生存科学研究所「社会・歴史・文化的視点から見たソーシャルキャピタルとウェルビーイング研究会」代表者として研究活動を推進させる。<br/>八重瀬町教育委員会外部評価委員として意見書を提出した。<br/>平成26年度「県産野菜等の消費拡大による健康改善促進事業」の一環としてチャンブルースタディ「ソーシャルマーケティングアライアンス」の構成員として事業をサポートした。</p> |  |
| 管理運営                                  | 0.05        | <p>琉球大学国際沖縄研究所の併任教官として企画・運営に携わる。<br/>琉球大学疫学研究倫理審査委員会委員として、申請事項に対して審査を行う。</p>  | 0.05  | <p>琉球大学国際沖縄研究所の併任教官として企画・運営に携わった<br/>琉球大学疫学研究倫理審査委員会委員として、申請事項に対して審査を行った。</p>   |  |
| 進路指導                                  | 0.05        | <p>地域医療研究会の顧問教官として、学生の地域医療の学外活動にかかわる支援を行う。<br/>医学科2年次生の指導教員として、教育生活指導を行う。</p>   | 0.05  | <p>地域医療研究会の顧問教官として、学生の地域医療の学外活動にかかわる支援を行った。<br/>医学科2年次生の指導教員として、教育生活指導を行った。</p>   |  |
| 計                                     | 1.00        | <p>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。<br/>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br/>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</p>  | 1.00  | <p>・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</p>  |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |             |   | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 宮崎哲次  | 所 属 |   | 医学研究科法医学講座  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 教授  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.30                | 4年次学生の指導教員としての責務を果たす。法医学講座に在籍している博士課程大学院2年次学生をTA及びRAとして採用する。学部4年次学生の「法医学・医事法制」の授業の半分以上を担当する。学部6年次の臨床実習で法医学を希望する学生計17名を受け入れる。  |     | 0.25  | 4年次学生との年次別懇談会を定期に実施し、また適宜修学に関する相談に応じた。講座の院生をTA・RAとして採用し学習意欲・研究意欲の向上を図った。講座で実施している学部学生の授業の半分以上を担当した。6年次学生の臨床実習では法医学希望の17名を受け入れ、実習を行った。 |
| 研究                                    | 0.15                | 法医学の研究に資するため、期間内に60体以上の解剖を自ら執刀する。学術論文を作成し、国際誌に投稿する。   |     | 0.15  | 平成27年1月26日までに81体の法医解剖(司法解剖43体、調査法解剖25体、承諾解剖13体)を担当した。学術論文が国際誌 Legal Medicineに掲載された。   |
| 社会貢献                                  | 0.15                | 沖縄県警察の検視レベルの向上を目的とする「法医実務教養」では20時間を担当し、配付プリントにカラー写真を多用して受講警察官の理解に供する。   |     | 0.10  | 警察官向けの授業を20時間担当し、配付プリントを含め授業内容を分かりやすくするよう努めた。   |
| 管理運営                                  | 0.40                | 部局の自己点検評価・改善委員会委員長として、自己評価書を中心となって作成し外部評価を受審する。疫学及び臨床研究倫理審査委員会等の委員としての責務を果たす。   |     | 0.50  | 医学部(大学院医学研究科・保健学研究科)の自己評価書を、中心となって作成した。この自己評価書に基づき平成26年11月外部委員4名を大学にお招きして外部評価委員会を開催した。倫理審査委員会において迅速審査を求められた際には速やかに回答した。               |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |   |                     |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|---|---------------------|---|
| 名 前                                   |                     | 福家 千昭  | 所 属   |                     | 大学院医学研究科  |
|                                       |                     |  | 職 名   |                     | 准教授   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |   | 業務<br>ウェイト比<br>(実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.10                | 学生に講義の内容を理解しやすくするために、ビデオや動画などを盛り込んだ講義資料を作成・準備する。<br>直近の事例を取り入れ、最新の中毒情報を提供する。<br>大学院生に対して実験の原理、本質を理解させるようディスカッションを多く取り入れ、本や文献の紹介、抄読会を積極的に行う。  |   | 0.10                | 学生に対しては危険ドラッグの事例など最新の事例を盛り込み講義内容の変更を行った。<br>修士課程学生に対しては例年通りの講義を行うとともに、法医学専攻の大学院生に対して研究指導、論文紹介、抄読会を行った。  |
| 研究                                    | 0.30                | 農薬や医薬品などの急性中毒に関する研究を継続的に行い、その研究結果を法医学会、中毒学会や法中毒学会などで発表する。特に、本年度は <b>科研究費基盤研究(C)「メソミル代謝物の追及-臭い成分を中心として-」の研究を重点的に行う。</b><br>発表した内容について論文にまとめ、学術雑誌に投稿する。<br>日本法医学会にて評議員としての活動と法医中毒ワーキンググループの一員としての役割を果たす。<br>法医中毒研究会の役員・事務局として研究会を運営し、総会や勉強会・セミナーの開催を行なう。<br>日本法中毒学会の評議員として学会運営に協力する。 |   | 0.30                | 研究成果を9th International Symposium on Advances in Legal Medicine、日本法医学会学術九州地方会にて発表した。<br>法医中毒学ワーキンググループの委員として委員会に参加し、法医学分野における薬毒物分析に関する意見交換を行った。<br>法医中毒研究会の役員・事務局として研究会を運営し、総会や勉強会・セミナーの開催を行った。<br>日本法中毒学会、日本中毒学会の評議員会に参加し学会運営に協力した。 |
| 社会貢献                                  | 0.50                | 法医解剖例や医療機関から依頼された薬毒物検査を行う。   |   | 0.50                | 平成26年に解剖した症例の内31例について各薬毒物の定性・定量分析を行った。また、1件の薬物鑑定を行った。   |
| 管理運営                                  | 0.05                | 保有個人情報管理委員会委員委員<br>琉球大学ハラスメント相談窓口担当者<br>琉球大学環境・施設マネジメント委員会化学物質管理専門部会委員   |   | 0.05                | 保有個人情報管理委員会委員委員として委員会に参加した。<br>琉球大学ハラスメント相談窓口担当者として講習会に参加した。<br>琉球大学環境・施設マネジメント委員会化学物質管理専門部会委員として試薬登録システムの始動に協力した。  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 指導教官として学生との連絡を密にし、修学、生活面で支援する。   |   | 0.05                | 班会を2回開催し、学生の生活状況を把握し、修学に対する意識の持ち方や方法について話し合った。また、学生の修学に対する悩みの相談に対応した。   |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |   | 1.00                | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |                     |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 二宮賢司  | 所 属 |   | 法医学講座   |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 特命助教  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.20                | 医学科4年生への講義を担当し、前年度における反省点を踏まえ内容の改善に取り組む。選択実習生に対し、より具体的な法医実務の紹介を行う。大学院生に対し解剖実務の指導を行う。大学院生及び研究生に対し論文作成の指導を行う。   |     | 0.20  | 所属教室の医学部4年生に対する講義の5コマを担当した。4年生ならびに6年生の選択実習生に対し法医実務の紹介を行った。大学院生ならびに研究生に対し法医実務に関する指導を行った。   |
| 研究                                    | 0.60                | 学術論文を作成し、国際誌に投稿する。法医学関連の国際学会への参加、発表を行う。法医学の研究に資するため、期間内に100体以上の法医解剖を執刀する。   |     | 0.60  | 法医学に関連する国際学会ISALMに参加して、ポスター発表を行った。法医学の研究に資するため、平成27年1月26日までに195体の法医解剖を執刀した。法医解剖例に関する英文の学術論文を現在作成中であり、年度内に投稿予定である。                     |
| 社会貢献                                  | 0.20                | 沖縄県警察の検視レベル向上を目的とする「法医実務教養」を担当する。沖縄県警察の行う検視業務に協力する。   |     | 0.20  | 平成27年1月26日までに検視業務への協力を3件行った。「法医実務教養」において2コマの講義を行った。平成27年1月24日に実施された、「2015年度九州地連介護・福祉集会」において児童虐待に関する講演を行った。児童相談所からの依頼で、虐待児の生体鑑定を2件行った。 |
| 管理運営                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 深沢 真希   | 所 属 | 法医学   | 職 名   | 特命助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|------|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |      |
| 教育                                    | 0.20                | 医学部医学科4年生の講義を担当し、法医学の基礎的知識を得られるような講義資料を準備したうえで、講義および質疑応答を行う。医学部医学科6年生の選択実習では、実務的な法医学的指導を行う。大学院生に対して、法医解剖実務ならびに診断技術を習得するための指導を行う。                                    |     | 0.20  | 医学科4年生の法医学の講義を2コマを担当し、基礎的知識を得られるような講義資料を準備したうえで、講義および質疑応答を行った。医学科4年生のTBLを担当し、国家試験問題を示し質疑応答を交えながら、統合失調症と自殺についてのグループ学習を行った。医学科6年生の選択実習では、実務的な法医学的指導を行った。大学院生に対しては、法医解剖実務ならびに診断技術を習得するための指導を行った。 |      |
| 研究                                    | 0.60                | 法医学に関連する国際学会および国内学会に参加して、学術発表を行う。学術論文を作成し、学会誌に投稿する。法医学の研究に資するため、期間内に自ら100体以上の法医解剖を執刀する。   |     | 0.60  | 法医学に関連する国際学会ISALMに参加して、ポスター発表を行った。法医学に関連する国内学会に参加して、口演発表を行った。法医学の研究に資するため、平成27年1月23日までに170体の法医解剖を自ら執刀した。法医解剖例に関する英文の学術論文を現在作成中であり、年度内に学術誌に投稿予定である。  |      |
| 社会貢献                                  | 0.20                | 沖縄県警察の行う検視業務に協力し、死体検案を行う。沖縄県警察の検視レベル向上を目的とする「法医実務教養」において、講義を行う。   |     | 0.20  | 沖縄県警察の行う検視業務に協力し、平成27年1月23日までに11体の死体検案を行った。沖縄県警察の検視レベル向上を目的とする「法医実務教養」において、合計8時間の講義を行った。児童相談所からの依頼で、虐待児の生体鑑定を6件行った。   |      |
| 管理運営                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |      |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |      |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>   |      |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |      |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 名 前                                   |                     | 益崎 裕章   | 所 属 | 医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座  | 職 名   | 教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.25                | 学生・研修医向けの講義・総回診・外来見学実習を中心とする臨床実習を通して教育・指導を徹底する。   |     | 0.20  | 当初の目標を達成できた。  |    |
| 研究                                    | 0.25                | 教室員の論文指導を通して研究活動を推進し、学会発表、英文論文発表を中心とする成果発信を積極的に進める。国際特許をはじめ、知的財産権の獲得に努める。農林水産省やJST・文部科学省の大型競争的研究資金の獲得を目指して努力する。   |     | 0.30  | 当初の目標を達成できた。  |    |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 県医師会・県栄養士会・県薬剤師会における講演や指導、全国レベルの学会、研究会における一般市民向け講演会・ウェブ情報発信・新聞やメディアを通じた医療啓発活動に積極的に関与する。   |     | 0.05  | 当初の目標を達成できた。  |    |
| 管理運営                                  | 0.15                | 副病院長、学務委員会や研究戦略推進委員会、医師キャリア支援センター長をはじめ、院内・学内の各種委員会における職責を全うする。  |     | 0.20  | 当初の目標を達成できた。  |    |
| 進路指導                                  | 0.05                | 学生、研修医、教室員に積極的に関わり、進路指導、キャリア・プランニングを支援する。   |     | 0.10  | 当初の目標を達成できた。  |    |
| 臨床                                    | 0.25                | 総回診や外来実習を中心として、教室全体の臨床レベルの向上と教育・指導を実践すると同時に琉球大学医学部附属病院における高度先進医療の向上・発展に貢献する。内分泌代謝、糖尿病、膠原病リウマチ疾患のエキスパート(専門医)を育成する。   |     | 0.15  | 当初の目標を達成できた。  |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul> |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)     |                     |  |     |   |   |     |
|--|---------------------|--|-----|---|---|-----|
| 名 前                                    |                     | 友寄 毅昭  | 所 属 | 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)   | 職 名   | 准教授 |
| 領域                                     | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |
| 教育                                     | 0.15                | (1)M4学生への血液学系統講義(4コマ)および試験の統括, (2)ポリクリ実習生への教育, レクチャー, (3)医学部弓道部顧問, (4)非血液専門医・研修医を対象とした勉強会(沖縄若手血液勉強会)の企画(年2~3回), (5)学生を対象とした血液疾患症例勉強会の開催(年10~12回)   |     | 0.15  | (1)M4学生の血液学講義(3コマ)および試験の統括を行った。(2)ポリクリ・クリクラ学生へ週1コマレクチャーを行った。(3)非血液専門医・研修医を対象とした勉強会を2回実施した。若手を対象とした症例勉強会を5回実施した。   |     |
| 研究                                     | 0.15                | (1)臨床研究リサーチ:HTLV-1キャリアおよび成人T細胞白血病リンパ腫(ATL)の臨床研究(沖縄感染症医療研究ネットワーク基盤構築事業)(学会報告1件), (2)症例報告発表・論文化(国内誌ないし国外誌(2件), 学会発表2件), (3)多施設共同研究(県内, JCOG, JALSG等) |     | 0.20  | (1)HTLV-1キャリア率の臨床研究を第117回沖縄県医学会総会で口演した。筆頭著者として, 沖縄医学会雑誌 53:12-4, 2014で論文化した。(2)共同著者として, 英語論文4編, 日本語論文1編の論文化ができた。(3)JCOG, 県内の多施設共同研究を実施中である。(4)県内の多施設共同研究の会議(沖りんけん)を隔月で開催した。 |     |
| 社会貢献                                   | 0.15                | (1)骨髄バンクコーディネーター活動(年10件), (2)国保審査員(3)HTLV-1母子感染対策委員, (4)血液疾患に関する市民フォーラムの開催(年1回), (5)先天性血液凝固因子障害等治療研究事業に係る認定審査(年2回), (6)PNH Frontier編集アドバイザー        |     | 0.15  | 右記として, 活動を行った。(1)骨髄バンクの調整医師, (2)国保審査員, (3)HTLV-1星感染対策委員, (4)先天性血液凝固傷害治療研究事業に係る認定審査。(5)PNH Frontier編集アドバイザー, (6)沖縄臨床血液研究会の事務局, (7)日本検査血液学会沖縄支部評議員                            |     |
| 管理運営                                   | 0.25                | (1)第二内科医局長, (2)骨髄採取術の安全管理;マニュアルの改訂   |     | 0.20  | (1)第二内科医局長, (2)病院機能評価ワーキンググループ  |     |
| 進路指導                                   | 0.10                | (1)血液内科を希望する研修医, 学生に対しての研修先などの進路指導(年8回, のべ30回), (2)指導教員として担当2年次指導(年2回, 10人), (3)大学院生(翁長薫)副指導教員   |     | 0.10  | (1)M2の指導教官。(2)大学院生の副指導教員。(3)琉球大学医学部弓道部顧問,   |     |
| 診療                                     | 0.20                | (1)血液内科に関する診療;外来診療, 入院診療, セカンドオピニオン, (2)骨髄バンクドナーコーディネート(年10回), (3)骨髄バンクドナーの骨髄採取(年10~12回)   |     | 0.20  | (1)血液内科の診療, セカンドオピニオン, (2)関連病院での一般診療(週2コマ), 当直(月2回)の応援。   |     |
| 計                                      | 1.00                | ・ウエイト比が1.00となるよう, 記入してください。<br>・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。   |     | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。  |     |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |     |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|--|
| 名 前                                   |                     | 植田 玲  | 所 属 |   | 琉球大学医学研究科内分泌代謝・血液・膠原病内科学  |  |
| 職 名                                   |                     |   |     | 助教  |   |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |  |
| 教育                                    | 0.25                | 学生実習とリンクした講義内容の充実を図る  |     | 0.25  | 実際の臨床に則した授業内容(スライド作成・講義)とした   |  |
| 研究                                    | 0.30                | 倫理審査に研究予定を提出中、実施と論文化を目指します  |     | 0.30  | 臨床研究は倫理審査も承認いただき進行中です。次年度も引き続き継続します。  |  |
| 社会貢献                                  | 0.05                | ひき続き沖縄県糖尿病療養指導士会の活動のアシストや糖尿病教室をスタッフと共に盛り上げていく。  |     | 0.05  | 参加型の糖尿病教室を実践しなるべくパラメディカル主導型の会を実行した。   |  |
| 管理運営                                  | 0.05                | 院内・学内の各種委員会における職責を全うする。   |     | 0.05  | 院内・学内の各種委員会への参加を行った。  |  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 医学部病棟実習生・研修医のチューターとして進路指導の支援を行う   |     | 0.05  | 病棟実習や当科での研修の説明案内を行った。また病棟での実習内容の見直しをスタッフとともにその都度行っている。                          |  |
| 診療                                    | 0.30                | 入院・外来、糖尿病教室において臨床レベルの自身の向上と患者教育へのスタッフ全体のレベル向上を試みる   |     | 0.30  | 入院外来両方での糖尿病教室の実施をパラメディカルとともに行った。  |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul> |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 砂川 澄人   | 所 属 |   | 琉球大学医学部内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.15                | 学生へ基礎講義及び病棟実習を通じた指導教育を行い知識定着を図る。また病棟実習の学生世話役として実習が円滑に進むよう努める。   |     | 0.15  | 内分泌学の系統講義の一部を受け持った。病棟実習(ポリクリ・クリクラ)の全グループの学生に対して講義、総回診指導、外来指導を実施できた。                                 |
| 研究                                    | 0.10                | 臨床研究としてメタローム解析を推進する。また難消化米プロジェクトなど他の第二内科主導の臨床研究に協力する。   |     | 0.15  | 難消化米プロジェクトに際し、外来施設での臨床研究追加枠を立ち上げ、外来患者より10症例を新規登録して介入試験を実施した。  |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 啓蒙活動として糖尿病週間の講演会や健康相談などのイベント管理を行う。小児糖尿病のサマーキャンプに参加する。   |     | 0.15  | 小児糖尿病のサマーキャンプに参加し啓蒙につとめた。また平成26年10月18日に糖尿病週間の関連イベントとして無料血糖測定会及び医師・栄養士からの講演についてイベントのセッティング及び運営を行った。  |
| 管理運営                                  | 0.20                | 第二内科の副医局長として医局の運営に関わる。毒物・劇物取扱責任者及び化学物質管理責任者として第二内科実験室の安全管理維持に努める。   |     | 0.15  | 第二内科の副医局長として医局の運営に携わり、病棟で発生する医療リスクの軽減のため医師や看護師と協力して対応した。毒物・劇物取扱責任者及び化学物質管理責任者として第二内科実験室の安全管理維持に努めた。 |
| 進路指導                                  | 0.10                | 大学院生の研究テーマの相談及び指導を行う。学生の学問的な興味を確認し適宜進路指導を行う。  |     | 0.10  | 大学院生の研究テーマについて定期的に意見を交換した。また学生に対し適宜進路指導を行った。  |
| 診療                                    | 0.35                | 第二内科病棟の患者の診療、及び外来での専門外来診療に携わる。  |     | 0.30  | 第二内科病棟、及び内科外来にて内分泌・代謝・膠原病疾患の患者に対し診療に携わった。   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 大屋 祐輔   | 所 属 |  | 循環器・腎臓・神経内科学  | 職 名   |  | 教授 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|--|---|---|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |  |    |
| 教育                                    | 0.15                | <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床実習システム改革の実行(教育企画室において)</li> <li>ハワイ大学との共同での指導医育成プログラムの実施</li> <li>シミュレーション教育の従来カリキュラムへの導入</li> <li>循環器診療シミュレーターのプログラム開発</li> </ul>   |     |  | 0.15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>臨床実習の改革実施を行っている</li> <li>ハワイ大学と共同で指導育成ワークショップを実施した</li> <li>シミュレーションを病棟実習に導入している</li> <li>循環器シミュレーターの開発に着手した</li> </ul>  |  |    |
| 研究                                    | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>食事と生活習慣病に関する疫学研究の実施</li> <li>認知症の関する疫学研究の実施</li> <li>脳卒中・心筋梗塞の県内での登録事業への協力</li> <li>沖縄県民の健康増進に関する観察および介入研究の継続(沖縄県からの委託事業)</li> <li>ゲノム研究の予後調査の継続</li> <li>離島高齢者の血圧管理と見守りのためのIT技術の応用研究</li> </ul> |     |  | 0.30  | <ul style="list-style-type: none"> <li>食事と生活習慣病に関する疫学研究を実施した</li> <li>認知症の関する疫学研究の実施した</li> <li>脳卒中・心筋梗塞の県内での登録事業へのシステムを医師会と構築した</li> <li>沖縄県民の健康増進に関する観察および介入研究の継続(沖縄県からの委託事業)している</li> <li>ゲノム研究の予後調査についてデータ管理を行っている</li> <li>離島高齢者の血圧管理と見守りのためのIT技術の応用研究を実施した</li> </ul> |  |    |
| 社会<br>貢献                              | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>高血圧、脳卒中、認知症、地域医療に関する市民公開講座の開催</li> <li>沖縄県の健康政策への協力</li> </ul>   |     |  | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>高血圧、脳卒中、認知症、地域医療に関するセミナーを主催した(3回)</li> <li>沖縄県の健康政策へ、学識経験者としてアドバイスを行っている</li> </ul>  |  |    |
| 管理<br>運営                              | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>保健管理センターの運営</li> </ul>   |     |  | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>センター長として会議の出席や中期目標の到達のための活動を行った。</li> </ul>  |  |    |
| 進路<br>指導                              | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>医学部学生、県内の臨床研修医へのキャリアパスの提示</li> </ul>   |     |  | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>医学部学生に対しては講義や学内カンファランスで提示、県内の臨床研修医へはセミナーの際に提示している</li> </ul>   |  |    |
| 診療                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>心臓リハビリテーションの件数増加</li> <li>肺高血圧診療体制の整備と推進</li> <li>血液透析患者のシャント狭窄へのPTA治療の開始準備</li> <li>腎臓リハビリテーションの情報収集と開始準備</li> <li>循環器・脳卒中救急患者の対応に関する情報収集および院内整備</li> </ul>                                     |     |  | 0.25  | <ul style="list-style-type: none"> <li>心臓リハビリテーションや運動処方が増加した</li> <li>肺高血圧診療の充実を行うと共に、県内診療体制を整備している</li> <li>血液透析患者のシャント狭窄へのPTA治療体制を調査した</li> <li>腎臓リハビリテーションの情報収集し、試験的に開始する準備ができた。</li> <li>循環器・脳卒中救急患者の増加に対応する体制の情報が集まっている。</li> </ul>                                    |  |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>  |     |  | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 岩淵成志   | 所 属 |   | 循環器・腎臓・神経内科学講座  |
|                                       |                     |  | 職 名 |   | 准教授   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.20                | ①M5の臨床実習、循環器分野の系統講義の充実<br>②循環器グループスタッフへの冠動脈カテーテル治療に関する系統講義<br>③循環器分野でのあらたな臨床研究への知識の共有  |     | 0.20  | ①M5の臨床実習、循環器分野の系統講義は前年並みであった。<br>②医局員の冠動脈カテーテル治療の知識、技術の向上は予想以上であった。 |
| 研究                                    | 0.30                | ①沖縄県の慢性冠動脈疾患患者におけるクロピドグレルからプラスグレルへの変更後の血小板凝集能に関する検討(Ryukyus Swith Study)<br>②模擬血管を用いた冠動脈ステントの変形の実験(拡張圧によるステント延長、分枝部挿入時のKissing Balloon dilatation時の変形) |     | 0.30  | ①に関して治験審査委員会へ提出済み<br>②に関しては、数回の実験の結果を欧州心臓病学会での発表を予定している。            |
| 社会貢献                                  | 0.30                | 沖縄県での初となる経カテーテル的大動脈弁置換術の施設認定をし、重症大動脈弁狭窄症患者が県内でカテーテル治療が可能にする。   |     | 0.30  | 沖縄県での初となる経カテーテル的大動脈弁置換術の施設認定は、2015年3月に取得可能で、2015年4月から治療開始予定         |
| 管理運営                                  | 0.10                | ①環器グループの病床運営、紹介率向上、逆紹介率向上<br>②冠動脈カテーテル治療数の増加   |     | 0.10  | 循環器グループの病床稼働率は増加<br>冠動脈カテーテル数は2014年は216件と前年より倍増                     |
| 進路指導                                  | 0.10                | 循環器内科、腎臓内科、神経内科を担う人材の育成と進路相談   |     | 0.10  | 2015年医局入局者は7人であり、今後も人材育成をつづける                                       |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。                                       |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 大城克彦  | 所 属 |   | 琉球大学大学院医学研究科.<br>循環器・腎臓・神経内科学   |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.20                | 初期研修医および医員の循環器診療に関するスキルアップを支援。<br>病棟実習生の指導  |     | 0.20  | 毎日朝夕の回診で初期研修医および医員の診療の相談を受け、適宜指導を行った。その際に病棟実習生に対しても指導を行った。<br>後期研修医や医員が行う心臓超音波検査や心臓カテーテル検査など専門手技に立ち会い適宜指導した。  |
| 研究                                    | 0.20                | 内科学会での報告発表<br>循環器学会での報告発表   |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・Real CAD研究(ピタバスタチンによる積極的脂質低下療法または通常脂質低下療法のランダム化比較試験)の参加協力。</li> <li>・第116回日本循環器学会九州地方会で「Sirolimus-eluting stent (SES)の異なった後期冠動脈イベントを認めた一例」について共同演者として報告した。</li> <li>・頸動脈プラークスコアと冠動脈硬化症の関連性に関するデータベース作成</li> </ul> |
| 社会貢献                                  | 0.00                | 生活習慣病の予防や治療法に関する診療を行い、動脈硬化性疾患(心筋梗塞, 脳梗塞など)の発症予防を目指す。<br>動脈硬化性疾患の治療を行い、罹患患者の社会復帰を支援する。   |     | 0.10  | 1回/月程度の頻度で沖縄県総合保健協会において生活習慣病患者の生活習慣改善を目標とした指導を行った。  |
| 管理運営                                  | 0.20                | 心臓カテーテル検査および治療のスケジュール管理および件数増加を目指す。   |     | 0.20  | 心臓カテーテル検査のスケジュール管理を行った。   |
| 診療                                    | 0.40                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・循環器救急診療の充実</li> <li>・年間100件以上のカテーテル検査件数を旨す。</li> </ul>  |     | 0.30  | 循環器ホットラインによる近隣開業医からの急患対応要請に対し診療を行った。また、救急部と連携をとりそれらがスムーズに行われるよう整備した。<br>また、年間200例を超えるカテーテル検査を施行した。  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

## 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 山里 正演  | 所 属 |  | 循環器・腎臓・神経内科   | 職 名  |  | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|--|---|--|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |  |    |
| 教育                                    | 0.20                | 病棟実習生のカルテ記載を中心に指導する。<br>初期研修医のカルテ記載の指導と発表能力が向上するよう支援する。  |     |  | 0.20  | ・・・医学科4,5年生の病棟実習を担当し、特にカルテ記載をPOSにそって指導した。総回診後に症例検討を含む勉強会を行い、初期研修医および後期研修医に発表の機会を提供し、発表の仕方を指導した。                    |  |    |
| 研究                                    | 0.20                | 高血圧の中枢性機序における骨髄由来細胞の役割の検討で科学研究費を獲得した。本年度は最終年度となる。引き続き脳内骨髄由来細胞とneurogenic hypertensionの関係につき検討を進める。骨髄由来単核球細胞の肺高血圧治療に対する可能性をモデル動物を用い検討結果をまとめる。 |     |  | 0.20  | ・・・脳内骨髄由来細胞とneurogenic hypertensionの関係につき特に脳内でのレニン-アンジオテンシン系構成要素の発現および炎症関連蛋白の発現について検討を行い、作用機序の解明を進めた。国内外で学会発表を行った。 |  |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 入院患者への患者学習会を担当し、高血圧や腎疾患の知識の普及に努め生活習慣の修正や治療法への理解を促し、臓器障害の発症・進展予防を目指す。   |     |  | 0.10  | ・・・月に1度、病棟入院中の患者・家族を対象に高血圧学習会を継続して行った。   |  |    |
| 管理運営                                  | 0.10                | 病棟入院中の患者・家族と病棟スタッフの安全に留意し、コミュニケーションを密にし安全に関わる情報の共有を即す。   |     |  | 0.10  | ・・・医局長任期中は重大な事故につながる可能性のあったインシデントなどを構成員に報告し、事故防止の観点から情報の共有につとめた。新電子カルテシステム移行の外来ワーキンググループにサブリーダーとして参加した。            |  |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 医局構成員の将来像を確認し、それぞれに対してのキャリアパスについて助言を行う。  |     |  | 0.10  | ・・・医局構成員の将来像を確認し、それぞれに対してのキャリアパスについて助言を行った。  |  |    |
| 診療                                    | 0.30                | 臓器合併症の発症・進展予防を目指し高血圧・腎疾患を中心に外来診療を行う。朝夕の病棟回診をを通し、入院主治医への助言を行う。  |     |  | 0.30  | 高血圧・腎疾患を中心に外来診療を行なった。週約20名の外来患者の診療を行なった。朝7時半と14時の病棟回診に参加し、必要な助言を行った。   |  |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     |  | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)     |                     |  |  |     |   |   |     |    |  |
|--|---------------------|--|--|-----|---|---|-----|----|--|
| 名 前                                    |                     | 渡嘉敷 崇  |  | 所 属 | 医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座   |   | 職 名 | 助教 |  |
| 領域                                     | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |    |  |
| 教育                                     | 0.25                | 臨床講義内容の見直し(症例検討, 画像の活用), 臨床実習における指導(症例検討), 初期研修医の指導, 後期研修医の指導・専門医資格所得に向けた指導の充実   |  |     | 0.25  | ・・・臨床講義の内容に症例提示を組み込むようにし, また臨床実習や研修医指導においても実際の症例の診察を通して症候を検討するようにした。鹿児島大学神経内科へ専門的研究(遺伝子解析)で1名を派遣中である。   |     |    |  |
| 研究                                     | 0.25                | 神経疾患における病態解明(認知症)を行う<br>平成23-25年度に学術研究助成基金助成金を受けた。平成26年度からも新規に学術研究助成基金助成金を獲得できた。これまでの研究の継続, 拡大し学会や論文で発表する。   |  |     | 0.25  | ・・・認知症研究で厚生労働省科研費を平成23年度から2期連続(基盤(C)平成23年度-25年度および平成26-27年度)獲得し, 宜野湾市地域高齢者を対象に生活状況, 健康度, 栄養と認知機能に関する研究を行った。解析結果もまとめており, 学会発表し論文を作成中である。今後発展的に国際的に通用するような研究を進める。 |     |    |  |
| 社会貢献                                   | 0.15                | 神経疾患領域の家族会や市民公開講座への参加, 研究会活動, 地域医師会と協力した地域診療連携システムの構築  |  |     | 0.15  | ・・・南部保健医療圏における脳卒中地域連携システムの構築に参画し, 継続中である。地区医師会の勉強会・講演会などで認知症診療に関する講師を担当し, かかりつけ医の認知症診療能力向上に寄与した。  |     |    |  |
| 管理運営                                   | 0.05                | 診療科内における入退院管理, および研修医・担当医の健康管理   |  |     | 0.05  | ・・・本年度は入院患者数も昨年度を上回り高水準で維持した。研修医・担当医の負担軽減・健康管理に留意し, 担当患者の割り振りなどで偏重がないようにした。   |     |    |  |
| 進路指導                                   | 0.05                | 初期研修病院選択のアドバイス, 専門医教育プログラムの作成・実施   |  |     | 0.05  | ・・・初期研修病院選択および専門医教育プログラムの実施も行い, 個別に希望・能力に合わせたアドバイスも行った。鹿児島大学神経内科へ専門的研究(遺伝子解析)で1名を派遣中である。今後も継続的な研修先の充実, 拡大を目指す。  |     |    |  |
| 診療                                     | 0.25                | 新患予約外来の充実, 病診連携の充実・地域連携システムの構築   |  |     | 0.25  | ・・・地域連携システムの一環として神経内科新患予約システムを稼働している。神経内科は予約数は多く, 維持できている。  |     |    |  |
| 計                                      | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。</li> <li>・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |  |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。</li> </ul>  |     |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。 |                     |  |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |     |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |                               |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|-------------------------------|
| 名 前                                   |                     | 白石 祐之   | 所 属 |   | 医学部第一外科                       |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 准教授                           |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果              |
| 教育                                    | 0.20                | 学生講義や各種試験問題を、最新の情報にて更新・施行していく。  |     | 0.20  | 講義内容を更新し、最新情報の提供に努めた。         |
| 研究                                    | 0.20                | 臨床研究データを解析し、学会発表などに生かしていく。  |     | 0.20  | 臨床研究データの論文化、学会発表を行った。         |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 各種、県内外の医学系会議の主催や参加、他病院での手術支援を行う。  |     | 0.10  | 県内病院の臨床支援を行った。                |
| 管理運営                                  | 0.10                | 院内の会議とうで職責を果たす。   |     | 0.10  | 院内の会議に定期的に出席、発言を行った。          |
| 進路指導                                  | 0.10                | 講義や担当学生との面会などを通じて進路指導を行う。   |     | 0.10  | 担当学生などの進路指導を行った。              |
| 診療                                    | 0.30                | 肝胆膵領域の高難度手術を中心に、術者および指導者として職責を果たす。  |     | 0.30  | 高難度の手術を施行し、手術指導を行った。          |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。</li> <li>・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |                               |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 佐村博範  | 所 属 |   | 大学院医学研究科  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教  |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.25                | ポリクリ学生に対して(1)医療行為を経験させるクリニカル・クラークシップ型の外科臨床実習を行う。(2)臨床実習を通してのclinical questionあるいは興味あるテーマに関し英語論文の抄読会を担当させ論文リサーチスキルと適正な読解力および理論的思考法の指導を行う。(3)講義において疾患概念と特徴と問題点、および現在の専門医会でのコンセンサスを教授する。 |     | 0.20  | (1)ポリクリの期間の受け持ち症例を術前から術後まで通して診療する臨床実習を行った。また、相当期間に可能な限り外科手技を教授し施行させる事ができた。(2)不評とのことで今季は施行しなかった。(3)講義を通して教示した事を試験で確認できた。 |
| 研究                                    | 0.25                | (1)担当専門領域に属する他の教員と共同で、消化器外科領域の臨床医研究成果を学会で発表する。(2)同じく論文作成報告する。(3)九州地方での臨床研究区ループにプロトコル委員および推進委員として参加し、地域共同研究を学会報告および論文報告する。(4)全国規模の臨床試験に参加し、evidenceの構築に寄与出来る診療体系を構築する。                 |     | 0.20  | 臨床研究グループでは試験の遂行と新しい試験の提案を行った。同研究グループでの研究成果の論文化も進行している。当科主体の新規臨床研究を開始する準備をしている。  |
| 社会貢献                                  | 0.10                | (1)県医師会に参加し、地域医療に貢献する。(2)地域病院で主に手術応援を通して消化器外科最先端の技術を実地指導する。(3)九州地域および全国規模の臨床研究グループに参加し臨床実績を公正に評価報告することで本邦における診療のエビデンスを確立する。   |     | 0.10  | 県内の大腸関疾患連研究会にて司会・座長および演者をつとめ啓蒙に寄与した。県内の施設に手術応援を通して技術指導を行った。   |
| 管理運営                                  | 0.25                | (1)医学部教授会、病院運営委員会、などの医学部および病院委員会の資料から管理運営に貢献できる分野を確認し、適切な事務処理および医療資源の節減を通して管理運営に寄与する。(2)病院再整備準備室に参加し次期病院構想に参画する。(3)次期電子カルテの選定にコア委員として参加し、病院運営に協力している。                                 |     | 0.30  | 各種委員会、がん診療連携協議会部会での活動、次期システム準備にコア委員として参加し、病院運営管理に貢献した。  |
| 進路指導                                  | 0.05                | ポリクリ学生および前期臨床研修医と積極的にコミュニケーションをとり、進路選択の一助となるよう相段に応じる。また、参考となる様、担当科(消化器一般外科)の実際を適宜説明する。  |     | 0.05  | 症例を通して知識・技術の教示とともに当科の特色・魅力を説明した。  |
| 診療                                    | 0.10                | 医学部附属病院では自科単独あるいは他科と共同で集学的医療を行うことで難易度の高い手術を行っている。特に他科との共同では機能温存手術、根治性の高める工夫をした手術を施行する。  |     | 0.15  | 機能温存手術、集学的治療+他科合同手術により専門性の高い高度医療を実践できた。   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>                   |     | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   | 下地英明                |  | 所 属 | 大学院医学研究科  |   |
| 職 名                                   | 助教                  |  |     |   |   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.20                | ①医学部の学生に対して: 1) 担当講義を行い、医学知識の向上を図る。2) 医行為を経験させるクリニカル・クラークシップ型の外科臨床実習を行う。②日本静脈経腸栄養学会教育認定施設の指導医として、琉球大学医学部附属病院NSTカリキュラムの作成、指導を行う。また初期臨床研修医オリエンテーションでNSTレクチャーを行う。 |     | 0.20  | ① 1) 担当講義 1. 食道の外科的治療、2. 栄養法・NST、をおこなった。2) 1外科臨床実習に参加した学生に対して外科臨床実習を指導した。3) 更に担当講義以外に、イ) 総合講義「消化器外科のトピックス」GIST、ロ) 医師キャリア支援センターからの依頼で「輸液・栄養管理」ハ) 新臨床研修医オリエンテーションとして、NSTレクチャーの講義を行った。②日本静脈経腸栄養学会教育認定施設の指導医として、琉球大学医学部附属病院NST活動として、平成26年度栄養サポートチーム専門療法士研修カリキュラムを開催し、院内の受講生の指導と講義を行った。以上より、目標以上の内容が達成できた。 |
| 研究                                    | 0.30                | ①消化器外科学領域、特に食道・胃外科領域での臨床研究成果を学会で発表する。②論文を作成し、発表する。③臨床研究成果を基に、科学研究補助金の申請を行い獲得を目指す。  |     | 0.30  | ①国内国外の学会・研究会で10件の発表を行った。②筆頭著者として、英文論文1編、和文論文1編の発表を行った。以上より、目標は全て達成できた。  |
| 社会貢献                                  | 0.05                | ①沖縄県内視鏡会に参加し、地域医療に貢献する。②所属学会・研究会の委員会に参加して、我が国の外科学の進歩に貢献する。   |     | 0.05  | ①沖縄県内視鏡会の定例会、理事会に参加した。②評議員・幹事等に任命されている所属学会・研究会のほとんどに参加し、一定の貢献を行った。以上より、目標は全て達成できた。  |
| 管理運営                                  | 0.10                | ①担当の医学部附属病院委員会に参加し、運営に寄与する。②コアNSTの中心メンバーとして、病棟NSTの指導を行い栄養サポートチーム加算に協力し、運営に寄与する。  |     | 0.10  | ①任命された各種委員会に委員として出席し、運営に寄与した。②栄養サポートチーム加算の施設基準の担当医師として、栄養サポートチーム加算に協力し、加算可能ものとしている。以上より、目標は全て達成できた  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 医学部学生および研修医に進路指導を行う。   |     | 0.05  | 初期研修医に進路指導を行い、後期研修医の入局を促している。以上より目標は達成できた。  |
| 診療                                    | 0.30                | 医学部附属病院で、①消化器外科領域の食道・胃外科グループ長として、外来診療、病棟診療、手術を担当する。②内視鏡検査を担当する。③NSTのコアメンバーとして、NST活動を行う。①・②・③を通して、若手医師の指導と育成を行う。  |     | 0.30  | ①食道・胃外科のグループ長として、外来診療、病棟診療、手術を担当した。②内視鏡検査を担当した。③NSTのコアメンバーとして、毎週のNST症例検討、NST回診のほとんどに参加した。以上より目標の全てを達成した。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 青木 陽一  | 所 属 |   | 医学研究科 女性・生殖医学講座   |
|                                       |                     |  | 職 名 |   | 教授  |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>当科診療マニュアルによる医局員教育の実施</li> <li>チュートリアル授業の取り入れ</li> <li>研究業績の授業への反映</li> <li>産婦人科専攻医に対するセミナー講演</li> <li>医学研究科大学院生5人の研究指導</li> </ul> |     | 0.25  | <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年、当科診療マニュアルを発刊し、医局員教育を実施した。</li> <li>講義、BSTに当分野の研究業績を盛り込んでいる。</li> <li>6回の定例研修セミナーを行った。</li> <li>4人の大学院生に対する研究立案、研究指導を行った。</li> </ul>   |
| 研究                                    | 0.15                | <ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省科学研究費による研究の遂行</li> <li>開発治験、臨床研究の遂行</li> <li>子宮頸癌、子宮体癌、既往帝切、卵胞液に関する新研究の立ち上げ</li> </ul>                                       |     | 0.15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省科学研究費による臨床試験で登録終了し、経過観察を実施した。</li> <li>現在、開発治験3件が進行中、臨床研究は多数件進行しており、今年、関連論文2本をpublishした。</li> </ul>   |
| 社会貢献                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本産科婦人科学会腫瘍委員会への委員としての参画</li> <li>各種学会での理事、評議員としての参画</li> <li>沖縄産科婦人科学会での学会・研修会企画開催</li> <li>子宮がん検診勧奨のための公開講座等への参画</li> </ul>     |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本産科婦人科学会腫瘍委員会の委員として、全国婦人科悪性腫瘍登録事業で、2013年の患者年報、2007年までの治療年報を報告した。</li> <li>各種学会での理事会、評議員会への出席。</li> <li>沖縄産科婦人科学会として、胎児心エコーセミナーの遠隔地開催の支援を行った。</li> <li>子宮がん検診啓発のための講演会を行った。</li> </ul> |
| 管理運営                                  | 0.20                | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報・研究倫理担当副病院長としての貢献</li> <li>臨床研究倫理審査委員会委員長としての貢献</li> <li>輸血療法委員長としての貢献</li> <li>医学研究科学務委員会での貢献</li> </ul>                     |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療情報・研究倫理担当副病院長としての職務を遂行した。</li> <li>臨床研究倫理審査委員会委員長としての職務を遂行した。</li> <li>輸血療法委員長としての職務を遂行した。</li> <li>医学部、医学研究科(学務委員、ヒトゲノム倫理審査委員)、附属病院(治験倫理審査委員等)における各委員としての任務の遂行。</li> </ul>          |
| 進路指導                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>研修病院選択への助言</li> <li>医学博士号取得の勧奨</li> <li>サブスペシャリティー専門医取得の勧奨</li> </ul>   |     | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>3名が医学研究科大学院博士課程に進学した。</li> <li>産婦人科専攻医の大学病院、研修病院での研修支援、産休明けの女性医師の関連病院への復帰支援を行った。</li> <li>産婦人科専門医を2名が取得した。</li> </ul>  |
| 診療                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>手術件数の増加、特に腹腔鏡下手術</li> <li>子宮頸癌に対する広汎子宮頸部切断術(腔・子宮体部温存手術)の実施</li> <li>子宮体癌の腹腔鏡下手術の施設認定取得の準備</li> <li>外来・病棟診療体制の再構築</li> </ul>       |     | 0.25  | <ul style="list-style-type: none"> <li>前年同時期に比較し、手術件数・腹腔鏡下手術の件数の増加を得ている。</li> <li>平成26年は広汎子宮頸部切断術を3例施行し、1例妊娠17週で施行した。(当科2例目)</li> <li>外来、病棟診療体制の再構築の計画・立案を行った。次年度から施行予定である。</li> </ul>  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>         |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 長井 裕   | 所 属 | 女性・生殖医学講座   | 職 名  | 准教授 |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|-----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |
| 教育                                    | 0.15                | <ul style="list-style-type: none"> <li>最新のエビデンスを反映した婦人科学系統講義/総合講義の実施</li> <li>学生病院実習での評価をフィードバック</li> <li>卒後臨床研修医運営委員会委員</li> <li>大学院生の指導・アドバイス</li> </ul>   |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>最新のエビデンスを反映した婦人科学系統講義/総合講義の実施:子宮頸癌、子宮体癌、絨毛性疾患に関する系統講義および子宮頸癌に関するチュートリアル、婦人科悪性腫瘍に対する妊孕能温存治療に関する総合講義、を行った。</li> <li>学生病院実習での評価をフィードバック:病院実習における学生の要望を医局会で検討し改善してきた。</li> <li>大学院生のテーマに関するアドバイスを継続して行った。</li> </ul>  |     |
| 研究                                    | 0.20                | <ul style="list-style-type: none"> <li>国際/国内学会での発表</li> <li>国際誌への投稿</li> <li>婦人科悪性腫瘍に関する臨床研究(GOG Japan, JCOG 婦人科グループ、JGOG等)への参加・実施</li> </ul>  |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>国際/国内学会での発表: 国内全国学会で、シンポジウム1回、一般講演を1回を行った。</li> <li>関連学会誌への投稿:国際誌への掲載がなされた。</li> <li>多施設共同 研究への継続参加:当科の実務担当である。積極的に他施設共同研究(治験を含む)に参加してきた(JCOG, JGOG, 米国GOG等)。</li> </ul>  |     |
| 社会貢献                                  | 0.15                | <ul style="list-style-type: none"> <li>沖縄県産婦人科医会 がん関連対策部理事</li> <li>婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG) GOG-Japan委員会委員</li> <li>沖縄県婦人科悪性腫瘍登録事務局長</li> <li>沖縄県がん診療連携協議会 普及啓発部会長</li> <li>りゅうきゅう臨床研究ネットワーク・がん臨床研究部会委員</li> </ul> |     | 0.15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>左記の委員活動を積極的に行ってきた。</li> <li>沖縄県婦人科悪性腫瘍登録事務局活動に関して:沖縄県内の婦人科悪性腫瘍患者の登録作業を行い沖縄産科婦人科学会誌に掲載、報告した。</li> <li>沖縄県がん診療連携協議会普及啓発部会 部会長としての活動に関して:部会を年4回開催し、ラジオ番組への参加企画、癌検診に関する中高校性に対するポスターコンテストを企画、実施した。また教育関係者に対する講座等を行った。</li> <li>本年度から沖縄県産婦人科医会がん部会理事として、子宮頸癌検診についての市民公開講座を企画、実施し、講演も行った。</li> </ul> |     |
| 管理運営                                  | 0.15                | <ul style="list-style-type: none"> <li>産科婦人科病棟医長</li> <li>医学部附属病院がんセンター レジメン登録審査管理委員会 委員長</li> <li>がんセンター運営委員会委員</li> </ul>  |     | 0.15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>病棟医長業務に関して、入院患者に関する診療の総括、看護スタッフとの病棟運営についての協議等を可及的速やかに行い病棟運営に携わった。</li> <li>レジメン登録ワーキンググループ及びレジメン管理登録委員会を月1回開催し、附属 病院内の化学療法レジメン登録・審査を進めてきた(現在も進行中)。</li> <li>がんセンター運営委員会にレジメン登録審査管理委員会委員長として参加し、種々の検討に加わった。</li> </ul>   |     |
| 進路指導                                  | 0.15                | <ul style="list-style-type: none"> <li>医学生・臨床初期研修医に対する医局紹介の窓口および実施</li> <li>医学部医学科34期生9班 指導教員</li> </ul>   |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>医学生、臨床初期研修医に対して、医局紹介、入局相談を行ってきた。</li> <li>医学科学生に対する指導教官として、対応を行ってきた。</li> </ul>   |     |
| 診療                                    | 0.20                | <ul style="list-style-type: none"> <li>婦人科診療グループの統括</li> <li>セカンドオピニオン外来担当(婦人科領域)</li> </ul>   |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>婦人科診療グループの実地臨床の統括、及び臨床研究の指導を行ってきた。</li> <li>セカンドオピニオンの対応を必要時おこなった。</li> </ul>   |     |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>  |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |     |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 金城 忠嗣   | 所 属 |   | 産婦人科  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.30                | 研修医の臨床指導、学生の講義、ベッドサイドティーチングを行い教育に貢献する   |     | 0.30  | A 3年生を対象に周産期の講義を行った。クリニカルクラークシップで来る学生に指導を行った。           |
| 研究                                    | 0.30                | 大学院に在籍し、周産期、特に超音波領域での研究テーマを見つけ数年後の論文作成を目指す  |     | 0.30  | A 大学院に在籍し、帝王切開創のエコーでの評価と開腹での創の評価というテーマを挙げ、数年後の論文作成を目指す。 |
| 社会貢献                                  | 0.01                | 大学病院の医師の一員として求められれば人がいないところに応援に行く   |     | 0.01  | A 産科当直の依頼があった時に応援に行った。                                  |
| 管理運営                                  | 0.09                | 大学病院の医師の一員としてリスク管理、感染対策に取り組む。保険診療にのっとり、保険病名を記載する。   |     | 0.09  | A リスク管理、感染対策に取り組み、研修会にも出席した。保険診療にのっとり、保険病名を記載した。        |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 診療                                    | 0.30                | 日常診療、特に周産期分野において診療し、学会発表を重ねる  |     | 0.30  | A 産科医として診療し、周産期新生児学会で発表した。                              |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。                           |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 只野昌之   | 所 属 |   | 微生物学・腫瘍学講座   |
|                                       |                     |  | 職 名 |   | 准教授  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.65                | ウイルス学(前期および後期)、医学外国語、微生物学・腫瘍学特論(I)、微生物学・腫瘍学演習および実習を担当する。これらの講義では学生の発表等を積極的に促し、教官からの一方的な授業形態にならないようにする。また、医学概論Aでは受講生に専門教科に興味を持たせ、今後の専門教育課程に入り易いような講義を目指す。指導教官としての職務を遂行する。 |     | 0.65  | ウイルス学(前期および後期)、医学外国語、微生物学・腫瘍学特論(I)、微生物学・腫瘍学演習および実習を担当した。これらの講義では学生の発表等を積極的に促し、教官からの一方的な授業形態にならないように行った。また、医学概論Aでは受講生に専門教科に興味を持たせ、今後の専門教育課程に入り易いような講義を行った。指導教官としての職務を遂行した。                      |
| 研究                                    | 0.25                | 新しいワクチン候補の研究開発とともに、それら候補ワクチンの評価を行う。本研究はジェクタスインベーターズ及び他大学研究機関との共同研究で行われており、既に動物実験を伴う評価実験には相当な研究費(含外部資金)がつき込まれているが、研究を継続・発展させ、実用化の可能性を模索することで、今後とも外部資金獲得が継続できるように努力する。     |     | 0.25  | 新しいワクチン候補の研究開発とともに、それら候補ワクチンの評価を動物実験で行った。本研究はジェクタスインベーターズ及び他大学研究機関との共同で行われた。   |
| 社会<br>貢献                              | 0.05                | 名城大学・看護課程、沖縄看護専門学校の微生物学の講義を担当する。日本脳炎ウイルス生態学研究会の事務局運営を担当する。沖縄県委託事業「知的クラスター形成に向けた研究拠点構築事業」に於ける研究推進委員を担当する。   |     | 0.05  | 名城大学・看護課程、沖縄看護専門学校の微生物学の講義を担当した。日本脳炎ウイルス生態学研究会の事務局運営を担当した。沖縄県委託事業「知的クラスター形成に向けた研究拠点構築事業」に於ける研究推進委員を担当した。また、県および農水省が推進する下水再生水の農業利用に関するリスクコミュニケーション検討部会の医療関係委員も務めた。沖縄総合科学研究所の病原体等安全管理委員会の委員を務めた。 |
| 管理<br>運営                              | 0.05                | 琉球大学医学部医学科教育連絡主任の職務を遂行する。  |     | 0.05  | 琉球大学医学部医学科教育連絡主任の職務を遂行した。  |
| 進路<br>指導                              | 0.00                |  |     | 0.00  |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 鈴木敏彦  | 所 属 |   | 大学院医学研究科  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 教授  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.25                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究業績の授業への反映</li> <li>・学生からの積極的な意見の聴取</li> <li>・授業評価等の指摘、自らの発意に基づく授業の改善</li> </ul>   |     | 0.35  | 本年度は2,3年次両方に授業。up to dateな知見を授業へもフィードバックしている<br>・各授業において学生用質問シートを配布して学生の生の声を収集している<br>・授業評価等にもどづいて授業の改善を随時行っている<br>・Web classを利用した過去問公開、出席確認、メール配信、点数開示を行っている                     |
| 研究                                    | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会誌への投稿、発表</li> <li>・学会での報告発表</li> <li>・学外との共同研究・外部資金の獲得</li> </ul>   |     | 0.30  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・すでに国際雑誌発表済みのもの6報、印刷中1報、有名科学誌へのリバイス中1報</li> <li>・国内学会に発表</li> <li>・学外国内4か所海外1か所との共同研究を実施中。沖縄県の感染症医療研究ネットワーク事業の継続。上原記念生命科学財団研究助成</li> </ul> |
| 社会貢献                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献としての具体的取組</li> </ul>  |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄科学技術研究基盤整備機構の遺伝子組換え安全委員会メンバー</li> <li>・沖縄県の感染症医療研究ネットワーク事業へ参画</li> </ul>  |
| 管理運営                                  | 0.30                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属部局における委員会での具体的貢献</li> <li>・所属学科等の管理運営における具体的貢献</li> <li>・入試関連業務における具体的貢献</li> </ul>                                       |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学務委員会、教務委員会、戦略的研究推進委員会、RI施設運営委員会、動物実験施設運営委員会、医学部概要編集委員会、博士論文資格審査会委員、病原体等安全管理委員会委員長、医学部附属実験実習機器センター長、学科運営会議メンバー、入試面接委員</li> </ul>          |
| 進路指導                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進学指導のための具体的取組</li> </ul>  |     | 0.05  | 医学科4年次学生の指導教員、各種FDへの参加  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 高江洲 義一  | 所 属 |   | 医学研究科細菌学講座   |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.20                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院教育(講義)、学部教育(講義、実習および基礎配属)を担当する。</li> </ul>   |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・M3講義1コマ(4月)、M2講義1コマ(10月)、大学院講義(6月)、学生実習(M2, M3)、基礎配属1名(6~7月)を担当した。</li> <li>・M4 TBL「呼吸器感染症」(第一内科担当)に協力講師として参加した(4月)。</li> <li>・M1 シミュレーション演習(地域医療教育開発講座担当)に模擬患者として参加(6月)。</li> </ul>   |
| 研究                                    | 0.60                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・科研費(若手B)の最終年度につき、採択課題について論文を発表する。</li> <li>・積極的に民間の研究助成金に応募し獲得する。</li> </ul>  |     | 0.60  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・科研費(若手B)の採択課題について、最終著者・責任著者としてPLOS ONE誌(IF=3.534)に論文を発表した(4月)。</li> <li>・武田科学振興財団研究助成金(200万円)に採択された。</li> </ul>  |
| 社会貢献                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会、研究会活動に積極的に参加する。</li> <li>・機会があれば原著論文の査読を積極的に引き受ける。</li> </ul>  |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・原著論文の査読を行った(PLOS ONE 3件、Cellular and Molecular Immunology 1件、計4件)</li> <li>・県立西原高校の高校生約100名を対象に進路講演を行った(無報酬)(10,11月)</li> <li>・私立興南中学校の中学生約80名を対象に職業講演を行った(無報酬)(11月)</li> <li>・私立興南学園法人評議員(H26.7.1~H29.6.30、無報酬)</li> </ul>  |
| 管理運営                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入試関連業務に協力する。</li> <li>・各種の委員会活動に参画する。</li> </ul>  |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育連絡主任(H26.4.1~H27.3.31)</li> <li>・新カリキュラム編成委員(細菌学)</li> <li>・URA(ユニバーシティー・リサーチ・アドミニストレーター)WGメンバー(4月)</li> <li>・URAタスクフォースメンバー(7~9月)</li> <li>・学内共同教育研究施設等研究環境整備費、評価WGメンバー(9月)</li> <li>・国立大学改革基盤強化促進費 機器購入WGメンバー(10月)</li> <li>・国立大学改革基盤強化促進費 仕様策定委員会委員(12月)</li> <li>・センター試験監督者(H27.1.17)</li> </ul> |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  | ・該当なし  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|----|
| 名 前                                   |                     | トーマ クラウディア  | 所 属 | 大学院医学研究科・細菌学講座  | 職 名  | 助教 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |    |
| 教育                                    | 0.10                | ①授業評価等の指摘、自らの発意に基づく授業の改善<br>②学生からの積極的な意見の聴取   |     | 0.10  | 最新の研究の知見や講座で行われてきた研究を紹介している<br>授業評価等を参考にしながら講義や実習の改善を行っている                                     |    |
| 研究                                    | 0.80                | ①学会誌への投稿<br>②学会での報告発表<br>③外部資金の獲得<br>④所属部外局以外との共同研究   |     | 0.80  | 国際雑誌に2報掲載、現在学術誌への投稿準備中のものがある。<br>「宇流麻学術研究助成基金」を獲得および科研費基盤(C)の最終年度を継続<br>学外国内2カ所、海外2カ所との共同研究実地中 |    |
| 社会<br>貢献                              | 0.10                | 地域貢献としての具体的取り込み   |     | 0.10  | 「沖縄県感染症医療研究ネットワーク基盤構築事業」に登録研究員として参加しており、沖縄総合科学研究所・沖縄県衛生環境研究所と研究協力ネットワークを構築している                 |    |
| 管理<br>運営                              | 0.00                |   |     | 0.00  |  |    |
| 進路<br>指導                              | 0.00                |   |     | 0.00  |  |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |    |

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 仲宗根 昇   | 所 属 |   | 琉球大学・大学院・医学研究科・細菌学  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.30                | 最新医学の知識をわかりやすく、覚えやすいように工夫する。  |     | 0.30  | 今年度は、M4とM2のダブル講義と実習があったが、最新の情報を提供し、実習も改良を重ね学生からは圧倒的の良い評価を受けた。教育と実習の学生による評価は、講座独自のアンケートに依った。 |
| 研究                                    | 0.50                | 病原細菌の発症メカニズムの解明と予防、迅速診断法への応用に関連した研究を行い、論文を作成する。   |     | 0.50  | 沖縄県に生息する植物抽出物による病原細菌の持つ3型分泌装置を阻止する研究を行い、細菌学会で発表した。現在、論文投稿準備中である。                            |
| 社会貢献                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 管理運営                                  | 0.20                | 学内教育連絡主任として学生と教員間の情報の共有を図る。   |     | 0.20  | 連絡主任の任は解かれたので、次期主任の補助を行うとともに、学内のFDIには積極的に参加した。また、琉球大学医学部が主催する市民講座にも参加し、教育・講演のスキルを磨いた。       |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
|                                       | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 岸 本 英 博  | 所 属 | 医学研究科・寄生虫・免疫病因病態学講座   | 職 名  | 教授 |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |    |
| 教育                                    | 0.30                | 学部学生に対しては、「寄生虫学」、「基礎研究」及び「医学外国語」を担当し、コア・カリキュラムの基準を満たす講義・実習を行う。修士学生の修論のとりまとめを促し、国際紙へ論文を投稿する。基礎研究室配属された学生に対し、全員が英語の論文を読みこなせるように指導し、生命科学の研究に興味を持つよう指導する。琉球大学医学部の研究に関わる国内外の1流の研究者のセミナーを主催する。   |     | 0.25  | 学部学生には、「寄生虫学」、「基礎研究」及び「医学外国語」を担当し、コア・カリキュラムの基準を満たす講義・実習を行った。博士学生には、分子生物学学会で発表を行わせた。基礎研究室配属された学生1人に対し、英語の論文を読みこなせるように指導し、生命科学の研究に興味を持つよう指導した。沖縄感染免疫フォーラムを開催した。  |    |
| 研究                                    | 0.30                | 講座スタッフ、学内、学外の研究者と協力して公的外部資金の獲得をめざす。財団法人等の研究助成金の獲得を目指す。国際学会での発表、国内学会での発表を各2回以上行う。国際紙への論文発表を1編以上行う。琉大内での共同研究のシーズを開発する。民間と協力してバイオ医療機器の開発を行う。CPC事業の基礎側のリーダーとして再生医療研究の基盤を整備する。  |     | 0.30  | 文科省科学研究費を1件獲得した。そのほかに文科省及び厚労省の外部資金に応募したが残念ながら採択されなかった。抗体工学研究センターと共同研究契約を行った。国際学会では5回以上(共同研究者の発表も含む)、国内学会は3回以上(共同研究者の発表も含む)を行った。国際紙への論文発表は2編。再生医療研究に参加し、基礎や臨床の講座と共同研究を開始した。島津製作所と共同で近赤外光を利用した新しいin vivoイメージング機器の開発を行っている。また、同じく近赤外光を利用した新規の腹腔鏡・内視鏡の開発に着手している。   |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 日本免疫学会評議委員として日本免疫学会のアウトリーチ活動に積極的に参加し免疫学の一般への普及を進める。医工連携の研究を推進するため、がん医療を支える新技術の研究開発を沖縄の地域の臨床医にも参加を促し、地域特異的な研究のシーズをさがす。  |     | 0.10  | 日本免疫学会の企画する会議に出席した。がん医療を支える新技術の研究開発を模索するワークショップを1回沖縄県で主催した。また、医工連携を模索する沖縄県の会議に参加している。地域特異的な研究のシーズの探索を積極的に行っている。  |    |
| 管理運営                                  | 0.20                | 1) 講座の責任者として管理・運営に努める。2) ホームページ委員会の委員長として医学部のホームページの充実改善に努める。3) 学務委員会の委員として大学院生の入学者数の増加につながる方法を模索する。4) 機器センターの委員として機器センターの機器や使用法の改善を図る。5) 研究戦略委員として医学部のみならず他分野との連携を模索し、琉大として大きな研究戦略プロジェクトの立案を試みる。6) 動物運営委員として研究しやすい動物室の運営改善を図る。7) 国際交流委員として諸外国との交換学生のシステムを確立し実質化する。8) スーパーグローバル30タスクフォース・サブグループリーダーとして応募書類の取りまとめに協力する。 |     | 0.25  | 1) 広報・ホームページ委員会の委員長として医学部のホームページの充実改善に努めた。2) 学務委員会の委員長として大学院生の入学者数の増加のため学内にて大学院紹介、沖縄工業高等専門学校と連絡をとり大学院紹介を行った。3) 機器センターの委員として機器センターの機器の充実を行っている。4) 研究戦略委員として医学部のみならず他分野との連携を模索し、琉大として大きな研究戦略プロジェクトの立案を試みる。5) 琉大医学部内で沖縄県との共同CPCプロジェクトに協力している。6) 動物室の運営改善を提案した。7) 国際交流委員としてタイ国タマサット大学との連携を推進し、台北医学大学との連携も推進している。8) スーパーグローバル30タスクフォース・サブグループリーダーとして応募書類の取りまとめを行った。 |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 1) 医学科2年次の指導教員として、受持ち学生の修学面、生活面、精神面に対して指導する。2) 医学研究科の学生の就職活動に対して出来る限りサポートする。3) 留学を希望する琉大の臨床医や大学院生に対して留学先の斡旋・推薦等を行う。  |     | 0.10  | 1) 医学科2年次の指導教員として、受持ち学生の修学面、生活面、精神面に対して指導を行った。特に精神的に不安定な学生には、個人面談を行った。2) 修士学生の就職活動に対して人事に推薦を行うなどサポートした。3) 留学を希望する琉大の医学生に対して留学についての斡旋・助言を行った。   |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |     |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|-----|
| 名 前                                   |                     | 當眞 弘   | 所 属 | 大学院医学研究科  | 職 名   | 准教授 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |
| 教育                                    | 0.30                | 学部学生に対しては、「寄生虫学」、「熱帯医学・国際保健医療学(学士編入者対象)」、「基礎研究」及び「医学外国語」を担当し、コア・カリキュラムの基準を満たす講義・実習を行う。大学院医学研究科博士課程講義「免疫病因病態学特論Ⅰ,Ⅱ」では、研究者としての自立を行い得る高度の研究能力を身につけられるよう指導し、中期目標に挙げられている本学の強みとなる基礎研究推進の一端を担ってもらう。        |     | 0.25  | 学部教育に関しては目標を達成した。「免疫病因病態学Ⅰ」の講義の一部を担当した。さらに内容を充実させ、問題があれば改善を行う。  |     |
| 研究                                    | 0.30                | 講座スタッフおよび学内・学外共同研究者と共に研究論文1編の国内外学術雑誌への投稿・採択、及び関連ある国内外の学会での発表1回を行う。関連する分野の外部資金の獲得を目指す。  |     | 0.25  | 国内和文誌2編、論文が掲載された。また、現在国外英文誌に論文1編を投稿中である。植物由来の抗菌活性物質に関する研究については、投稿予定の論文1編を作成中である。国内学会での発表2回を行った。                       |     |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 研究課題(マラリアに対する感染防御ならびに薬剤耐性機構の解析)に関して、中期目標に掲げられている社会との連携、特に国際連携としてラオス国との共同研究を進める。この国際連携については、国立国際医療センター・国際医療協力研究委託事業の分担研究者である熱生圏分子生命科学研究所施設渡部久実教授の研究協力者として積極的に参加する。名桜大学看護学科の非常勤講師として「原虫・医動物感染症」の講義を行う。 |     | 0.20  | 第67回日本寄生虫学会南日本支部・第64回日本衛生動物学会南日本支部合同大会の大会事務局長として、企画・運営を担当し、市民向けに「市民公開講座」を開催した。また、名桜大学看護学科の非常勤講師として「原虫・医動物感染症」の講義を行った。 |     |
| 管理運営                                  | 0.15                | 寄生虫・免疫病因病態学講座の一員として、管理・運営に努める。また、医学部医学科教育連絡主任として管理・運営に協力する。継続して、医学部交通対策委員会委員として、構内の交通指導等を行う。   |     | 0.20  | 講座の一員として、教室の管理・運営に努めた。交通対策委員としては、自身の研究・教育活動の妨げにならない範囲で、警備員と協力して違反車両の取り締まり、指導等を行った結果、一定の効果が得られた。                       |     |
| 学生指導                                  | 0.15                | 医学科3年次の指導教員として、受持ち学生の修学面、生活面に対して、きめ細やかな指導を行う。また、ダイビングクラブの顧問として、学内・学外活動に対して、特に安全面に考慮した指導を行う。  |     | 0.10  | 受持ち学生と個々に面談を行い、修学面、生活面の指導を行った。ダイビングクラブは今年1年無事故で活動することができた。  |     |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |     |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |     |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 野中 大輔   | 所 属 |   | 医学研究科寄生虫・免疫病因病態学  |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.30                | 寄生虫学実習を補佐し、理解度が低い学生のフォローアップを行う。国際保健に関する講義(3年次特別講義、学士編入学に対する特化授業)を通して、国際保健に関する学生の理解を促進させる。シミュレーション演習(1年次)が円滑に進められるよう補助する。  |     | 0.30  | 寄生虫学実習を補佐し、理解度が低い学生のフォローアップを行った。国際保健に関する講義(学士編入学に対する特化授業)を通して、国際保健に関する学生の理解を促進させることに努めた。シミュレーション演習(1年次)が円滑に進められるよう補助した。     |
| 研究                                    | 0.50                | 海外学術誌に4編の論文発表を行う。国際学会にて1回の報告発表を行う。日本国際保健医療学会の代議員として、学会の研究推進に貢献する。科研費や民間の研究助成金に応募し、外部資金の獲得を目指す。  |     | 0.50  | 海外学術誌に4編の論文発表を行った。国際学会にて1回の報告発表を行った。日本国際保健医療学会の代議員総会に出席したり、学会誌の査読を行うことで、学会の研究推進に貢献した。科研費と民間の研究助成金(大山健康財団)に応募し、外部資金の獲得を目指した。 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 大学のプロジェクト(ちゃーがんじゅー学校地域歯科保健プロジェクト)に参加したり、平成26年度地域別研修「エビデンスに基づく公衆衛生計画立案、JICA沖縄・琉球大学」へ講師として参加することで、国際社会に貢献する。  |     | 0.10  | 大学のプロジェクト(ちゃーがんじゅー学校地域歯科保健プロジェクト)に従事した。平成26年度地域別研修「エビデンスに基づく公衆衛生計画立案、JICA沖縄・琉球大学」へ研修コースリーダーとして参加し、アフリカ5か国の公衆衛生計画立案に貢献した。    |
| 管理運営                                  | 0.10                | ちゃーがんじゅー学校地域歯科保健プロジェクトの委員および派遣専門家として、プロジェクトの管理運営に貢献する。  |     | 0.10  | ちゃーがんじゅー学校地域歯科保健プロジェクトのプロジェクト・マネージャー補佐として、プロジェクトの管理運営に貢献した。   |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |  |     |  |   |   |     |  |    |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|--|-----|--|---|---|-----|--|----|--|
| 名 前                                   |                     | 上里 博   |  | 所 属 |  | 大学院医学研究科・皮膚病態制御学  |   | 職 名 |  | 教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |     |  |    |  |
| 教育                                    | 0.20                | ①臨床(外来・病棟)での皮膚科診療について教育を行う<br>②学部学生および大学院生への皮膚科分野の講義を行う<br>③研修医に皮膚科学の基礎知識、診断、治療の教育を行う<br>④後期研修医および医局員の学会発表、論文作製に対する教育、指導を行う。 |  |     |  | 0.20  | 一般皮膚科外来および病棟回診、臨床・組織検討会を医学生、研修医に対して行った。また大学院生や尹学生への講義も行った。        |     |  |    |  |
| 研究                                    | 0.20                | ①皮膚科学会、褥瘡学会、熱帯医学会などの各種学会への参加、発表を行う。<br>②各学会雑誌への投稿、発表を行う。<br>③本邦におけるリーシュマニア症遺伝子確定診断を行う。                                       |  |     |  | 0.20  | 所属学会へ参加し、それぞれ学会および紙上発表を行った。                                       |     |  |    |  |
| 社会貢献                                  | 0.20                | ①地域での皮膚疾患の知識の啓蒙(市民公開講座の開催)を行う。<br>②沖縄県医師会活動を支援し、皮膚疾患に関する講演などを行う。<br>③他病院における診療支援(外来診療)を行う。                                   |  |     |  | 0.20  | 他関連病院皮膚科外来の支援を週1-2回(午後)行った。日本皮膚科学会総会、地方会などの発表、論文作成の支援を行い、論文を作成した。 |     |  |    |  |
| 管理運営                                  | 0.15                | ①医学部委員、附属病院委員として各種委員会に出席し、医学部および附属病院の運営に参加する。  |  |     |  | 0.15  | 医学部各種委員会と附属病院委員会の各種委員会に出席し、その運営にかかわった。                            |     |  |    |  |
| 進路指導                                  | 0.10                | ①医局員、大学院生の進路指導を行う。<br>②専門医試験への準備、指導を行う。  |  |     |  | 0.10  | 後期研修終了の皮膚科医師を、関連病院(5施設)への勤務従事に推薦した。                               |     |  |    |  |
| 診療                                    | 0.15                | ①琉球大学医学部附属病院での診療(外来および入院)を行う。  |  |     |  | 0.15  | 琉球大学附属病院での診療(外来および入院)に従事した。                                       |     |  |    |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。                        |  |     |  | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。                                     |     |  |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |     |  |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   | 高橋健造                |  | 所 属 | 大学院医学研究科皮膚科   |   |
|                                       | 職 名                 | 准教授  |     |   |   |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.20                | 皮膚科大学院生の研究指導、皮膚科修練医の学会発表指導、学部学生のパolikリにおける指導、皮膚科の学部系統講義、皮膚科の大学院生講義、医学部4年生の担当教官としての指導、生活指導  |     | 0.25  | 卒前教育としての講義、毎週のポリクリを続けている。卒業教育として皮膚科専門医取得へ向けた国際学会、国内学会での臨床、研究の発表の指導を行った。専門医取得へ向けて、多数の症例報告論分の助言、作成を行った。26年度は5人の教室員が専門医を取得した。大学院生は5回の研究系国際学会での発表を行った。現在、3名の学位論文の作製と投稿を順次行っている。   |
| 研究                                    | 0.25                | 大学院生の研究指導を含め、遺伝性皮膚角化症の創薬、皮膚腫瘍における血管増生因子の解析、ATLと菌状息肉症の臨床鑑別、カポシ肉腫のサーベイランス、血管肉腫の原因病原体の究明、紫外線皮膚癌の進展様式の解析、間葉系腫瘍の発症機序の解明などを進める。これらの課題に関しては、科研費を獲得した研究課題である。今年度は皮膚の内因性老化因子の探索を開始し、この研究課題に関する科研費の獲得を目標とする。 |     | 0.30  | ダリエー病の治療薬の開発を継続し取得特許を基に、知財部と共同で国内製薬企業とMTAを締結し、治療薬としての検定を開始する手筈を整えている。大学院生を指導し、沖縄県に多い皮膚科疾患の研究を継続している。血管肉腫の原因病原体の検索、皮膚のRNA編集現象の探索、数種の遺伝性皮膚症の原因遺伝子の探索を継続している。内因性の皮膚老化因子の研究に着手した。教室員の科研費申請を指導し、新規に2つの文科省の科研費を獲得をした。民間グラントも獲得した。 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 各地方の医師会などでの皮膚疾患の講演を数回、皮膚科学会支部会での教育講演など。  |     | 0.05  | 皮膚科関連の学会での招聘講演、教育講演を数回行った。各地域の皮膚科医師会での教育講演を数回行った。沖縄県に特徴的な薬剤抵抗性アタマジラム症の治療薬の導入へ向けて、国立感染研究所、東京理科大学と共同の上、医師主導治験へ向けたプロトコルの作製と、倫理委員会への申請を行った。   |
| 管理運営                                  | 0.15                | 西部支部皮膚科学会、研究皮膚科学会での評議員としての活動、オリリー協会での評議員としての活動、研究系皮膚科雑誌 JDSでのセクションエディター、臨床系皮膚科雑誌 JDEでのセクションエディター活動   |     | 0.10  | 西部支部皮膚科学会、研究皮膚科学会、オリリー協会での評議員としての活動、研究系皮膚科雑誌 JDSでのセクションエディター、臨床系皮膚科雑誌 JDEでのセクションエディターとして、1年間に今年は約35報ほどの論文の採否の決定を継続している。また10報ほどの皮膚科雑誌での査読を行った。活動学内では、教育担当、授業担当、共通機器購入選定の委員を継続した。   |
| 進路指導                                  | 0.15                | 医局員・大学院生の将来の方向性の相談など、専門医試験への準備、申請用の論文作成指導など<br>医学部学生の進級、学習の指導  |     | 0.15  | 4名の大学院生の研究テーマを設定し、学位に向けての研究指導を行っている。医局員には専門医取得に向けての準備、指導を行っている。今年は2名の医局員が専門医を取得した。医学部3年生の担当教官としては、2回の面談を含め時々の連絡により、学習、生活指導を行い、学生達は脱着なく通学を続けている。   |
| 診療                                    | 0.15                | 外来診療、病棟診療、回診、カンファレンス   |     | 0.15  | 毎週の外来診療、病棟診療のほか、回診、カンファレンス時に診断、治療の助言を継続している。  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

## 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 苅谷嘉之  | 所 属 |                                      | 大学院医学系研究科皮膚病態制御学講座  | 職 名                                  |  | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|--------------------------------------|---|--------------------------------------|--|----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)                  | 平成26年度 年度末自己点検結果  |                                      |  |    |
| 教育                                    | 0.20                | 医学部臨床実習生、研修医・研究生・医員および看護師の指導・教育。  |     | 0.20                                 | 医学部臨床実習生、研修医・研究生・医員・看護師への指導・教育を行った。   |                                      |  |    |
| 研究                                    | 0.10                | 皮膚科学会・勉強会および病理学会への参加・発表。  |     | 0.10                                 | 皮膚科学会総会・病理学会での参加・発表や皮膚科地方会で座長を務めた。  |                                      |  |    |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 沖縄県他施設での外来・病棟診療。  |     | 0.10                                 | 沖縄県内多施設での外来・病棟診療を行い地域医療に貢献した。   |                                      |  |    |
| 管理運営                                  | 0.20                | 病棟医長としての病棟管理、感染症対策実務者会議への参加。  |     | 0.20                                 | 病棟の入退院調整やリスクマネージャー連絡会議へ参加した。  |                                      |  |    |
| 進路指導                                  | 0.10                | 医学部学生・研修医への進路指導。  |     | 0.10                                 | 医学部臨床実習生、研修医への進路指導を行った。   |                                      |  |    |
| 診療                                    | 0.30                | 大学病院での外来診療・手術・入院患者診療。   |     | 0.30                                 | 大学病院での外来・入院患者診療および生検・手術検体の病理診断を行った。   |                                      |  |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul> |                                      |  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 |   | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |    |

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 眞鳥 繁隆   | 所 属 |   | 皮膚科  |
| 職 名                                   |                     |   |     | 助教  |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.15                | 医学科学生への臨床系統講義、医学科臨床実習生の指導・教育、看護師の指導・教育、研修医・研究生・医員の指導・教育。皮膚外科コースの指導。   |     | 0.15  | 医学科学生への臨床系統講義、医学科臨床実習生の指導・教育、看護師の指導・教育、研修医・研究生・医員の指導・教育。皮膚外科コースの指導。以上行った。                              |
| 研究                                    | 0.10                | 沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。南九州合同地方会・日本形成外科学会・日本熱傷学会・日本皮膚悪性腫瘍学会等への参加・発表。皮膚科関連雑誌への論文投稿。依頼論文の投稿。  |     | 0.10  | 沖縄県皮膚科学会・勉強会への参加・発表。南九州合同地方会への参加。雑誌：臨床皮膚科第68巻10号、雑誌西日本皮膚科第76巻5号への論文掲載。                                 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 沖縄県他施設での外来診療・手術。離島での診療・手術。市民公開講座の開催、運営。   |     | 0.10  | 沖縄県他施設での外来診療・手術。沖縄周辺離島での診療・手術、をおこなった。  |
| 管理運営                                  | 0.25                | 皮膚科医局長としての医局の運営管理。がんセンター運営・手術部運営・カンサーボード委員。沖縄県皮膚科地方会の運営、沖縄県皮膚科勉強会の運営、在宅褥瘡セミナーの管理運営。   |     | 0.25  | 皮膚科医局長としての医局の運営管理。がんセンター運営・手術部運営・カンサーボード委員。沖縄県皮膚科地方会の運営、沖縄県皮膚科勉強会の運営、在宅褥瘡セミナーの管理運営。皮膚科リサーチセミナーのマネジメント。 |
| 進路指導                                  | 0.10                | 医学部学生・研修医への進路指導。医学部学生への臨床系統講義。皮膚外科コースの指導。   |     | 0.10  | 医学部学生・研修医への進路指導。医学部学生への臨床系統講義。皮膚外科医師の指導、育成。  |
| 診療                                    | 0.30                | 大学病院での外来・入院・手術診療。   |     | 0.30  | 大学病院での外来・入院・手術診療。皮膚科病棟回診、臨床写真、病理カンファレンス、術前・術後カンファレンスの実施。   |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |                               |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|-------------------------------|
| 名 前                                   |                     | 田中勇悦  | 所 属 |   | 大学院医学研究科                      |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 教授                            |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果              |
| 教育                                    | 0.20                | 学部学生および大学院学生の免疫学および感染免疫学について講義、セミナー、演習、実習を行い、免疫学の基礎知識の修得をさせ、さらに最先端の免疫学の紹介を通して免疫学に興味をもってもらえるような教育を行う。担当する大学院生の研究指導を行い、学術論文を完成させる。また、短期留学生に授業として躰道を教える。 |     | 0.20  | 概ね計画通りに実施できた。                 |
| 研究                                    | 0.60                | 外部から調達した研究資金を基盤として、HIVとHTLV感染症克服を目的とした基礎研究を積極的に行う。国内外の研究者との交流を図り、共同研究を進める。  |     | 0.60  | 概ね計画通りに実施できた。                 |
| 社会<br>貢献                              | 0.05                | HTLV-1診断および研究用キットの開発に努め、広く社会に貢献できるようにする。  |     | 0.05  | 概ね計画通りに実施できた。                 |
| 管理<br>運営                              | 0.05                | 免疫学講座の長として、講座の進展に心がける。また学内各種委員会の役目を果たす。   |     | 0.05  | 概ね計画通りに実施できた。                 |
| 進路<br>指導                              | 0.05                | 担当する懇話会学生が2年生なので、学生生活や将来の進路の相談にのる。大学院生の進路についてサポートを図る。   |     | 0.05  | 概ね計画通りに実施できた。                 |
| その他                                   | 0.05                | 琉球大学躰道部の顧問および監督として躰道の指導を責任をもっておこなう。   |     | 0.05  | 概ね計画通りに実施できた。                 |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。   |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |                               |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前                                   |                     | 藤猪 英樹   | 所 属 |  | 医学研究科 免疫学講座   | 職 名  |  | 准教授 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|--|---|--|--|-----|
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |  |     |
| 教育                                    | 0.15                | M3免疫学講義4コマを担当、および実習16コマを担当(自習態度の涵養を目指す)<br>感染・免疫関連講座との授業内容のすり合わせを含めて講義内容の改善を行う。<br>M2医学英語を担当(文献の読み方を指導する予定)<br>免疫学講座に所属する大学院生に対し論文抄読会を行う。                           |     |  | 0.15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・M3およびM2の免疫学講義4コマを担当、および実習16コマを担当した。</li> <li>・感染・免疫関連講座とのカリキュラム統合作業に着手した。</li> <li>・M2医学英語を担当した。</li> <li>・免疫学講座と寄生虫学講座と合同で大学院生を対象に論文抄読会を始めた。</li> <li>・学部学生の参加も得ながら、大学院生対象に熱帯生物圏研究センター分子生命科学研究所 分子感染防御学分野との免疫学原著教科書の勉強会を行っている。</li> </ul> |  |     |
| 研究                                    | 0.64                | ヒト免疫機構を構築した「ヒト化マウス」を用いたHTLV-1初期感染細胞の同定、およびHTLV-1ワクチン開発研究を行う。(来年度の科学研究費補助金応募の基礎データを得る)<br>学会報告(ウイルス学会、免疫学会)を行う。<br>感染・免疫関連講座との勉強会を行う。                                |     |  | 0.55  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒト免疫機構を構築した「ヒト化マウス」を用いたHTLV-1初期感染細胞の同定、およびHTLV-1ワクチン開発研究を行った。</li> <li>・学会報告:ウイルス学会、免疫学会に加え、HTLV-1学会、ウイルス学会九州支部総会で発表を行った。</li> </ul>   |  |     |
| 社会貢献                                  | 0.01                | 慶應義塾大学医学部皮膚科学教室と共同研究に関する感染実験指導を行う   |     |  | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・慶應義塾大学医学部皮膚科学教室と共同研究に関する感染実験指導を、メールでのディスカッションに加え、慶應義塾大学キャンパスで実際の感染実験を行った。</li> <li>・グローバルサイエンスキャンパス事業(JST)、[世界の医療を切り拓く君・自我作古(慶應義塾大学)8月8日-8月11日]の講師として参加した。</li> <li>・農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業(名古屋大学)のアドバイザーとして統括評価を行った。</li> </ul>             |  |     |
| 管理運営                                  | 0.10                | 医学部国際認証WGに参画<br>図書館運営委員会に参画<br>発明審査委員会に参画   |     |  | 0.15  | <ul style="list-style-type: none"> <li>医学部国際認証WGに参画した。</li> <li>図書館運営委員会に参画した。</li> <li>発明審査委員会に参画した。</li> <li>新カリキュラムの統合作業に参画した。</li> </ul>   |  |     |
| 進路指導                                  | 0.10                | 1年次学生の指導教員として学生のサポートを行う。<br>免疫学講座に所属する大学院生の日常の指導(進路選択を含む)をサポートする。   |     |  | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年-4年研修(渡嘉敷島)に引率教員として参加した。</li> <li>・1年次学生の指導教員として学生のサポートを行った(班会2回、勉強会1回)。</li> <li>・免疫学講座に所属する大学院生を日常的にコンサルトしている。</li> </ul>  |  |     |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     |  | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>  |  |     |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |  |     |

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

|                                       |                     |   |     |   |  |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|----|
| 名 前                                   |                     | 高橋 良明   | 所 属 | 大学院医学研究科 免疫学講座  | 職 名  | 助教 |
| 領域                                    | 業務<br>ウエイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウエイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |    |
| 教育                                    | 0.40                | 研究指導(大学院生)、免疫学講義(医学部2・3年次生)、免疫学実習(医学部3年次生)、基礎配属(医学部4年次生)、学内の試験監督(期末試験など)に当たる。                         |     | 0.41  | (1) 研究指導(大学院生)、(2) 免疫学講義(医学部2・3年次生)、(3) 免疫学実習(医学部2・3年次生)、(4) 基礎配属(医学部4年次生)、(5) 学内の試験監督(期末試験)を担当した。           |    |
| 研究                                    | 0.50                | 平成26年度分としてすでに獲得している研究費を使って、HTLV-1感染症解明のための基盤研究を行う。また、平成27年度科学研究費補助金の獲得に向け努力する。                        |     | 0.50  | 沖縄県からの平成26年度分の科学研究費を使って、HTLV-1感染症解明のための基盤研究を行った。その結果、共同で論文を2報発表した。また、平成27年度科学研究費補助金の獲得のため、申請を行った。            |    |
| 社会貢献                                  | 0.01                | 学外の試験監督への参加(センター試験など)。  |     | 0.00  | 学外の試験監督への参加なし。   |    |
| 管理運営                                  | 0.09                | 研究室内設備の保全に務める(停電対策・自然災害対策・その他の緊急問題に対応)。   |     | 0.09  | (1) 平日および休日に、交代で研究室内設備の保全に務めた。(2) 台風が接近・上陸した際に、研究室施設内に昼夜待機して、停電や緊急事態に備えた。(3) 学内工事停電の際に、研究室施設内に待機して、緊急事態に備えた。 |    |
| 計                                     | 1.00                | ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 |     | 1.00  | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |     |   |   |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前                                   |                     | 藤田次郎   | 所 属 |   | 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学  |
| 職 名                                   |                     |  |     | 教授  |   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |
| 教育                                    | 0.10                | 講義(カラープリントを使用し、かつパワーポイント電子ファイルを配布)、および臨床実習をより充実(より視覚的な回診、スモールグループでの講義など)させる。   |     | 0.10  | 講義の工夫(カラープリントを使用し、かつパワーポイントファイルを配布)、および臨床実習の工夫(スモールグループでの講義など)、についてはいずれもほぼ達成できた。  |
| 研究                                    | 0.40                | 自身が第1著者の英文論文を3編以上まとめる。今年度中に感染症関連の教科書、あるいは自身が編集した雑誌を5冊以上出版する。感染症関連の臨床研究「沖縄県における感染症防御を目的とした次世代ゲノム解析技術を用いた迅速診断方法の開発並びに対策拠点の形成(7000万円×3年間、2年目)」を継続する。抗菌薬の治験を積極的に実施する。学会でシンポジスト、教育講演、および特別講演などの演者、座長を務める。 |     | 0.40  | 自身が第1著者の英文論文は短報も含め3編がすでにPUBMEDに掲載されている。感染症関連の臨床・基礎研究で、1編の博士論文を完成でき、筆頭著者は論文博士を取得予定である。感染症関連の教科書を3冊発刊できた。現在、8冊の教科書を執筆、または編集している。感染症関連の臨床研究を展開し、沖縄感染症医療研究ネットワーク基盤構築事業として「沖縄県における感染症防御を目的とした次世代ゲノム解析技術による迅速診断方法の開発並びに対策拠点の形成」というテーマでの大型研究費(7000万円×3年間、3年目)を取得した。日本では新たなキノロン系薬の調整医師として治験を展開中である。中国との共同抗菌薬治験(sitafloxacin)を日本側の調整医師として展開中である。昨年度に続いて平成25年度琉球大学医学研究科研究・教育業績評価優秀者表彰(教授部門1位)を受賞した。 |
| 社会貢献                                  | 0.15                | 沖縄の感染症診療のスタンダードを世界に発信する。肺炎球菌ワクチンの公費助成に尽力するとともに講演会を企画する。沖縄県におけるインフルエンザ対策を充実させるとともに、市民を対象として感染症、または喘息関連の講演を企画する。新聞、マスコミなどを通し、感染症に関する知識を啓蒙する。   |     | 0.15  | 沖縄の感染症診療のスタンダードを英文論文で世界に発信することができた。沖縄県から喘息死を0にする活動を展開し、この目的での講演会を実施した。また薬剤師(すこやか薬局チェーン)との連携で共同研究を実施し、論文としてまとめるとともに、新たな臨床研究をスタートした。  |
| 管理運営                                  | 0.30                | 第一内科科長、感染対策室長としての責務を果たす。論文数を年間50編確保する。第1種感染症病室2床、第2種感染症病室4床、および結核病床4室を活用する。エイズ拠点病院、肝疾患診療拠点病院、がん診療拠点病院としての役割を担う。  |     | 0.25  | 第一内科科長、感染対策室長としての責務を果たした。論文数を年間50編以上(日本語総説も含む)確保できた。第1種感染症病室2床、第2種感染症病室4床、および結核病床4室を活用しており、エイズ拠点病院、肝疾患診療拠点病院、がん診療拠点病院としての役割を担った。なお琉球大学医学部附属病院の内科剖検率は全国80大学のうち上位を維持している。またエボラ出血熱の対応に関しても沖縄県内でのリーダーシップを発揮した。  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 指導教員としての責務を果たす。年に2回、食事を企画し、学生との親睦を図るとともに、国家試験対策に繋げる。   |     | 0.05  | 指導教員としての責務を果たした(年に2回のmeetingを開催)。留年しなかった全ての指導学生が卒業見込みとなっている。  |
| 診療                                    | 0.00                |  |     | 0.05  | 第一内科科長として、週1回の回診を実施している。新患紹介外来、およびセカンドオピニオン外来を担当した。   |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。   |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |



(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |  |  |     |  |   |  |     |  |     |  |
|---------------------------------------|---------------------|--|--|-----|--|---|--|-----|--|-----|--|
| 名 前                                   |                     | 健山正男   |  | 所 属 |  | 大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学  |  | 職 名 |  | 准教授 |  |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定  |  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |     |  |     |  |
| 教育                                    | 0.10                | 1. 授業 a)目標:80%以上の出席をし、予習を行って臨んだ学生に対しては国試合格水準はもとより研修医レベルの基本的知識を取得させる。a)内容:診療と直結した双方向とリアリティを感じさせる講義を行う。b)評価:授業における質問と定期試験の成績、出席率により評価を行う。                                    |  |     |  | 0.10  | 大学院学生の指導を行い。修士取得させた。同学生は学長賞に選ばれた。学部学生は定期試験の合格率は86%であったが、平均点は68点であり、不合格者の追試成績から怠学傾向が顕著認められこの群の学生に対する指導が課題である。                                       |     |  |     |  |
| 研究                                    | 0.30                | 1. 学会誌への投稿 邦文1編,1編(英文誌). 2. 著書 2編(分担) 3. 総説 2編. 2. 研究関連領域の学会発表,総会レベルでのシンポジウム1題, 6題(共同演者含). 3. 所属学会での役割 理事, 評議員としての活動. 4. 外部資金獲得 総額300万以上の獲得(分担研究含む)5. HIV関連神経認知障害の定量的評価の研究 |  |     |  | 0.25  | 学会誌への投稿(筆頭著者)は0. 著書は5編, 総説2編であった. 科学研究費獲得は2件(200万). 学会活動は全国総会レベルの教育講演を努めた(日本感染症学会総会、)  |     |  |     |  |
| 社会貢献                                  | 0.05                | 1. HIV/AIDS予防啓発のための講演. 2. 沖縄県におけるHIV/AIDS予防啓発のための組織作り. 3. 勤務医, 開業医むけの講演会の開催. 4. 沖縄県HIV協議会委員としての活動.   |  |     |  | 0.10  | 本県におけるHIV感染者の透析医療体制構築を行った. また, HIV/AIDS患者の歯科診療体制構築にも努めた。勤務医, 開業医むけのHIV/AIDS講演会を5回実施した. 4. 沖縄県HIV協議会委員として中心的活動を行った.                                 |     |  |     |  |
| 管理運営                                  | 0.20                | 1. 院内貢献:a)院内感染対策室実務の責任者としての活動, b) 職員血液曝露対策の実務責任者としての活動. 2. エイズ中核拠点病院における貢献:委任された事項(県内診療体制の構築, 研修会, 広報誌の発行)の遂行.   |  |     |  | 0.20  | 1. 院内貢献:エボラ診療体制構築の責任者として体制構築を行った。インフルエンザ、耐性菌のアウトブレイク対策を実施した 2). 職員血液曝露対策の実務責任者としての活動. 3. エイズ中核拠点病院における貢献:委任された事項(県内診療体制の構築, 研修会, 広報誌の発行)の遂行をおこなった. |     |  |     |  |
| 進路指導                                  | 0.05                | 指導教官担当学生(11名)の留年, 退学の予防. 成績不振者に対する助言 2. 専門領域を含む進路指導. 具体的には指導教官との交流会を6月末までに開催   |  |     |  | 0.05  | 1年時より担当した指導教官担当学生(11名)の該当年度の留年者は0であった 2. 全学生と指導教官との交流会を開催すると同時に、個別に研修先病院の指導助言を行った。   |     |  |     |  |
| 診療                                    | 0.30                | 1. HIV/AIDS診療:当院の実務責任者としての役割を担う. 2. 輸入感染症の治療環境整備(厚労省研究班指定薬剤保管者). 3. 院内・院外の難治性感染症のコンサルテーションおよび医師の指導   |  |     |  | 0.30  | 1. 重症AIDS患者対応でも救命率100%を達成. 2. 輸入感染症ではエボラ疑似患者のスムーズな対応は県より評価された。   |     |  |     |  |
| 計                                     | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。<br>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。  |  |     |  | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |     |  |     |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |  |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |     |  |     |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |    |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 名 前                                   |                     | 原永 修作   | 所 属 | 感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科)  | 職 名   | 助教 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |    |
| 教育                                    | 0.20                | 教育連絡主任として学生教育の向上にあたる<br>学生講義、研修医レクチャーの充実に努める<br>スタッフ教育のFDを担当しキャリアアップを図る   |     | 0.20  | 研修医レクチャー<br>学生講義担当<br>感染管理認定看護師の講義担当<br>若手医師の学会サポート、論文作成サポート                    |    |
| 研究                                    | 0.20                | 臨床研究を立ち上げる<br>協同研究に参加する<br>研究成果を学会、論文で発表する  |     | 0.10  | 英文のケースレポート4編作成<br>他施設共同研究に参加<br>学会発表  |    |
| 社会<br>貢献                              | 0.10                | 医師会での活動や市民公開講座へ参加する   |     | 0.10  | 県医学会の研修医奨励賞の評価委員を務める  |    |
| 管理<br>運営                              | 0.10                | 病棟医長として、病棟の運営管理に努める<br>感染管理実務者として院内感染対策を務める<br>リスクマネージャーとして安全管理に努める   |     | 0.10  | 病棟医長として病棟の感染管理、リスクマネージャー管理<br>新カルテムシステムの移行医員としてワーキンググループ長を務める                   |    |
| 進路<br>指導                              | 0.10                | キャリア支援センタースタッフとして、学生、初期研修医の<br>キャリアプラン形成を支援する   |     | 0.10  | キャリア支援センタースタッフとして研修医ローテーションの調整<br>ポリクリ学生の進路指導                                   |    |
| 診療                                    | 0.30                | 病棟および外来患者の診療に当たる  |     | 0.40  | 病棟および外来患者の診療にあたった   |    |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul> |    |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |    |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)     |                     |   |  |     |  |                                      |  |                                      |  |    |  |
|--|---------------------|---|--|-----|--|--------------------------------------|--|--------------------------------------|--|----|--|
| 名 前                                    |                     | 岸本 一人   |  | 所 属 |  | 第一内科                                 |  | 職 名                                  |  | 助教 |  |
| 領域                                     | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |  |     |  | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)                  | 平成26年度 年度末自己点検結果   |                                      |  |    |  |
| 教育                                     | 0.30                | 医学部学生への臨床講義(小腸大腸腫瘍性疾患の診断と治療)を担当(1回/年).<br>ポリクリ実習生へのミニレクチャー(内視鏡所見のみかた)を担当(1回/2週).<br>研修医, 後期研修医への消化器関連全般の指導. |  |     |  | 0.35                                 | 医学部学生への臨床講義(小腸大腸腫瘍性疾患の診断と治療)(1回/年).<br>ポリクリ実習生へのミニレクチャー(内視鏡所見のみかた)(1回/2週).<br>研修医, 後期研修医への消化器関連全般の指導. 栄養サポートチーム専門療法士取得に係る実地修練カリキュラムの講義. OSCE評価者. |                                      |  |    |  |
| 研究                                     | 0.15                | 消化器関連学術集会(消化器病学会, 消化器内視鏡学会等)への参加, 発表.<br>論文執筆.  |  |     |  | 0.10                                 | 消化器関連学術集会(日本消化器病学会, 日本消化器内視鏡学会)への参加, 発表. 研究会(第5回「IBD若鷹の会」記念大会in沖縄with IBD seminar)開催の現地運営委員担当.   |                                      |  |    |  |
| 社会貢献                                   | 0.05                | 炎症性腸疾患患者会における講演あるいは医療相談.  |  |     |  | 0.05                                 | 炎症性腸疾患患者会における講演あるいは医療相談.   |                                      |  |    |  |
| 管理運営                                   | 0.00                | 特になし  |  |     |  | 0.00                                 | 特になし   |                                      |  |    |  |
| 進路指導                                   | 0.00                | 特になし  |  |     |  | 0.00                                 | 特になし   |                                      |  |    |  |
| 診療                                     | 0.50                | 琉球大学医学部附属病院における外来診療(3回/週)担当.<br>消化管内視鏡検査(定期的2回/週に加え, 時間外の緊急検査のオンコールを含む)担当.                                  |  |     |  | 0.50                                 | 琉球大学医学部附属病院における外来診療(3回/週)担当.<br>消化管内視鏡検査(定期的2回/週に加え, 時間外の緊急検査のオンコールを含む)担当.   |                                      |  |    |  |
| 計                                      | 1.00                | ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。<br>・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。<br>・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。    |  |     |  | 1.00                                 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。   |                                      |  |    |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。 |                     |   |  |     |  | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 |  | <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |    |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 古堅 誠  | 所 属 |   | 琉球大学 大学院 医学研究科<br>感染症・呼吸器・消化器内科学講座(第一内科)   |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.20                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生の理解度や関心を高めるため、授業内容の改善に努める。</li> <li>・気管支鏡検査の目的や操作の実際、気管支解剖学的構造などの理解を高めるため、臨床実習中の学生に気管支鏡シミュレーション教育を実施する。</li> </ul>      |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で使用するスライドを改良し、学生に理解しやすい授業を心掛けた。</li> <li>・医学部ポリクリ学生に対して、各グループ毎に気管支鏡シミュレーション教育を実施し、学生の呼吸器領域疾患への関心を高めることができた。</li> </ul>             |
| 研究                                    | 0.20                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・貴重な症例の症例報告を中心とした学会誌への投稿。</li> <li>・呼吸器/肺腫瘍領域の学会での発表。</li> </ul>   |     | 0.20  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特異な治療経過や画像所見を呈した症例につき、学会発表をおこなった。</li> </ul>   |
| 社会貢献                                  | 0.10                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州肺癌研究機構(LOGiK)プロトコール委員会への参画。</li> <li>・第30回日本肺癌学会ワークショップの企画立案。</li> </ul>  |     | 0.10  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・九州肺癌研究機構(LOGiK)プロトコール委員会へ参加し、プロトコール治療へも症例登録をおこなった。</li> </ul>  |
| 管理運営                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内レジメン委員会への出席(肺腫瘍レジメンに関する発表の際の代理出席)。</li> </ul>   |     | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・院内レジメン委員会へ出席(肺腫瘍レジメンに関する発表の際の代理出席)し、参加者の質疑に対応した。</li> </ul>  |
| 進路指導                                  | 0.05                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学生や初期研修医とのコミュニケーションを積極的にはかり、今後の進路に関する質問への回答や情報提供に努める。</li> </ul>  |     | 0.05  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・肺がん症例に関する話題などを通して、学生や初期研修医とコミュニケーションをはかり、今後の進路に関する情報提供にも努めた。</li> </ul>  |
| 診療                                    | 0.40                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・肺腫瘍外来や肺腫瘍セカンドオピニオン外来を担当し、受け持ち患者の適正な診療に従事する。</li> <li>・肺腫瘍患者カンファレンスを定期的に行い、診療上の問題点の解決や今後の方針決定、部所内での患者情報の共有に努める。</li> </ul> |     | 0.40  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・肺腫瘍外来や肺腫瘍セカンドオピニオン外来を担当し、受け持ち患者の適正な診療に従事した。</li> <li>・肺腫瘍患者カンファレンスを定期的に行い、診療上の問題点の解決や今後の方針決定、部所内での患者情報の共有、院内の肺がん診療向上に努めた。</li> </ul> |
| 計                                     | 1.00                |   |     | 1.00  |  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |   |      |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|------|
| 名 前                                   |                     | 石田 昌義   | 所 属 | 大学院医学研究科(仮称)再生医療・細胞治療センター   | 職 名   | 特命助教 |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果  |      |
| 教育                                    | 0.00                |   |     | 0.00  |   |      |
| 研究                                    | 1.00                | 「先端医療産業開発拠点事業」に関わる再生医療研究として臨床応用を目指した基礎研究に取り組む。特にこれまで研究を続けてきた肥満症・糖尿病における分子生物学的手法を用いた遺伝子解析の研究論文として学術誌に公表するとともに、外部資金獲得に向けた仮説の構築とそれに向けた予備実験に取り組む。 |     | 1.00  | 「先端医療産業開発拠点事業」の特命教員として脂肪幹細胞を用いた再生医療研究に取り組んだ。これまでの研究成果の一部を査読のある国際的にも高い評価のある海外学術誌へ英文にて発表を行うことができた。仮説を証明するために平成27年度科学研究費補助金申請を行った。 |      |
| 社会貢献                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |      |
| 管理運営                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |      |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |   |      |
|                                       | 0.00                |   |     | 0.00  |   |      |
| 計                                     | 1.00                |   |     | 1.00  |   |      |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |   |      |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)    |                     |   |     |   |  |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前                                   |                     | 村上 明一   | 所 属 |   | 大学院医学研究科   |
|                                       |                     |   | 職 名 |   | 特命助教   |
| 領域                                    | 業務<br>ウェイト比<br>(予定) | 平成26年度 年度目標設定   |     | 業務<br>ウェイト比<br>(実績)   | 平成26年度 年度末自己点検結果   |
| 教育                                    | 0.10                | CPCの細胞培養士の方々へ、幹細胞分取法、無菌的細胞培養法、さらに細胞培養後の品質を管理するための、分子生物学的手法や細胞染色による解析方法等を教育する。   |     | 0.10  | CPC事業に関するの方々へ、幹細胞分取法や培養法、マウス取扱い方法や解剖、組織摘出から細胞の単一化、細胞染色法とうの教育を行った。  |
| 研究                                    | 0.70                | CPC設立後、迅速に稼働出来るよう、幹細胞培養法を習熟する。また、脂肪幹細胞に関する基礎研究を遂行し、日本再生医療学会総会等での発表を目指すとともに、国際紙への論文投稿用データを蓄積し、1編以上投稿する。研究費として、4月に科研費・研究活動スタート支援に応募し、引き続き平成27年度の科研費基盤研究等への応募を考慮する。    |     | 0.70  | CPC事業に関する研究を主に行い、さらにその副産物として琉球大学のシーズとしても活用可能な抗体ライブラリーの作製を行った。このシーズを基盤として、科研費・基盤研究(C)をはじめ、文科省・革新的バイオ医薬品創出基盤技術開発事業、橋渡し研究加・ネットワークプログラム、厚労省・H26年度感染症実用化研究事業、厚労省・H27年度・新興再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業など、10以上の外部資金獲得に向けて取り組んだ。 |
| 社会貢献                                  | 0.10                | 再生医療分野発展のため、脂肪幹細胞に関する基礎的な実験データを集め、その成果を国際紙へ1編以上報告する。また、日本再生医療学会総会、日本免疫学会学術集会、日本分子生物学会年会で発表を行う。  |     | 0.10  | 第37回日本分子生物学会年会および第43回日本免疫学会学術集会において、基礎研究データの発表を行った。共著論文、genesis 52:916-923 (2014)を発表した。  |
| 管理運営                                  | 0.10                | CPCに関する、幹細胞分取装置、安全キャビネット、クリーンベンチ、細胞培養用CO2インキュベーター、細胞凍結保存用超低温冷凍庫、培養細胞品質管理に用いるPCRやFACS等、使用機器の管理を行う。   |     | 0.10  | CPC事業に関する基礎実験データ収集に使用する安全キャビネット、クリーンベンチ、細胞培養用CO2インキュベーター、細胞凍結保存用超低温冷凍庫、培養細胞品質管理に用いるPCRやFACS等、使用機器の管理を行った。  |
| 進路指導                                  | 0.00                |   |     | 0.00  |  |
| 計                                     | 1.00                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul> |     | 1.00  | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。  |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 |                     |   |     | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 |  |